

## 7. 地域活動・コミュニティ

### 7-1 近所づきあいの状況

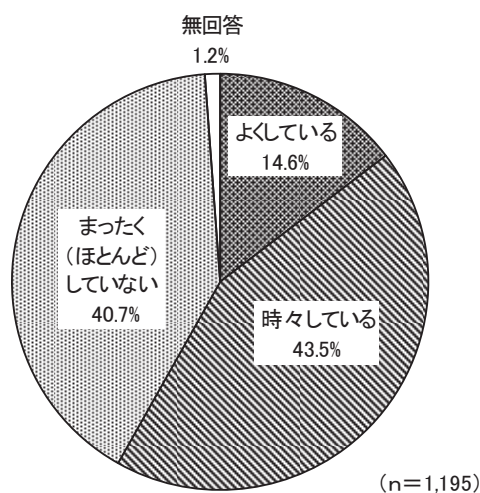
問14 あなた（またはあなたの世帯）は、ご近所づきあいをしていますか。（○は1つ）

- ・「よくしている」と「時々している」を合わせた『している』は6割近くを占めている。
- ・『している』は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上で最も高くなっている。

#### (1) 全体

- ・「よくしている」14.6%と「時々している」43.5%を合わせた『している』は58.1%となっている。一方、「まったく（ほとんど）していない」は40.7%となっている。

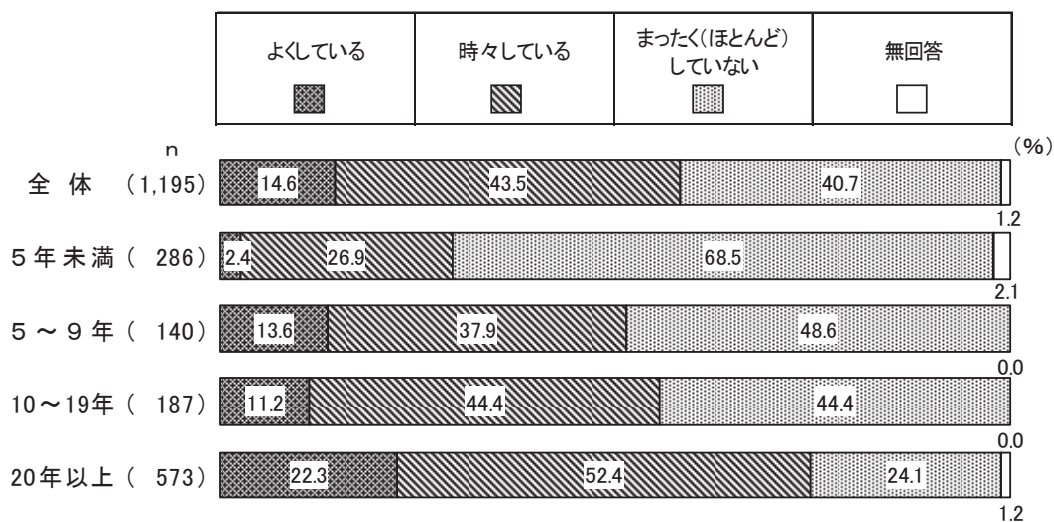
図7-1-1 近所づきあいの状況（全体）



#### (2) 居住年数別

- ・『している』は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上（74.7%）で最も高くなっている。一方、「まったく（ほとんど）していない」は5年未満（68.5%）で最も高くなっている。

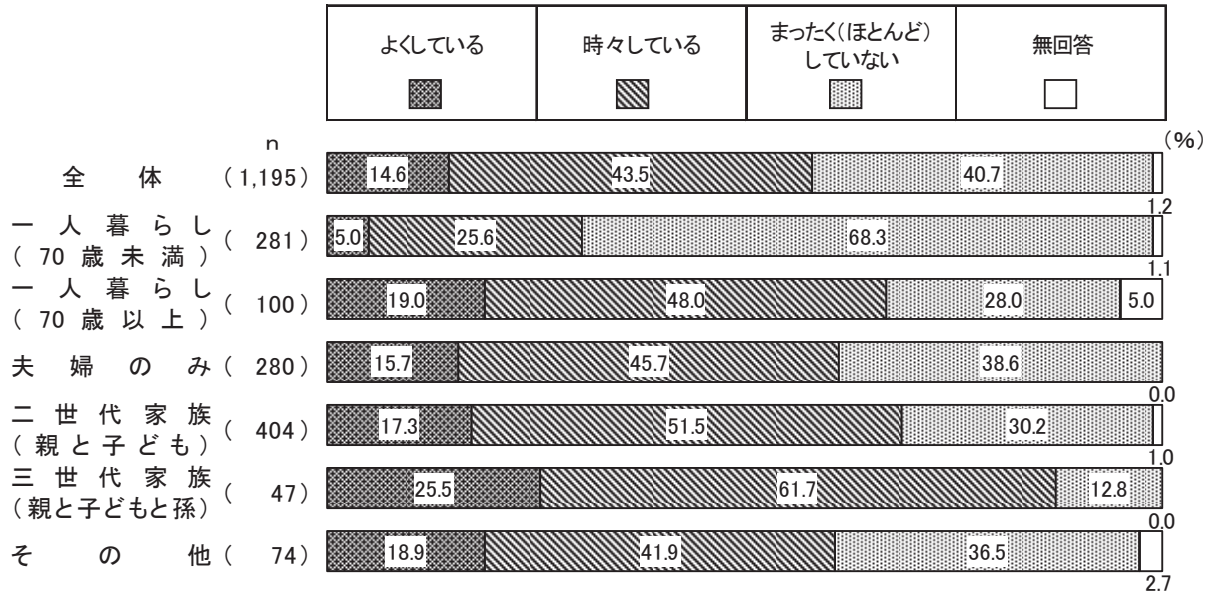
図7-1-2 近所づきあいの状況（居住年数別）



### (3) 世帯構成別

- ・『している』は三世代家族（87.2%）、二世世代家族（68.8%）、一人暮らし（70歳以上）（67.0%）で高くなっている。
- ・「まったく（ほとんど）していない」は一人暮らし（70歳未満）（68.3%）で高くなっている。

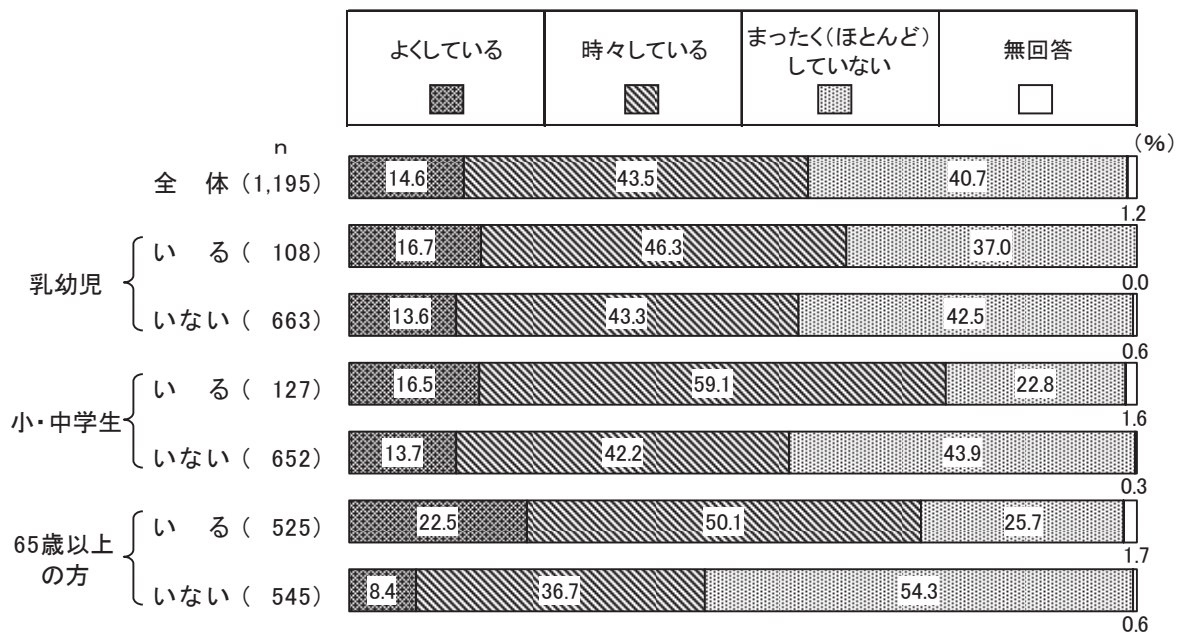
図7-1-3 近所づきあいの状況（世帯構成別）



### (4) 家族構成別

- ・『している』は小・中学生がいる家族（75.6%）が小・中学生がいない家族（55.9%）を19.7ポイント上回っている。また、65歳以上の方がいる家族（72.6%）が65歳以上の方がいない家族（45.1%）を27.5ポイント上回っている。

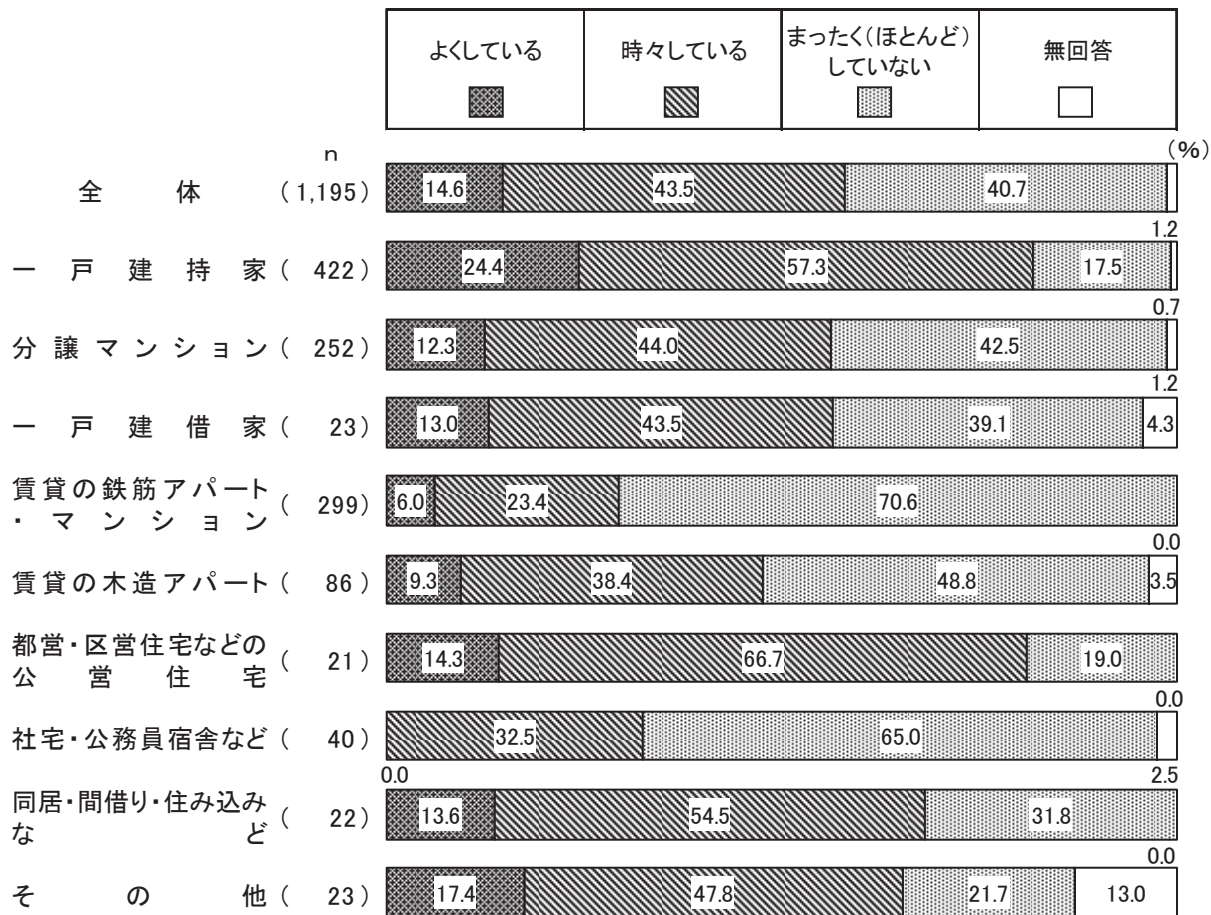
図7-1-4 近所づきあいの状況（家族構成別）



(5) 居住形態別

- ・『している』は一戸建持家(81.7%)と都営・区営住宅などの公営住宅(81.0%)で高くなっている。
- ・「まったく(ほとんど)していない」は賃貸の鉄筋アパート・マンション(70.6%)と社宅・公務員宿舎など(65.0%)で高くなっている。

図7-1-5 近所づきあいの状況(居住形態別)



## 7-2 町会・自治会が行っている地域活動の認知度

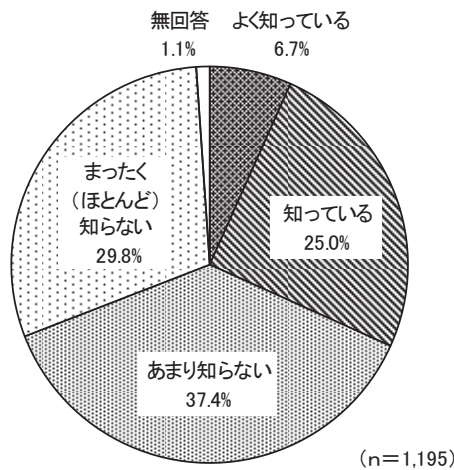
問15 お住まいの地域の町会・自治会が行っている地域活動を知っていますか。(〇は1つ)

- ・「よく知っている」と「知っている」を合わせた『知っている』が3割を超え、「あまり知らない」と「まったく(ほとんど)知らない」を合わせた『知らない』が7割近くとなっている。
- ・『知っている』は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上で最も高くなっている。
- ・『知らない』は一人暮らし(70歳未満)と賃貸の鉄筋アパート・マンションで高くなっている。

### (1) 全体

- ・「よく知っている」6.7%と「知っている」25.0%を合わせた『知っている』が31.7%、「あまり知らない」37.4%と「まったく(ほとんど)知らない」29.8%を合わせた『知らない』が67.2%となっている。

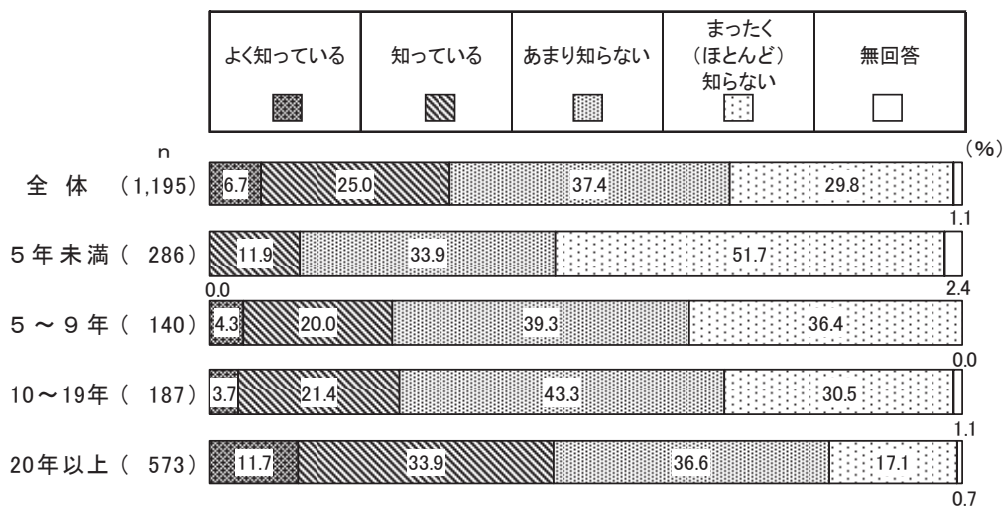
図7-2-1 町会・自治会が行っている地域活動の認知度(全体)



### (2) 居住年数別

- ・『知っている』は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上(45.6%)で最も高くなっている。一方、『知らない』は5年未満(85.6%)で最も高くなっている。

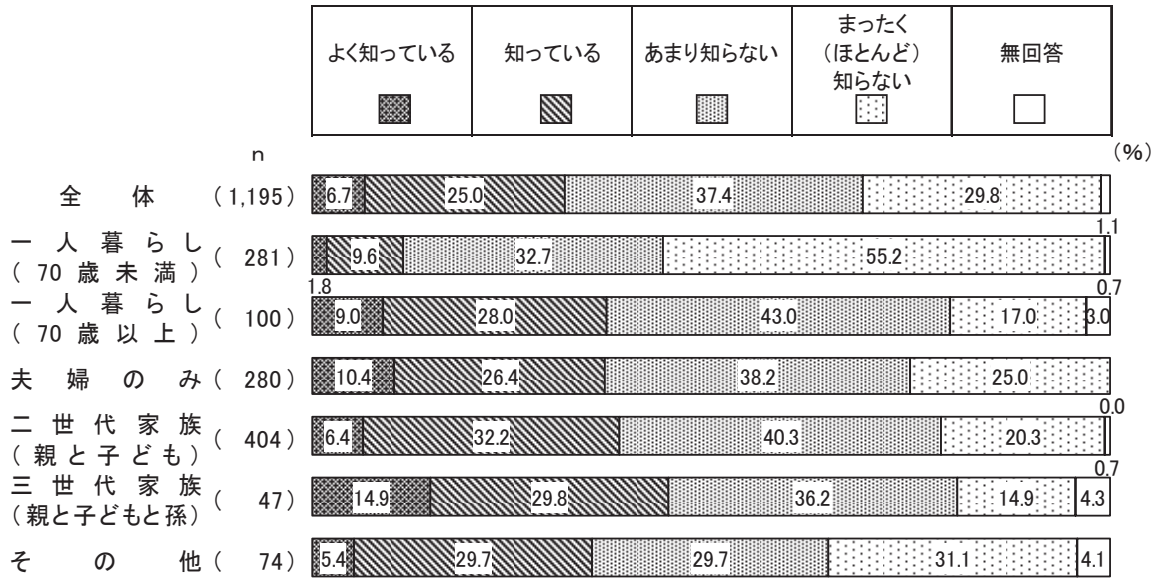
図7-2-2 町会・自治会が行っている地域活動の認知度(居住年数別)



### (3) 世帯構成別

- ・『知っている』は三世代家族（44.7%）が最も高く、次いで二世世代家族（38.6%）、一人暮らし（70歳以上）（37.0%）、夫婦のみ（36.8%）の順となっている。
- ・『知らない』は一人暮らし（70歳未満）（87.9%）で高くなっている。

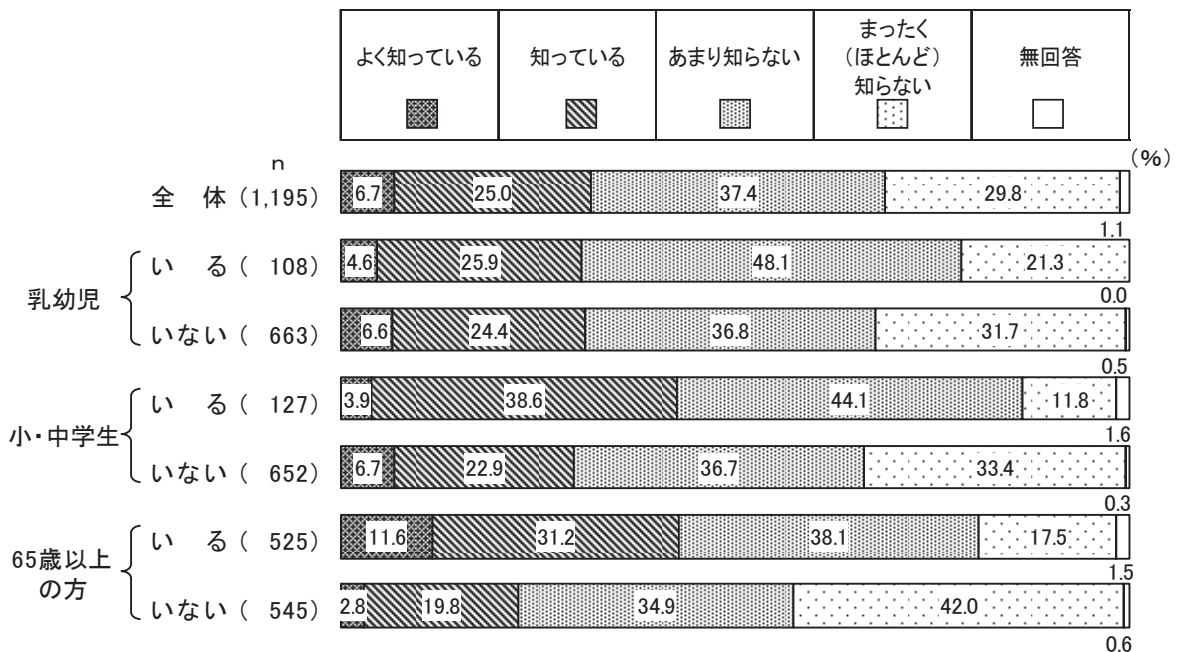
図7-2-3 町会・自治会が行っている地域活動の認知度（世帯構成別）



### (4) 家族構成別

- ・『知っている』は65歳以上の方がいる家族（42.8%）、小・中学生のいる家族（42.5%）で高くなっている。
- ・『知らない』は65歳以上の方がいない家族（76.9%）で高くなっている。

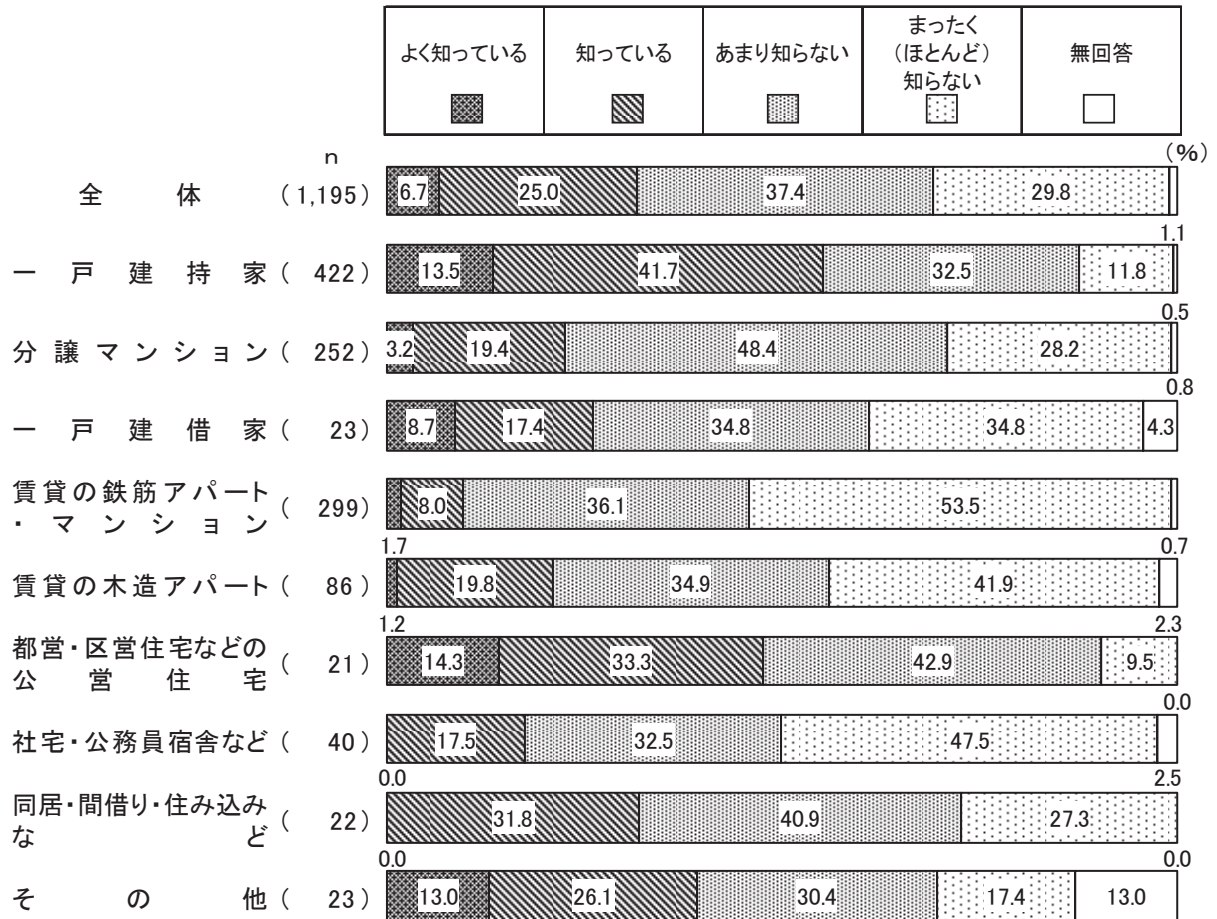
図7-2-4 町会・自治会が行っている地域活動の認知度（家族構成別）



(5) 居住形態別

- ・『知っている』は一戸建持家 (55.2%)、都営・区営住宅などの公営住宅 (47.6%) で高くなっている。
- ・『知らない』は賃貸の鉄筋アパート・マンション (89.6%) で高くなっている。

図7-2-5 町会・自治会が行っている地域活動の認知度 (居住形態別)



### 7-3 町会・自治会の加入状況

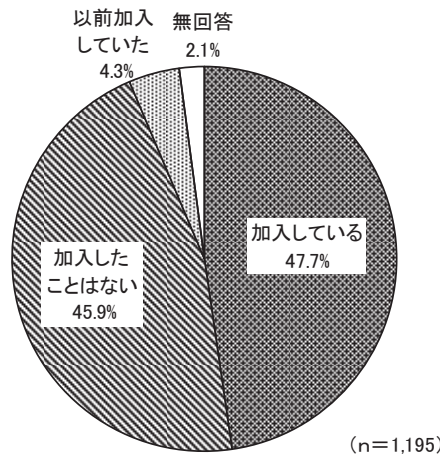
問16 あなた（またはあなたの世帯）は、町会・自治会に加入していますか。（○は1つ）

- ・「加入している」が5割近く、「加入したことはない」が4割半ばとなっている。
- ・「加入している」は65歳以上の方がいる家族と小・中学生がいる家族で高くなっている。また、三世代家族、二世代家族、一戸建持家で高くなっている。
- ・「加入したことはない」は65歳以上の方がいない家族で高くなっている。また、一人暮らし（70歳未満）、賃貸の鉄筋アパート・マンション、賃貸の木造アパートで高くなっている。

#### (1) 全体

- ・「加入している」が47.7%、「加入したことはない」が45.9%、「以前加入していた」が4.3%となっている。

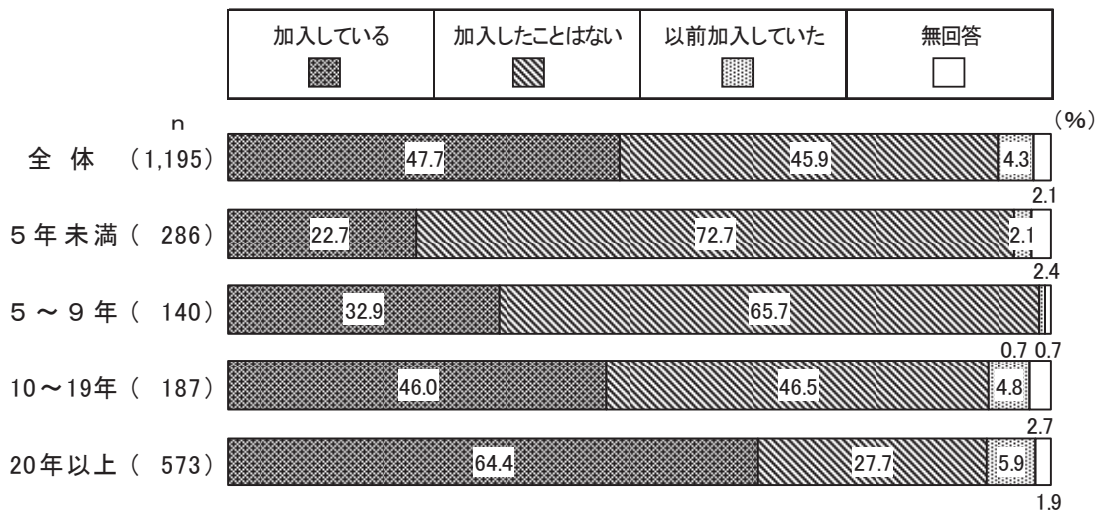
図7-3-1 町会・自治会の加入状況（全体）



#### (2) 居住年数別

- ・「加入している」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上（64.4%）で最も高くなっている。一方、「加入したことはない」は5年未満（72.7%）で最も高くなっている。

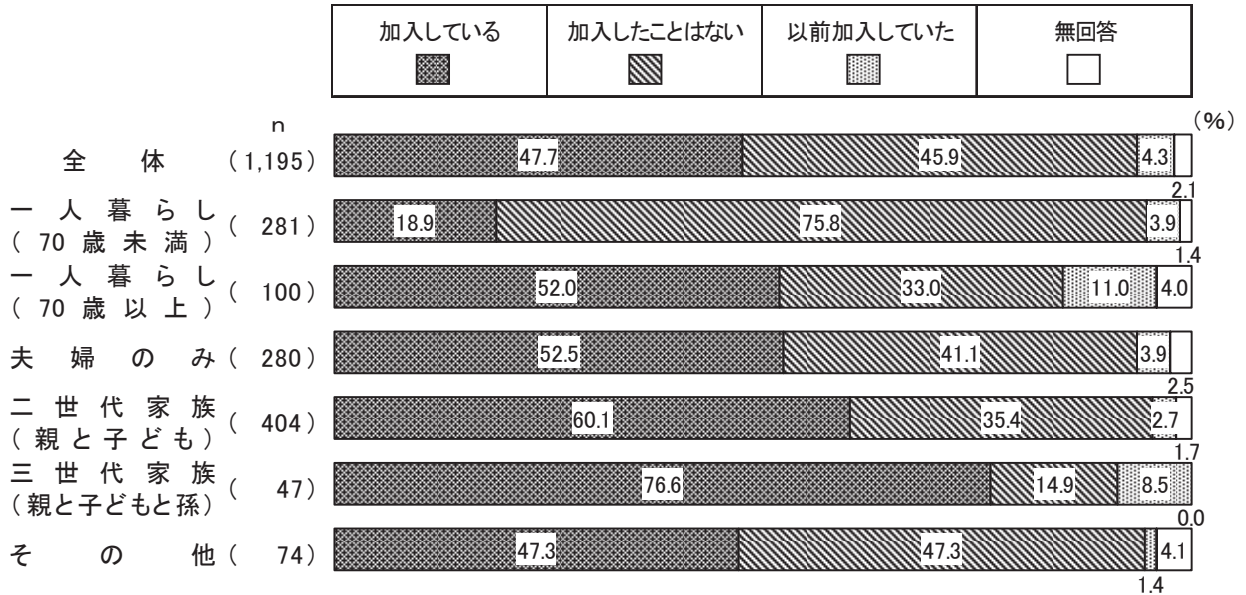
図7-3-2 町会・自治会の加入状況（居住年数別）



(3) 世帯構成別

- ・「加入している」は三世代家族（76.6%）と二世代家族（60.1%）で高くなっている。
- ・「加入したことはない」は一人暮らし（70歳未満）（75.8%）で高くなっている。

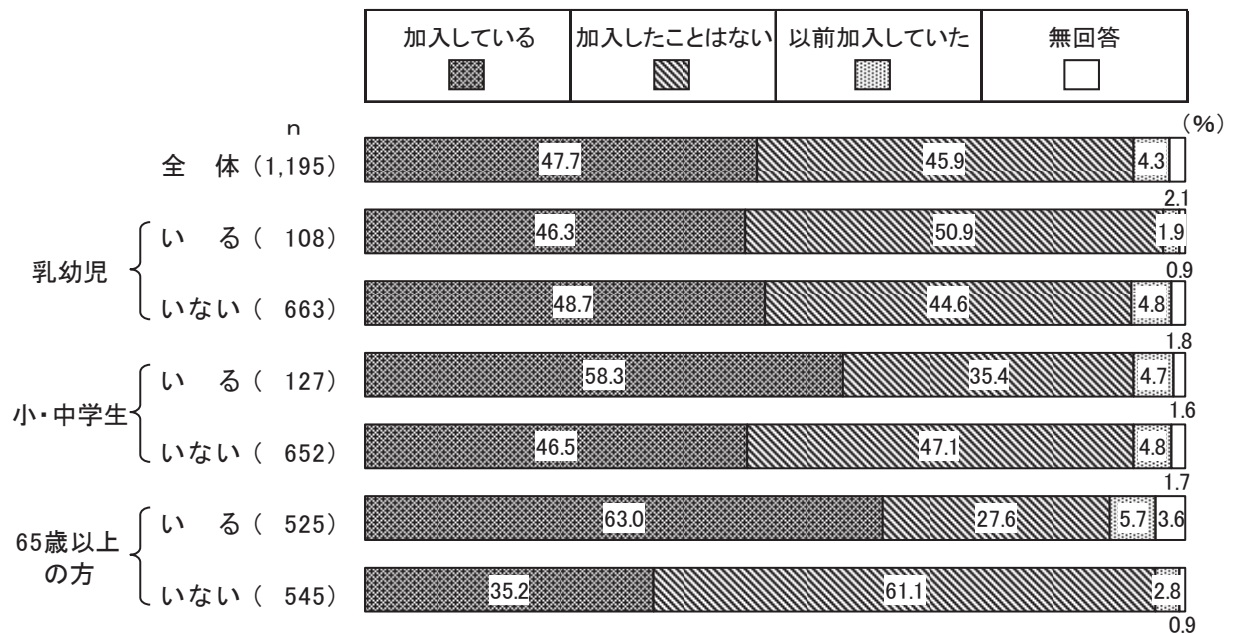
図7-3-3 町会・自治会の加入状況（世帯構成別）



(4) 家族構成別

- ・「加入している」は65歳以上の方がいる家族（63.0%）が65歳以上の方がいない家族（35.2%）を27.8ポイント上回っている。また、小・中学生がいる家族（58.3%）が小・中学生がいない家族（46.5%）を11.8ポイント上回っている。

図7-3-4 町会・自治会の加入状況（家族構成別）

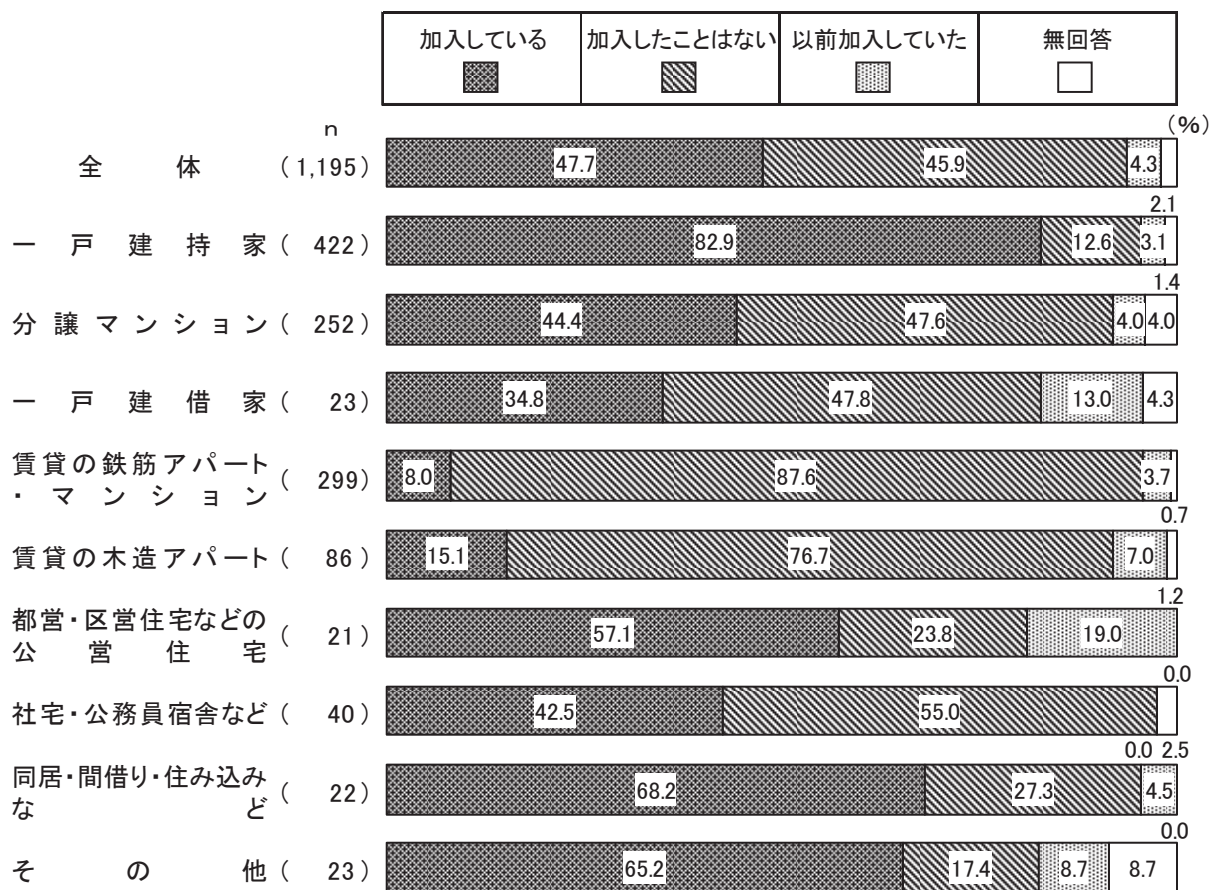




(5) 居住形態別

- ・「加入している」は一戸建持家（82.9%）、同居・間借り・住み込みなど（68.2%）、都営・区営住宅などの公営住宅（57.1%）で高くなっている。
- ・「加入したことはない」は賃貸の鉄筋アパート・マンション（87.6%）、賃貸の木造アパート（76.7%）で高くなっている。

図7-3-5 町会・自治会の加入状況（居住形態別）



## 7-4 町会・自治会に加入していない理由

(問16で、町会・自治会に「加入したことはない」「以前加入していた」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

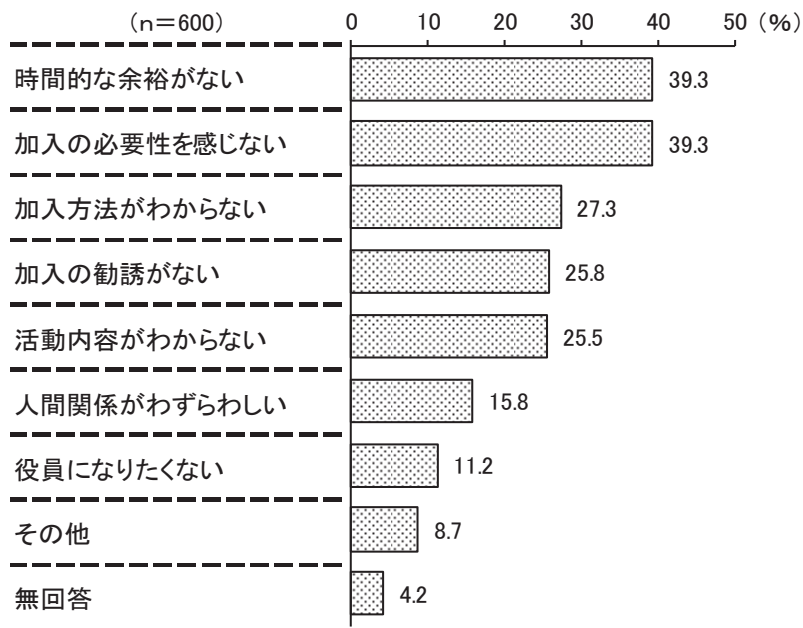
問16-1 町会・自治会に加入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「時間的な余裕がない」と「加入の必要性を感じない」がほぼ4割で最も高く、次いで「加入方法がわからない」が3割近く、「加入の勧誘がない」と「活動内容がわからない」が2割半ばとなっている。

### (1) 全体

- ・「時間的な余裕がない」と「加入の必要性を感じない」がともに39.3%で最も高く、次いで「加入方法がわからない」27.3%、「加入の勧誘がない」25.8%、「活動内容がわからない」25.5%の順となっている。

図7-4-1 町会・自治会に加入していない理由(全体)



## 7-5 住区住民会議が行っている地域活動の認知度

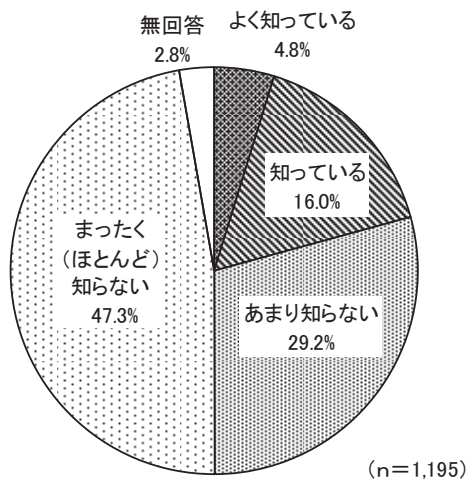
問17 住区住民会議が行っている地域活動を知っていますか。(〇は1つ)

- ・「よく知っている」と「知っている」を合わせた『知っている』がほぼ2割、「あまり知らない」と「まったく(ほとんど)知らない」を合わせた『知らない』が7割半ばとなっている。
- ・『知っている』は三世代家族、小・中学生がいる家族、一戸建持家で高くなっている。『知らない』は一人暮らし(70歳未満)、65歳以上の方がいない家族、賃貸の鉄筋アパート・マンションで高くなっている。

### (1) 全体

- ・「よく知っている」4.8%と「知っている」16.0%を合わせた『知っている』が20.8%、「あまり知らない」29.2%と「まったく(ほとんど)知らない」47.3%を合わせた『知らない』が76.5%となっている。

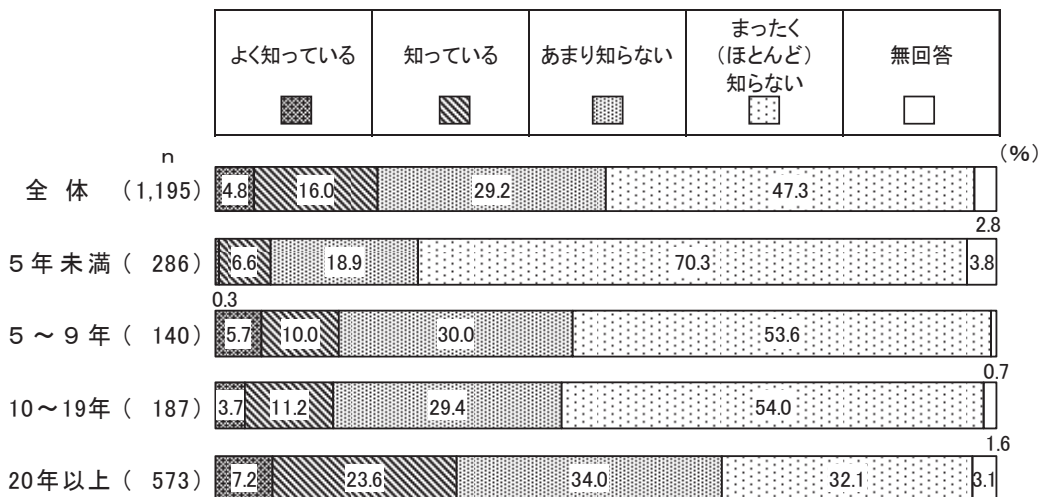
図7-5-1 住区住民会議が行っている地域活動の認知度(全体)



### (2) 居住年数別

- ・『知っている』は20年以上(30.8%)で最も高くなっている。
- ・『知らない』は5年未満(89.2%)で最も高くなっている。

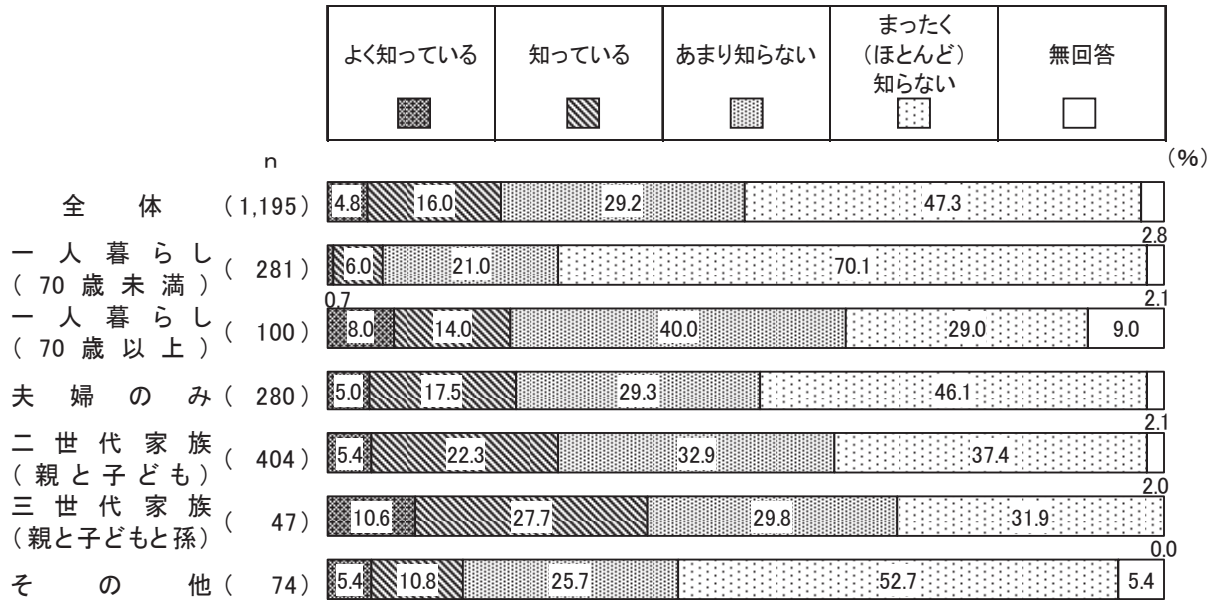
図7-5-2 住区住民会議が行っている地域活動の認知度(居住年数別)



(3) 世帯構成別

- ・『知っている』は三世代家族(38.3%)で最も高く、次いで二世代家族(27.7%)、夫婦のみ(22.5%)、一人暮らし(70歳以上)(22.0%)の順となっている。
- ・『知らない』は一人暮らし(70歳未満)(91.1%)で最も高くなっている。

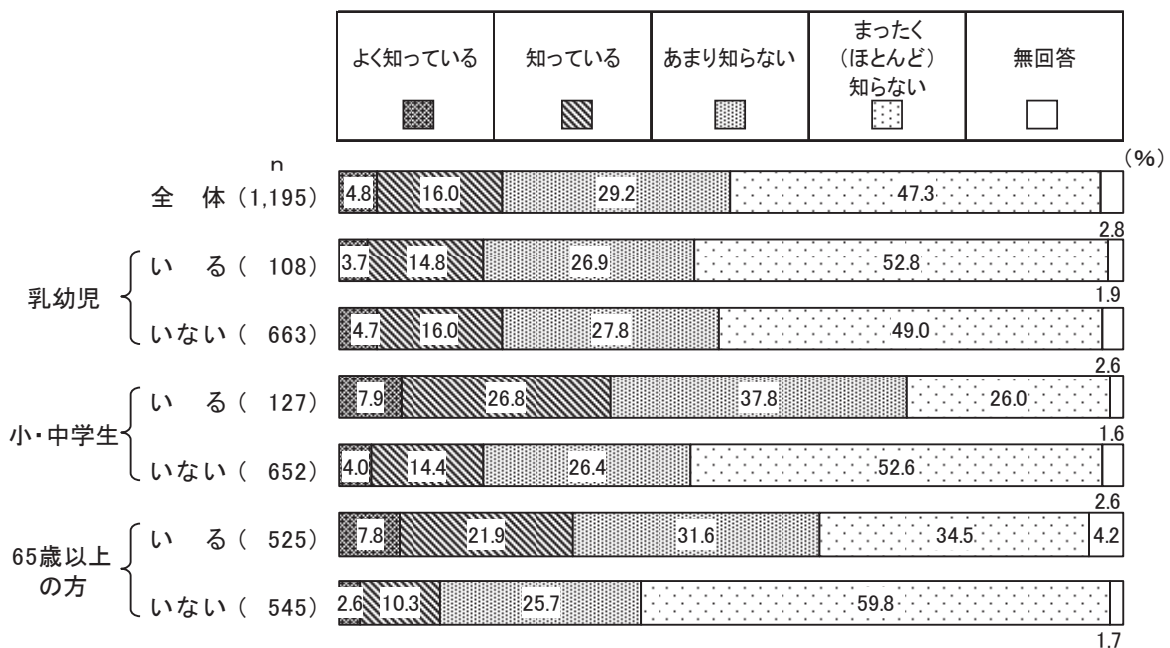
図7-5-3 住区住民会議が行っている地域活動の認知度(世帯構成別)



(4) 家族構成別

- ・『知っている』は小・中学生がいる家族(34.7%)が小・中学生がいない家族(18.4%)を16.3ポイント上回っている。また、65歳以上の方がいる家族(29.7%)が65歳以上の方がいない家族(12.9%)を16.8ポイント上回っている。
- ・『知らない』は65歳以上の方がいない家族(85.5%)で高くなっている。

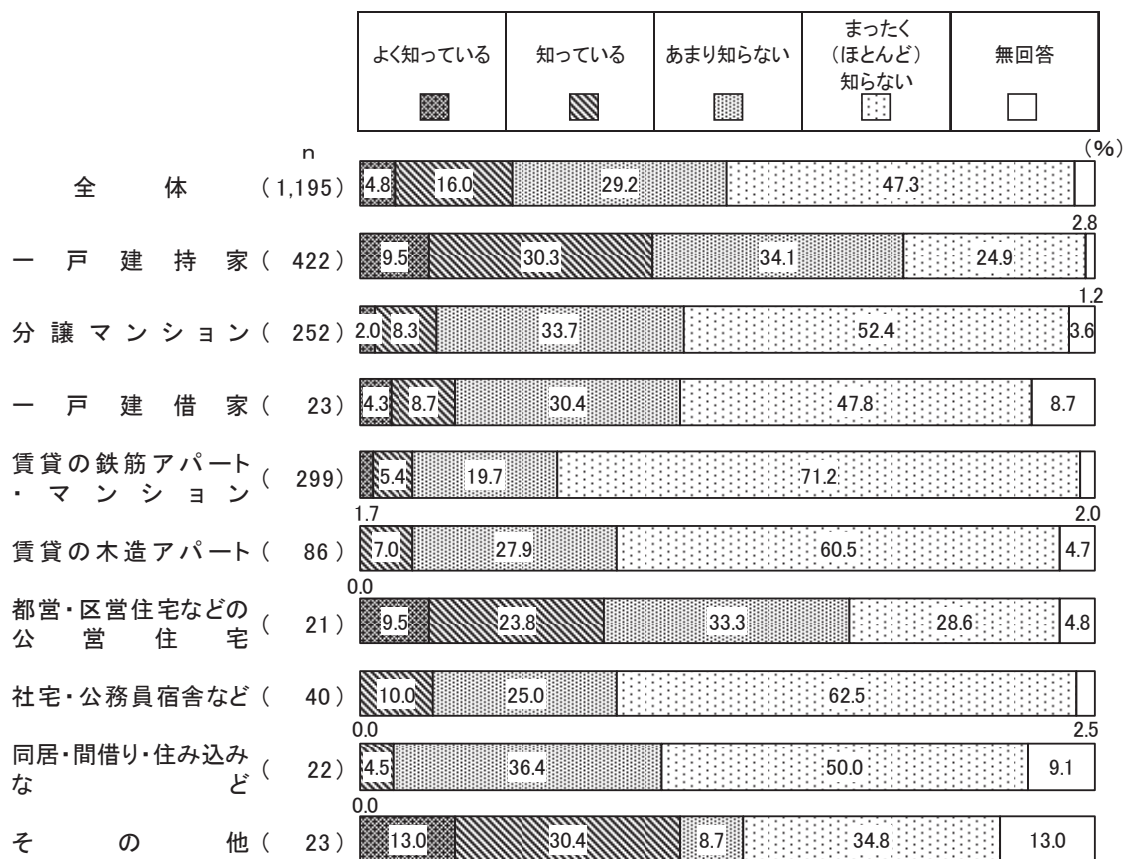
図7-5-4 住区住民会議が行っている地域活動の認知度(家族構成別)



(5) 居住形態別

- ・『知っている』は一戸建持家 (39.8%)、都営・区営住宅などの公営住宅 (33.3%) で高くなっている。
- ・『知らない』は賃貸の鉄筋アパート・マンション (90.9%) で最も高くなっている。

図 7-5-5 住区住民会議が行っている地域活動の認知度 (居住形態別)



## 7-6 地域活動の参加状況

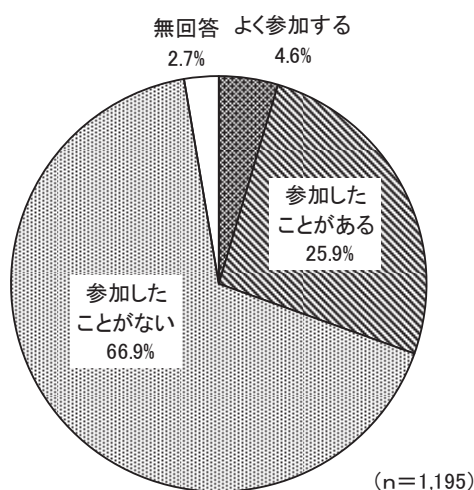
問18 あなた（またはあなたの世帯）は、地域活動に参加したことがありますか。（○は1つ）

- ・「よく参加する」と「参加したことがある」を合わせた『参加したことがある』はほぼ3割となっている。
- ・『参加したことがある』は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上で高くなっている。また、三世代家族と二世代家族、小・中学生がいる家族、就学前の乳幼児がいる家族、都営・区営住宅などの公営住宅、一戸建持家、一戸建借家で高くなっている。

### (1) 全体

- ・「よく参加する」4.6%と「参加したことがある」25.9%を合わせた『参加したことがある』は30.5%となっている。一方、「参加したことがない」は66.9%となっている。

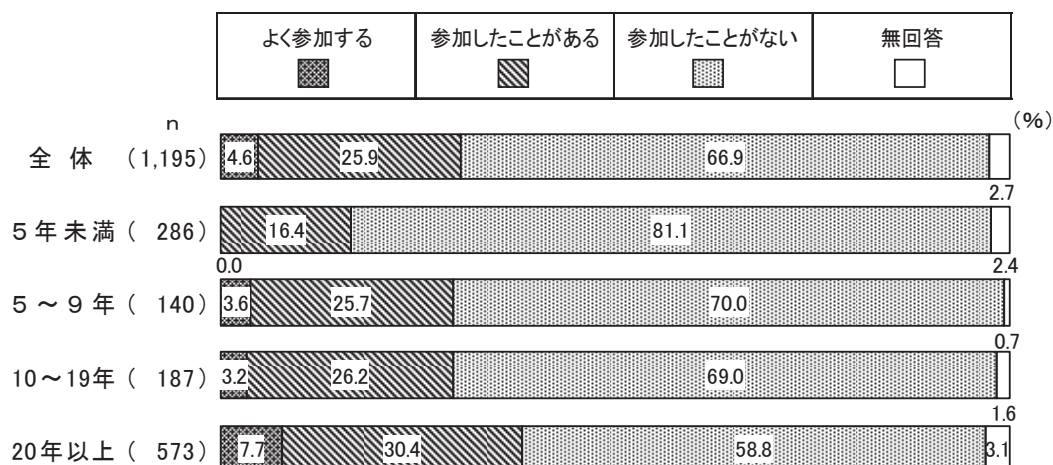
図7-6-1 地域活動の参加状況（全体）



### (2) 居住年数別

- ・『参加したことがある』は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、20年以上（38.1%）で最も高くなっている。

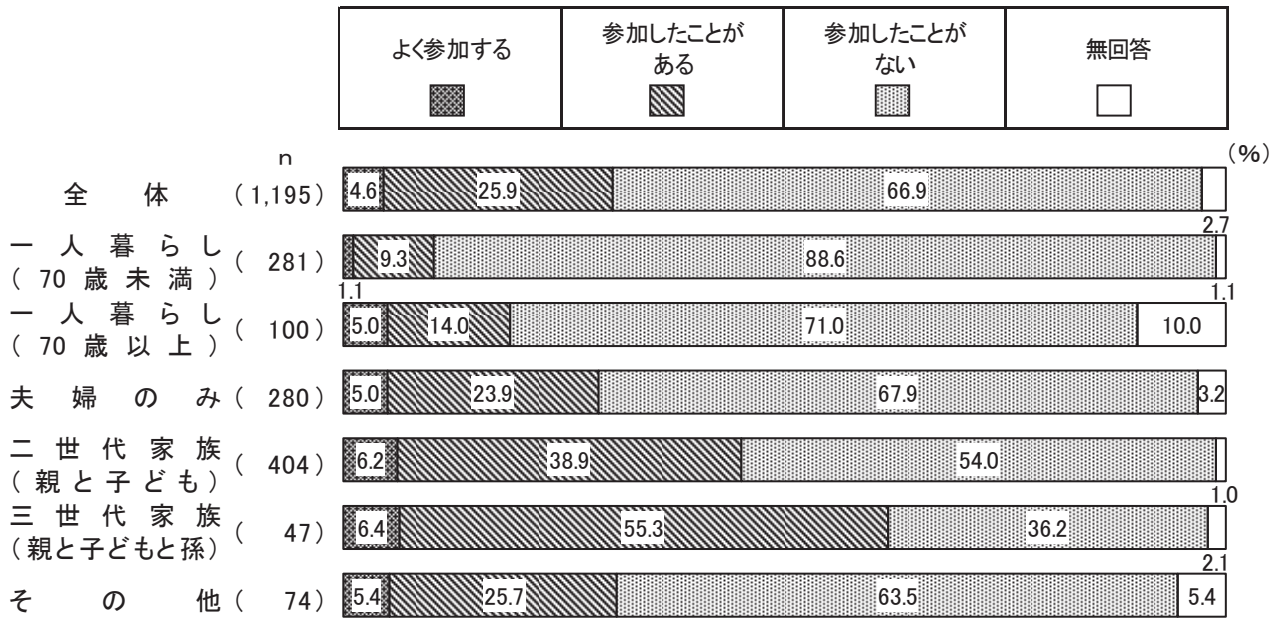
図7-6-2 地域活動の参加状況（居住年数別）



(3) 世帯構成別

- ・『参加したことがある』は三世代家族（61.7%）で最も高く、次いで二世世代家族（45.1%）となっている。

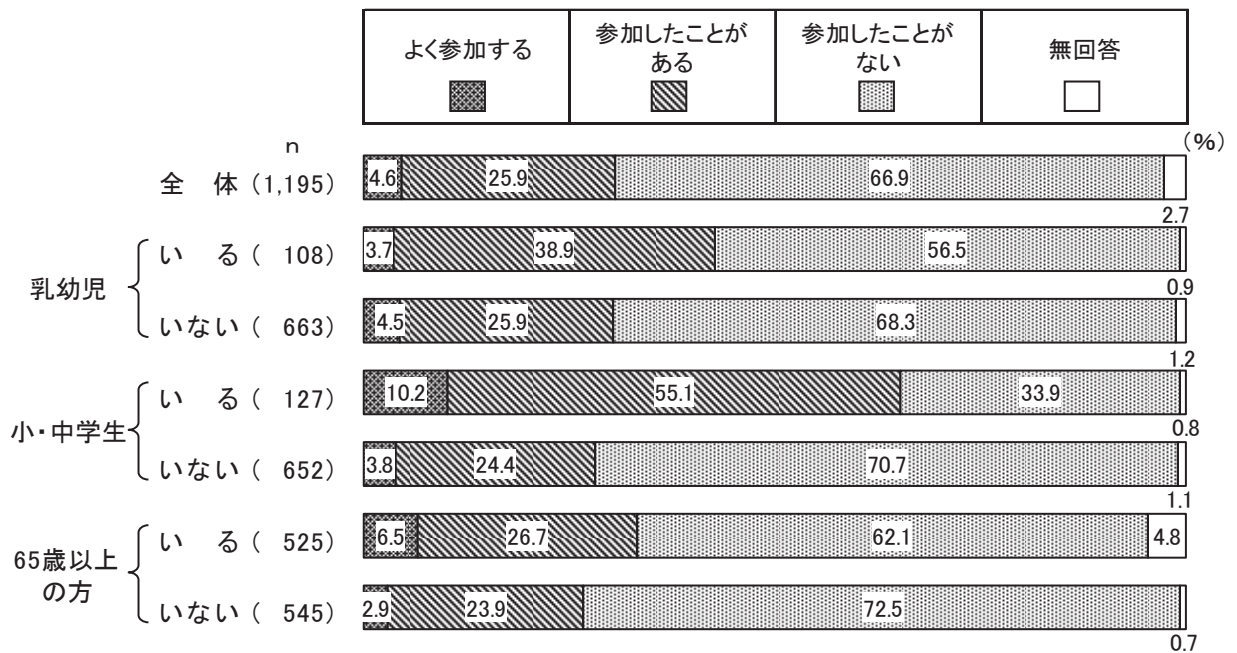
図7-6-3 地域活動の参加状況（世帯構成別）



(4) 家族構成別

- ・『参加したことがある』は小・中学生がいる家族（65.3%）が小・中学生がいない家族（28.2%）を 37.1 ポイント上回っている。また、就学前の乳幼児がいる家族（42.6%）が就学前の乳幼児がいない家族（30.4%）を 12.2 ポイント上回っている。

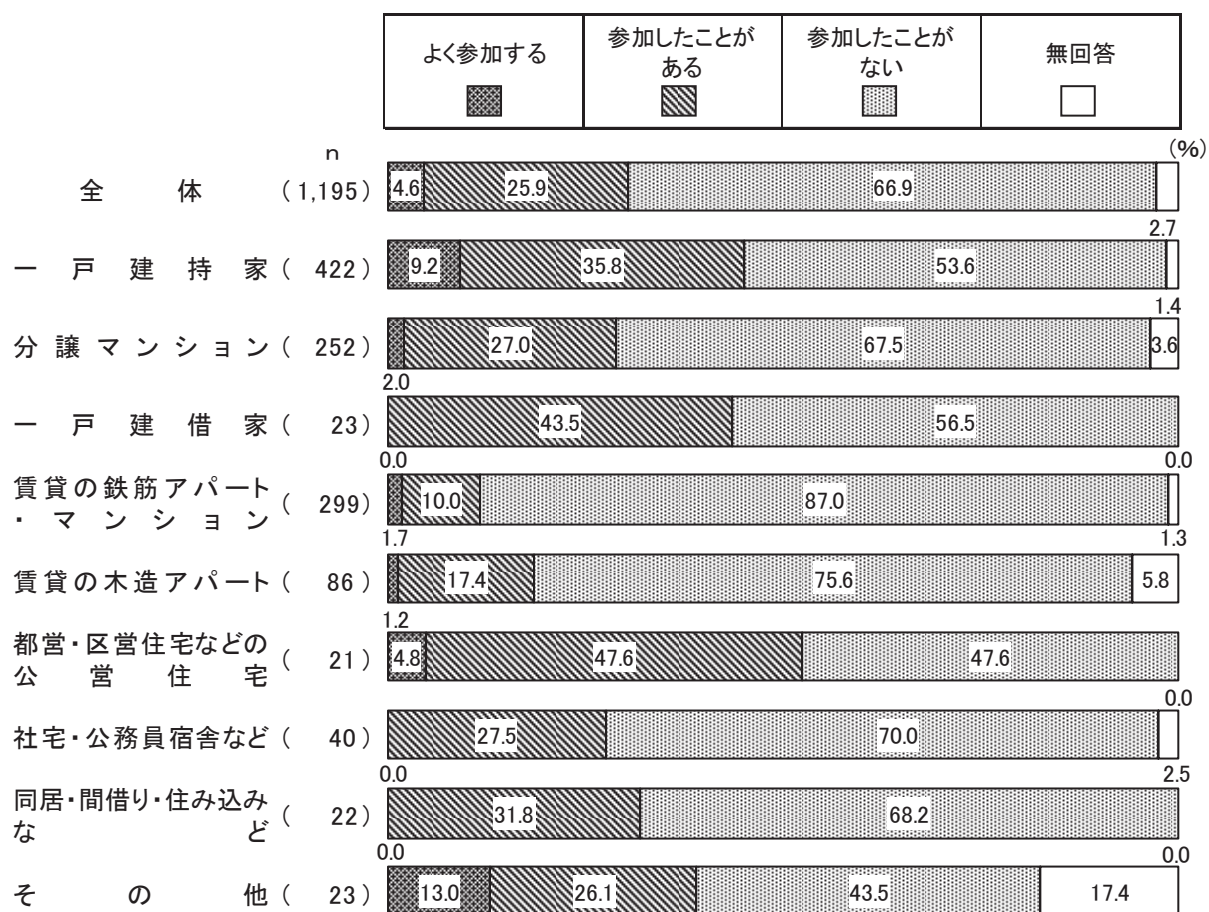
図7-6-4 地域活動の参加状況（家族構成別）



(5) 居住形態別

- ・『参加したことがある』は都営・区営住宅などの公営住宅（52.4%）、一戸建持家（45.0%）、一戸建借家（43.5%）で高くなっている。
- ・「参加したことがない」は賃貸の鉄筋アパート・マンション（87.0%）、賃貸の木造アパート（75.6%）で高くなっている。

図7-6-5 地域活動の参加状況（居住形態別）





## 7-7 参加した地域活動

(問18で、地域活動に「よく参加する」「参加したことがある」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

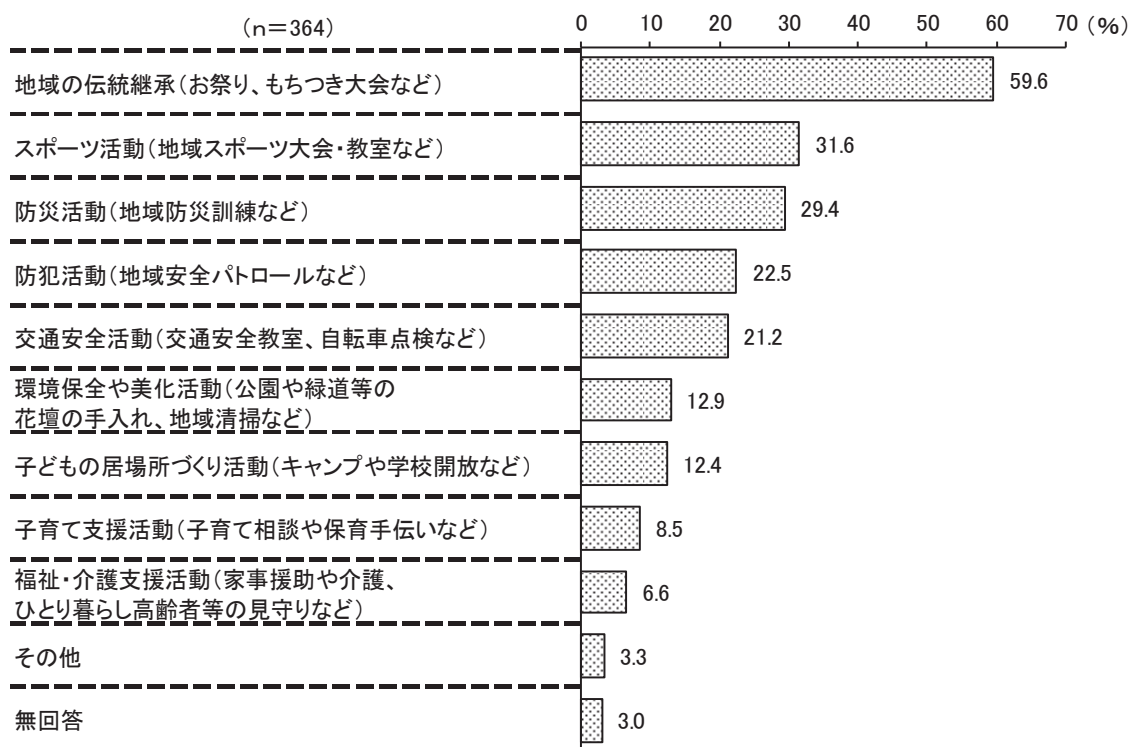
問18-1 下記の地域活動のうち、「あなたが参加している・参加したことがある分野」は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「地域の伝統継承(お祭り、もちつき大会など)」が6割で最も高く、次いで「スポーツ活動(地域スポーツ大会・教室など)」が3割を超え、「防災活動(地域防災訓練など)」がほぼ3割となっている。

### (1) 全体

- ・「地域の伝統継承(お祭り、もちつき大会など)」が59.6%で最も高く、次いで「スポーツ活動(地域スポーツ大会・教室など)」31.6%、「防災活動(地域防災訓練など)」29.4%、「防犯活動(地域安全パトロールなど)」22.5%、「交通安全活動(交通安全教室、自転車点検など)」21.2%の順となっている。

図7-7-1 参加した地域活動(全体)



## 7-8 参加してみたい地域活動

(問18で、地域活動に「よく参加する」「参加したことがある」「参加したことがない」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

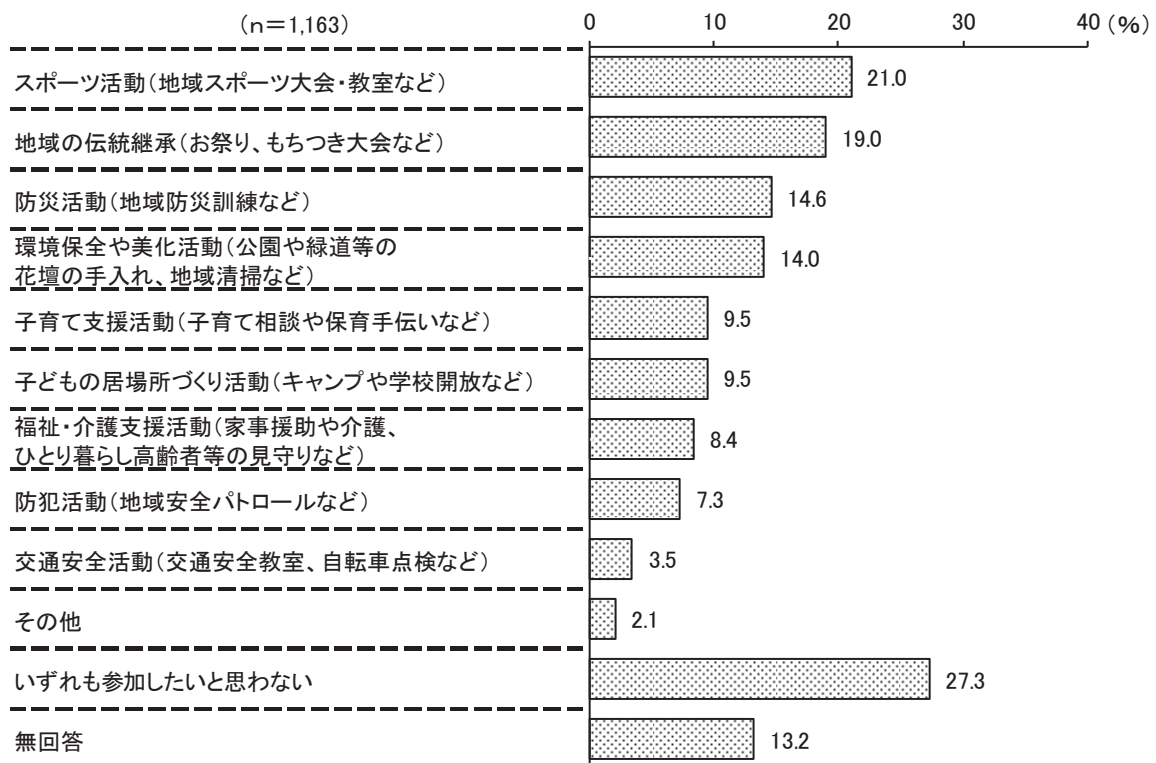
問18-2 下記の地域活動のうち、参加したことはないが「参加してみたい分野」は何ですか。  
(○はいくつでも)

- ・分野としては、「スポーツ活動(地域スポーツ大会・教室など)」が2割を超えて最も高く、次いで「地域の伝統継承(お祭り、もちつき大会など)」がほぼ2割、「防災活動(地域防災訓練など)」と「環境保全や美化活動(公園や緑道等の花壇の手入れ、地域清掃など)」が1割半ばとなっている。
- ・一方、「いずれも参加したいと思わない」が3割近くとなっている。

### (1) 全体

- ・「スポーツ活動(地域スポーツ大会・教室など)」が21.0%、次いで「地域の伝統継承(お祭り、もちつき大会など)」19.0%、「防災活動(地域防災訓練など)」14.6%、「環境保全や美化活動(公園や緑道等の花壇の手入れ、地域清掃など)」14.0%、「子育て支援活動(子育て相談や保育手伝いなど)」9.5%、「子どもの居場所づくり活動(キャンプや学校開放など)」9.5%の順となっている。
- ・一方、「いずれも参加したいと思わない」が27.3%となっている。

図7-8-1 参加してみたい地域活動(全体)



## 7-9 地域活動に参加したことがない理由

(問 18 で、地域活動に「参加したことがない」と回答した方にお尋ねします)

問18-3 地域活動に参加したことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

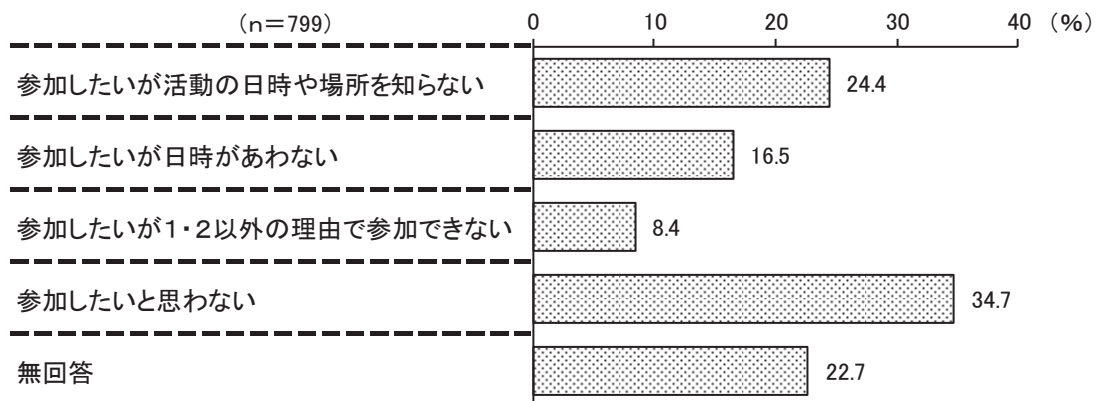
- ・「参加したいと思わない」が3割半ばで最も高くなっている。参加意思がある人の中では「参加したいが活動の日時や場所を知らない」が2割半ばで最も高く、次いで「参加したいが日時があわない」が1割半ば、「参加したいが1・2以外の理由で参加できない」が1割近くとなっている。

### (1) 全体

- ・「参加したいと思わない」が34.7%で最も高くなっている。参加意思のある人の中では「参加したいが活動の日時や場所を知らない」が24.4%で最も高く、次いで「参加したいが日時があわない」16.5%、「参加したいが1・2以外の理由で参加できない」8.4%の順となっている。

図7-9-1 地域活動に参加したことがない理由(全体)

※選択肢「参加したいが1・2以外の理由で参加できない」の1は「参加したいが活動の日時や場所を知らない」、2は「参加したいが日時があわない」を示している。



## 7-10 地域活動に参加しやすくなるために必要なこと

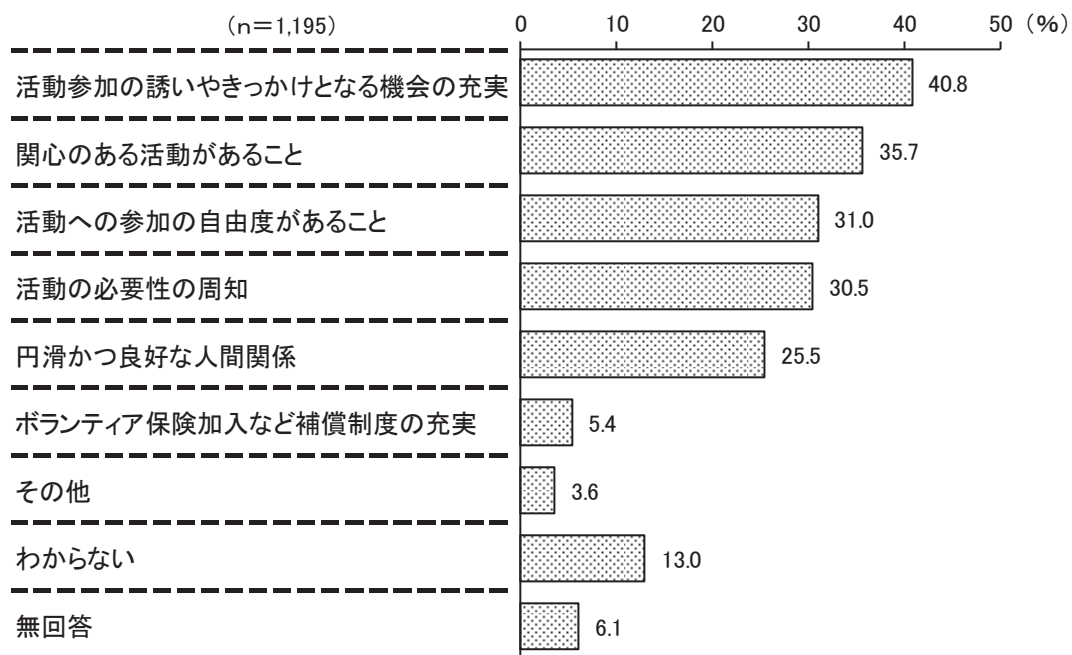
問 19 皆さんが地域活動に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

- ・「活動参加の誘いやきっかけとなる機会の充実」がほぼ4割で最も高く、次いで「関心のある活動があること」が3割半ば、「活動への参加の自由度があること」が3割を超え、「活動の必要性の周知」がほぼ3割、「円滑かつ良好な人間関係」が2割半ばとなっている。
- ・「活動参加の誘いやきっかけとなる機会の充実」は、よく参加する人と参加したことがある人で高くなっている。また、「円滑かつ良好な人間関係」は、よく参加する人で高くなっている。

### (1) 全体

- ・「活動参加の誘いやきっかけとなる機会の充実」が40.8%で最も高く、次いで「関心のある活動があること」35.7%、「活動への参加の自由度があること」31.0%、「活動の必要性の周知」30.5%、「円滑かつ良好な人間関係」25.5%の順となっている。

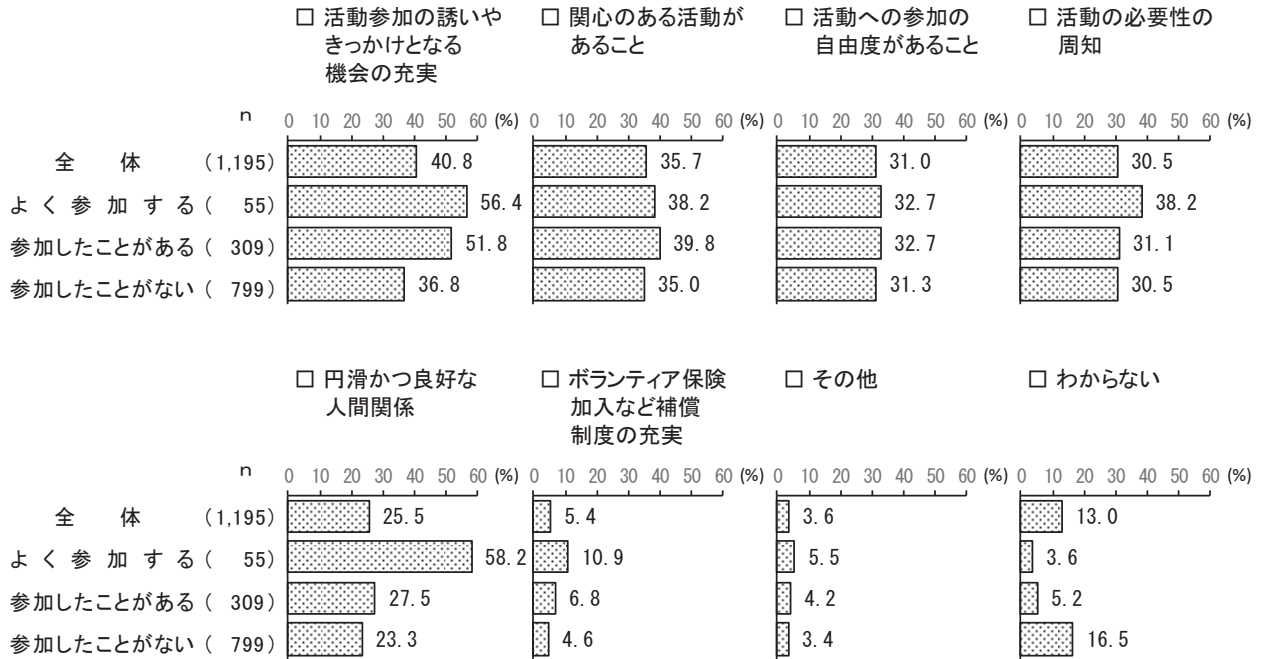
図 7-10-1 地域活動に参加しやすくなるために必要なこと（全体）



(2) 地域活動への参加状況別

- ・「活動参加の誘いやきっかけとなる機会の充実」は、よく参加する人 (56.4%) と参加したことがある人 (51.8%) で高く、参加したことがない人 (36.8%) よりも 15 ポイント以上上回っている。
- ・「円滑かつ良好な人間関係」は、よく参加する人 (58.2%) で高く、参加したことがある人 (27.5%) と参加したことがない人 (23.3%) よりも 30 ポイント以上上回っている。

図 7-10-2 地域活動に参加しやすくなるために必要なこと (地域活動への参加状況別)



## 8. 多文化共生

「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

### 8-1 多文化共生の認知度

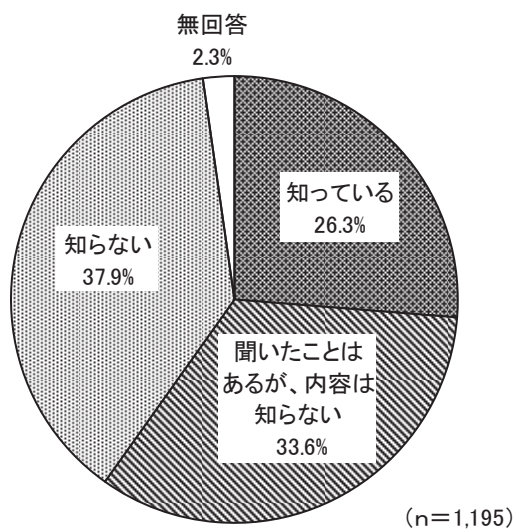
問20 あなたは、多文化共生について知っていますか。（○は1つ）

- ・「知っている」は2割半ばとなっている。一方、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「知らない」を合わせた『知らない』は7割を超えている。
- ・「知っている」は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の10・20代で4割半ば、女性の30代で3割を超えており、それぞれ最も高くなっている。

#### (1) 全体

- ・「知っている」は26.3%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」33.6%と「知らない」37.9%を合わせた『知らない』は71.5%となっている。

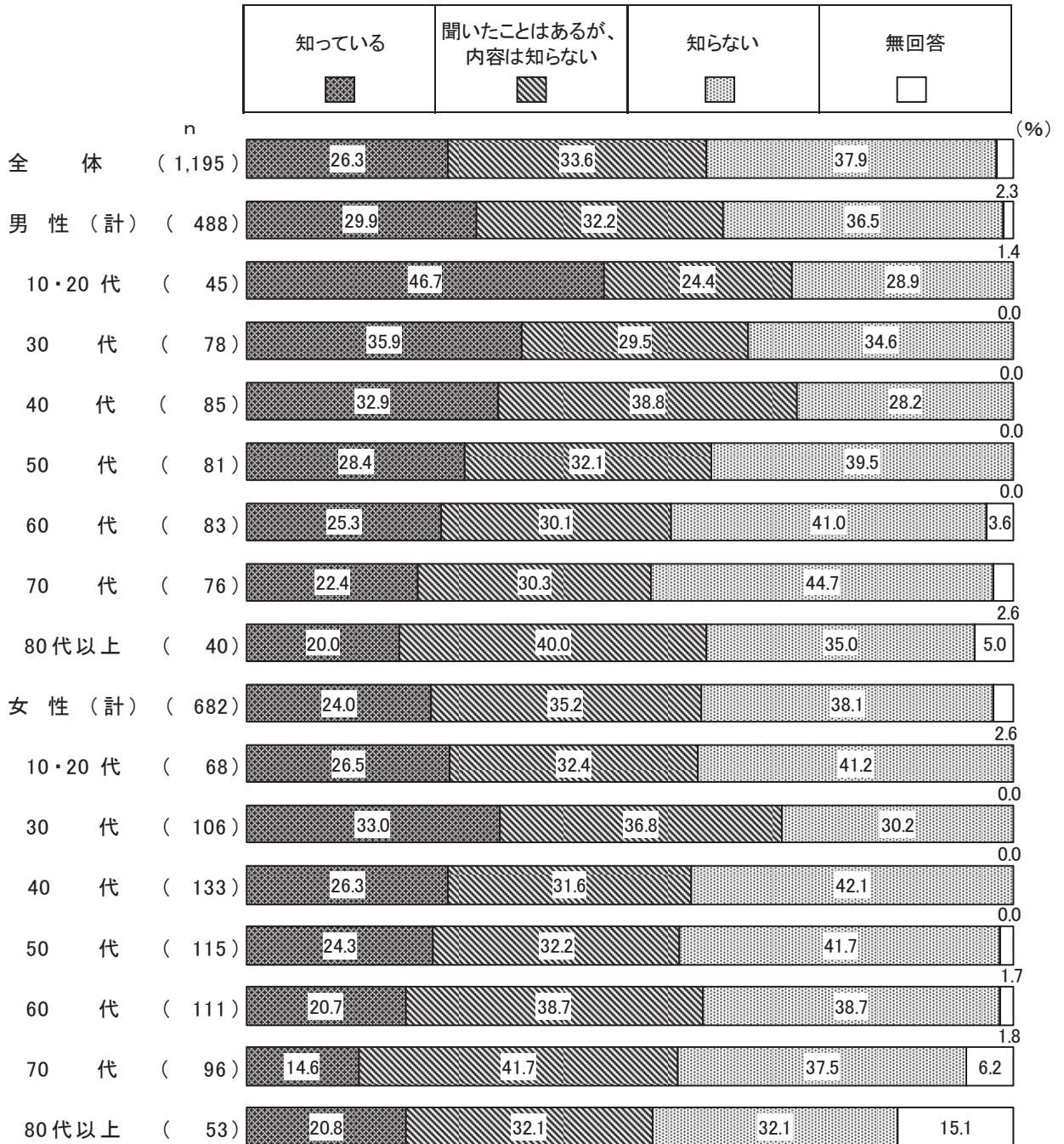
図8-1-1 多文化共生の認知度（全体）



(2) 性・年代別

- ・「知っている」は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の10・20代(46.7%)、女性の30代(33.0%)で最も高くなっている。

図8-1-2 多文化共生の認知度(性・年代別)



## 8-2 外国人の方に接する機会の有無

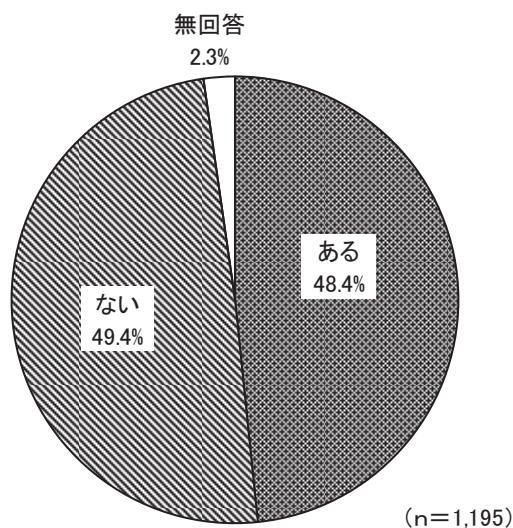
問21 あなたは外国人の方に接する機会がありますか。(○は1つ)

- ・「ある」が5割近く、「ない」がほぼ5割となっている。
- ・「ある」は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の10・20代が8割近く、女性の30代が7割近くで最も高くなっている。また、学生が7割半ば、自由業が6割を超え、常勤の勤め人がほぼ6割と高くなっている。
- ・「ない」は無職がほぼ7割で最も高く、次いで主に家事に従事が6割近くとなっている。

### (1) 全体

- ・「ある」が48.4%、「ない」が49.4%となっている。

図8-2-1 外国人の方に接する機会の有無(全体)

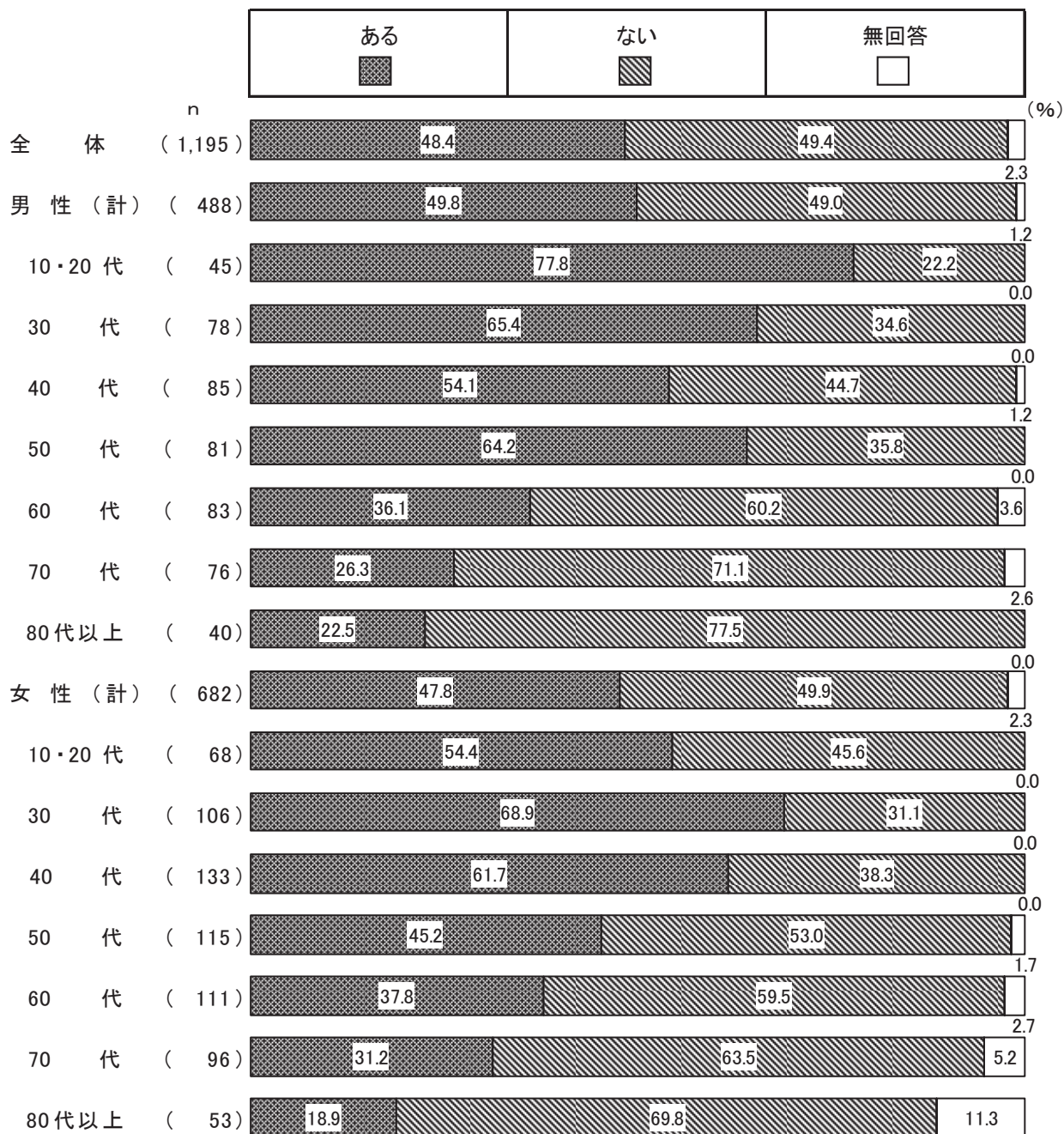




(2) 性・年代別

- ・「ある」は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の10・20代(77.8%)、女性の30代(68.9%)で最も高くなっている。

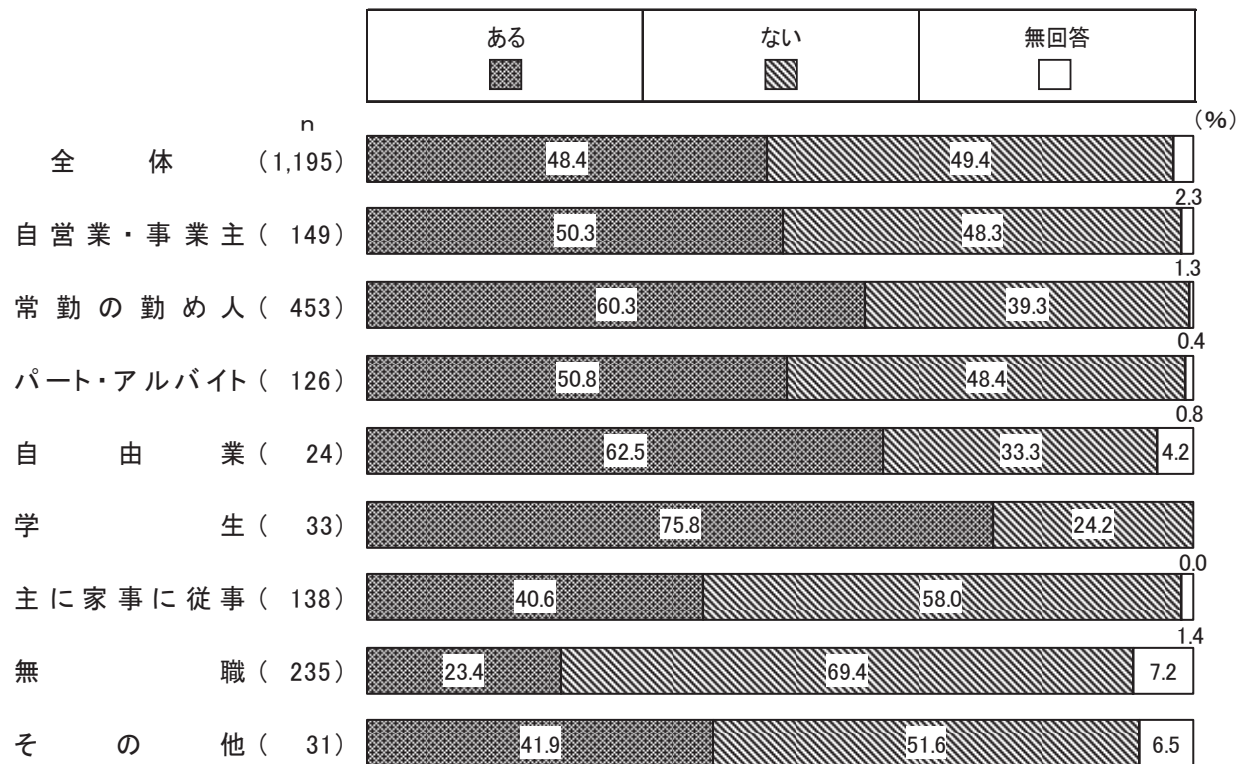
図8-2-2 外国人の方に接する機会の有無(性・年代別)



(3) 職業別

- ・「ある」は学生（75.8%）が最も高く、次いで自由業（62.5%）、常勤の勤め人（60.3%）の順となっている。「ない」は無職（69.4%）が最も高く、次いで主に家事に従事（58.0%）となっている。

図 8 - 2 - 3 外国人の方に接する機会の有無（職業別）



### 8-3 外国人の方に接する場面

(問21で「ある」と回答した方にお尋ねします)

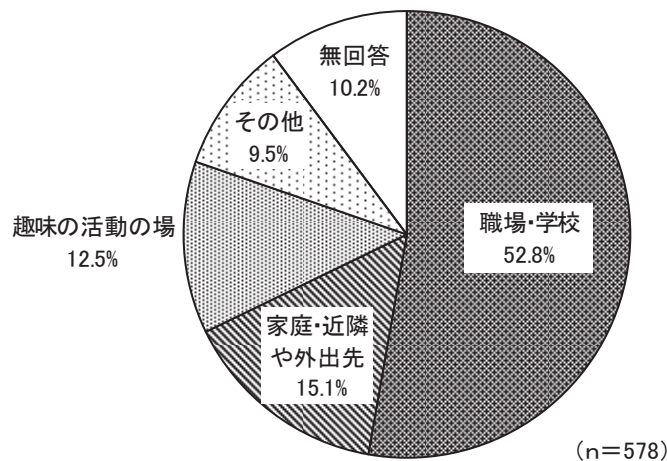
問21-1 主にどのような場面で外国人の方に接する機会がありますか。(○は1つ)

- ・「職場・学校」が5割を超えて最も高く、次いで「家庭・近隣や外出先」が1割半ば、「趣味の活動の場」が1割を超えている。
- ・「職場・学校」の割合は、男性は6割を超え、女性の4割半ばを上回っている。一方、「家庭・近隣や外出先」と「趣味の活動の場」の割合は、女性が男性を上回っている。
- ・「職場・学校」は男性、女性ともに10・20代～50代で割合が高く、特に男性は10・20代、40代、女性は10・20代で高くなっている。

#### (1) 全体

- ・「職場・学校」が52.8%で最も高く、次いで「家庭・近隣や外出先」15.1%、「趣味の活動の場」12.5%の順となっている。

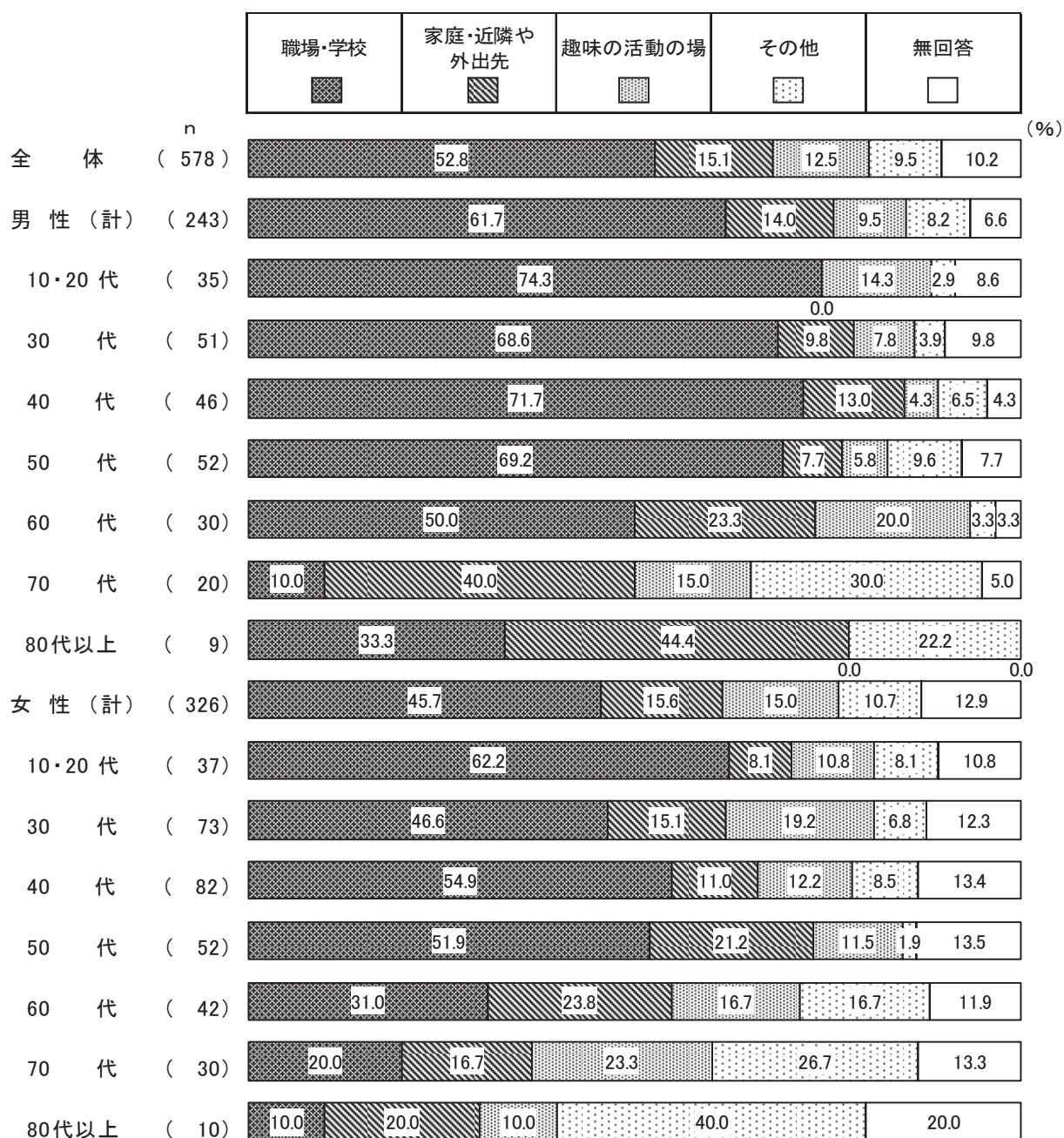
図8-3-1 外国人の方に接する場面(全体)



(2) 性・年代別

- ・「職場・学校」は男性（61.7%）が女性（45.7%）を 16.0 ポイント上回っている。一方、「家庭・近隣や外出先」は女性（15.6%）が男性（14.0%）を 1.6 ポイント、「趣味の活動の場」は女性（15.0%）が男性（9.5%）を 5.5 ポイント上回っている。
- ・「職場・学校」は男性、女性ともに 10・20 代～50 代で割合が高く、特に男性の 10・20 代（74.3%）、40 代（71.7%）、50 代（69.2%）、30 代（68.6%）、女性の 10・20 代（62.2%）で高くなっている。

図 8-3-2 外国人の方に接する場面（性・年代別）



## 8-4 多文化共生の推進のために区に取り組んでほしいこと

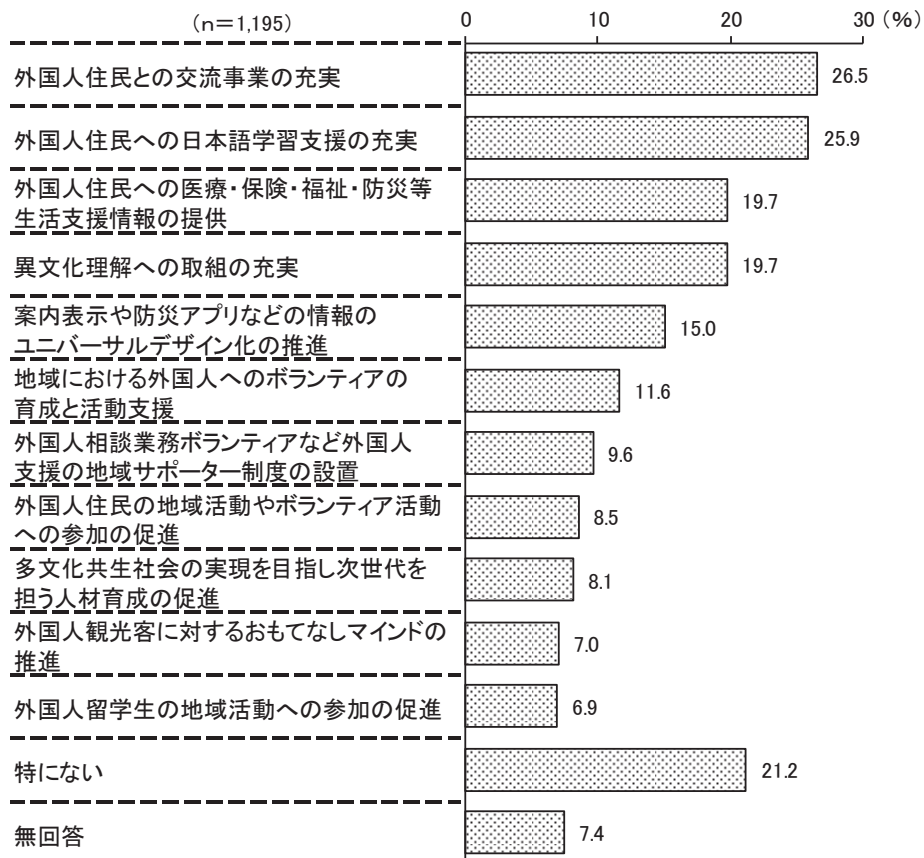
問22 多文化共生を地域で推進するために、区に特に力を入れて取り組んでほしいことは何ですか。（〇は3つまで）

- ・「外国人住民との交流事業の充実」と「外国人住民への日本語学習支援の充実」が2割半ば、「外国人住民への医療・保険・福祉・防災等生活支援情報の提供」と「異文化理解への取組の充実」が2割、「案内表示や防災アプリなどの情報のユニバーサルデザイン化の推進」が1割半ばとなっている。
- ・一方、「特にない」が2割を超えている。
- ・「外国人住民との交流事業の充実」は男性の50代、女性の30代で高くなっており、「外国人住民への日本語学習支援の充実」は女性の60代と10・20代、男性の50代で高くなっている。
- ・「案内表示や防災アプリなどの情報のユニバーサルデザイン化の推進」は男性の10・20代で高くなっている。

### (1) 全体

- ・「外国人住民との交流事業の充実」が26.5%、「外国人住民への日本語学習支援の充実」が25.9%、「外国人住民への医療・保険・福祉・防災等生活支援情報の提供」と「異文化理解への取組の充実」が19.7%、「案内表示や防災アプリなどの情報のユニバーサルデザイン化の推進」が15.0%となっている。
- ・一方、「特にない」が21.2%となっている。

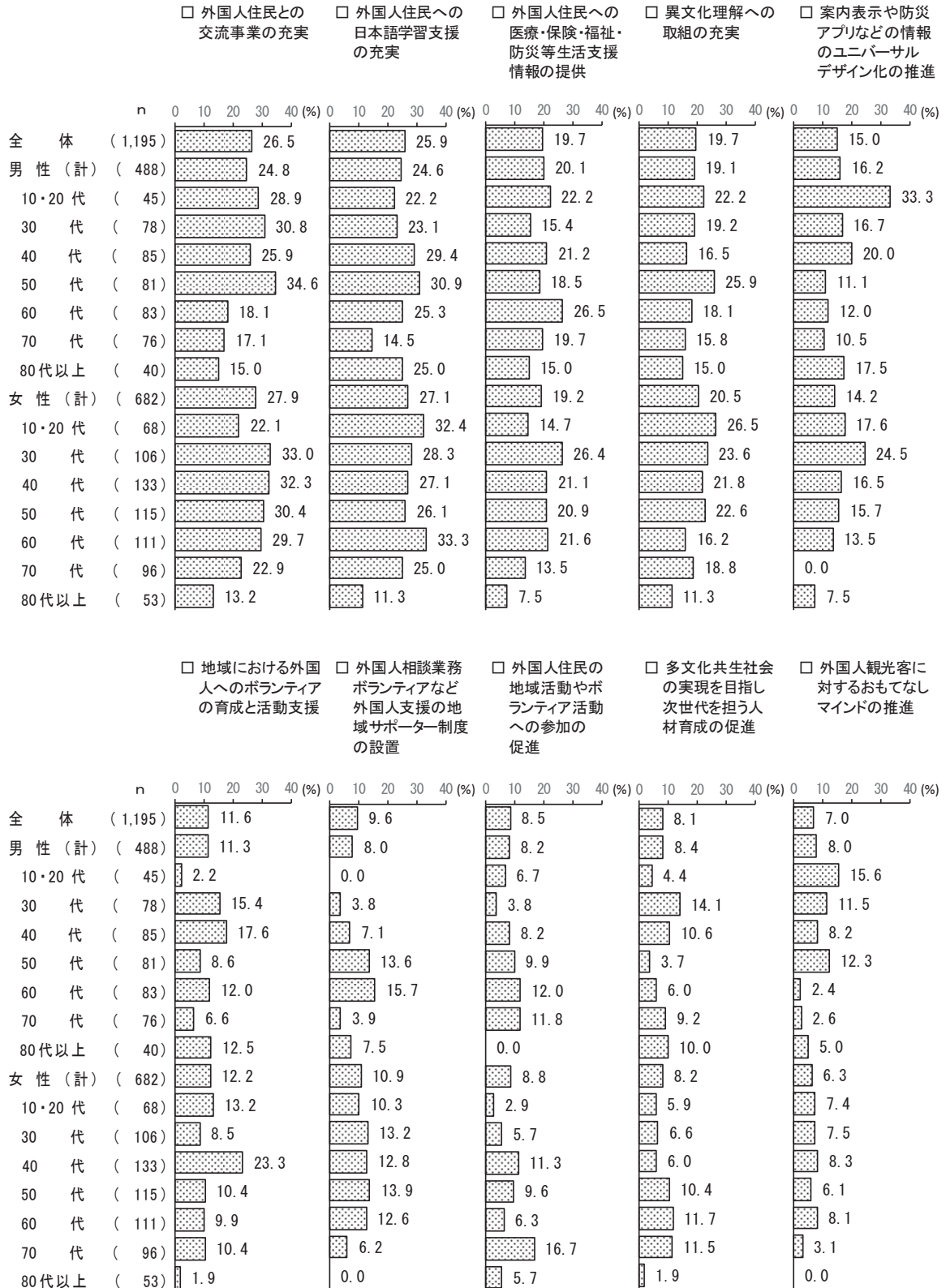
図8-4-1 多文化共生の推進のため区に取り組んでほしいこと（全体）



(2) 性・年代別

・「外国人住民との交流事業の充実」は男性の50代(34.6%)、女性の30代(33.0%)で高くなっており、「外国人住民への日本語学習支援の充実」は女性の60代(33.3%)と10・20代(32.4%)、男性の50代(30.9%)で高くなっている。「案内表示や防災アプリなどの情報のユニバーサルデザイン化の推進」は男性の10・20代(33.3%)で高くなっている。

図8-4-2 多文化共生の推進のため区に取り組んでほしいこと【上位10項目】(性・年代別)



## 9. 運動・スポーツ

### 9-1 運動やスポーツの実施状況

問23 あなたは、この1年間に1回30分以上の運動やスポーツをどのくらい行っていますか。  
(○は1つ)

- ・「週に2～3回程度行っている」と「週に1回程度行っている」がともに2割近くとなっている。一方、「1年間、ほとんど行わなかった」が3割近くとなっている。
- ・「ほぼ毎日行っている」は男性が女性を上回り、男性の60代と70代で高くなっている。また、南部地区と西部地区、学生とパート・アルバイトで高くなっている。
- ・「1年間、ほとんど行わなかった」は女性が男性を上回り、女性の30代、60代、80代以上、男性の40代で高くなっている。また、北部地区と西部地区、パート・アルバイトで高くなっている。

#### (1) 全体

- ・「週に2～3回程度行っている」が18.6%、「週に1回程度行っている」が17.2%、「月に2～3回程度行っている」が12.6%、「年に数回程度行っている」が12.3%、「ほぼ毎日行っている」が9.3%となっている。一方、「1年間、ほとんど行わなかった」が27.7%となっている。
- ・運動やスポーツの実施状況の推移をみると、前回（平成26年）より「年に数回程度行っている」が2.1ポイント増加し、「1年間、ほとんど行わなかった」が2.2ポイント減少している。

図9-1-1 運動やスポーツの実施状況（全体）

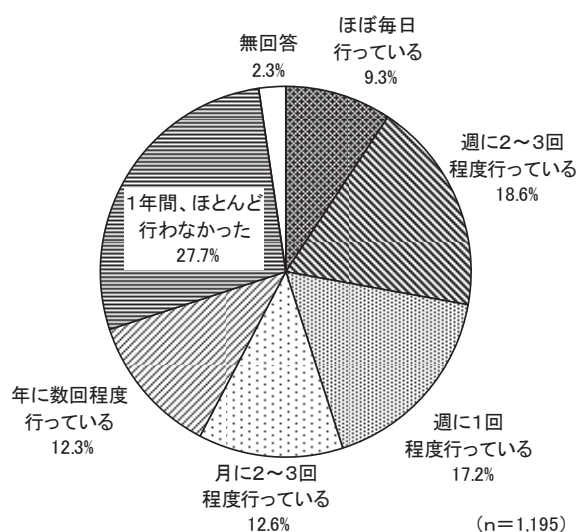
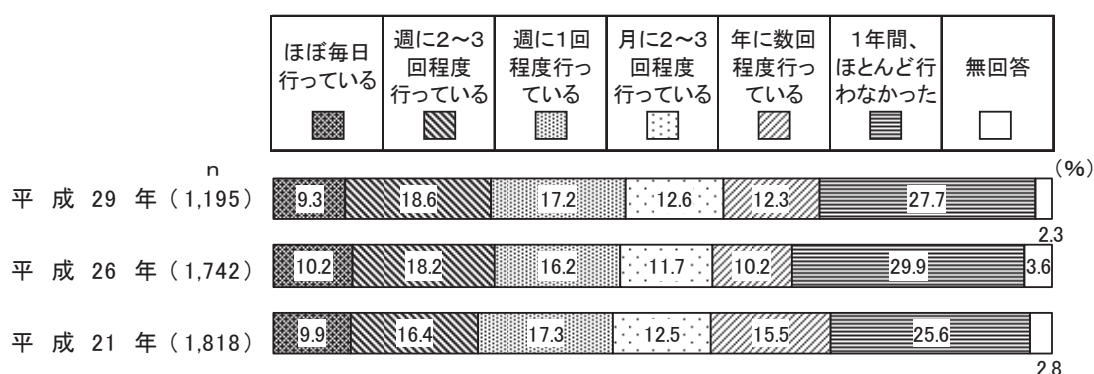


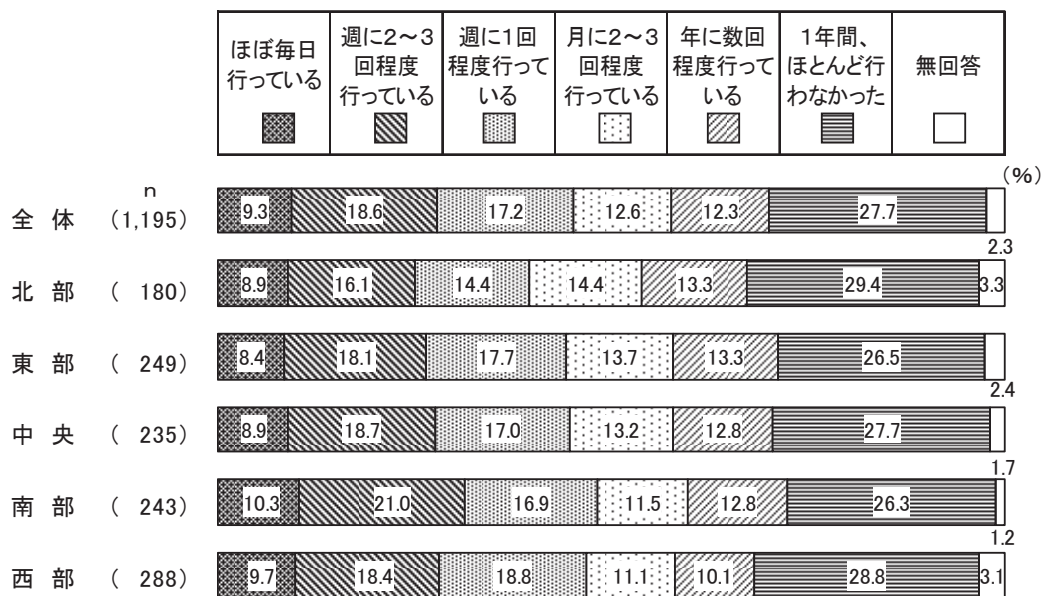
図9-1-2 運動やスポーツの実施状況の推移（全体）



## (2) 地区別

- ・「ほぼ毎日行っている」は南部地区（10.3%）と西部地区（9.7%）で高くなっている。
- ・「1年間、ほとんど行わなかった」は北部地区（29.4%）と西部地区（28.8%）で高くなっている。

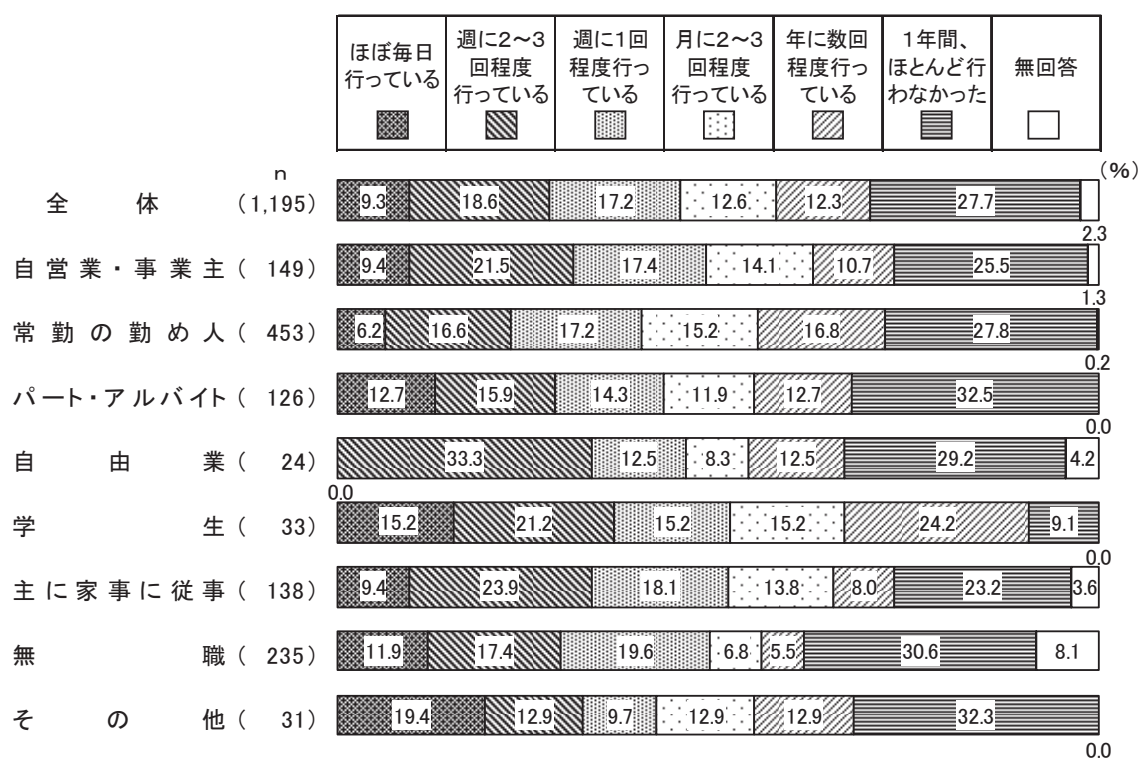
図9-1-3 運動やスポーツの実施状況（地区別）



## (3) 職業別

- ・「ほぼ毎日行っている」は学生（15.2%）とパート・アルバイト（12.7%）で高くなっている。
- ・「1年間、ほとんど行わなかった」はパート・アルバイト（32.5%）、無職（30.6%）で高くなっている。

図9-1-4 運動やスポーツの実施状況（職業別）

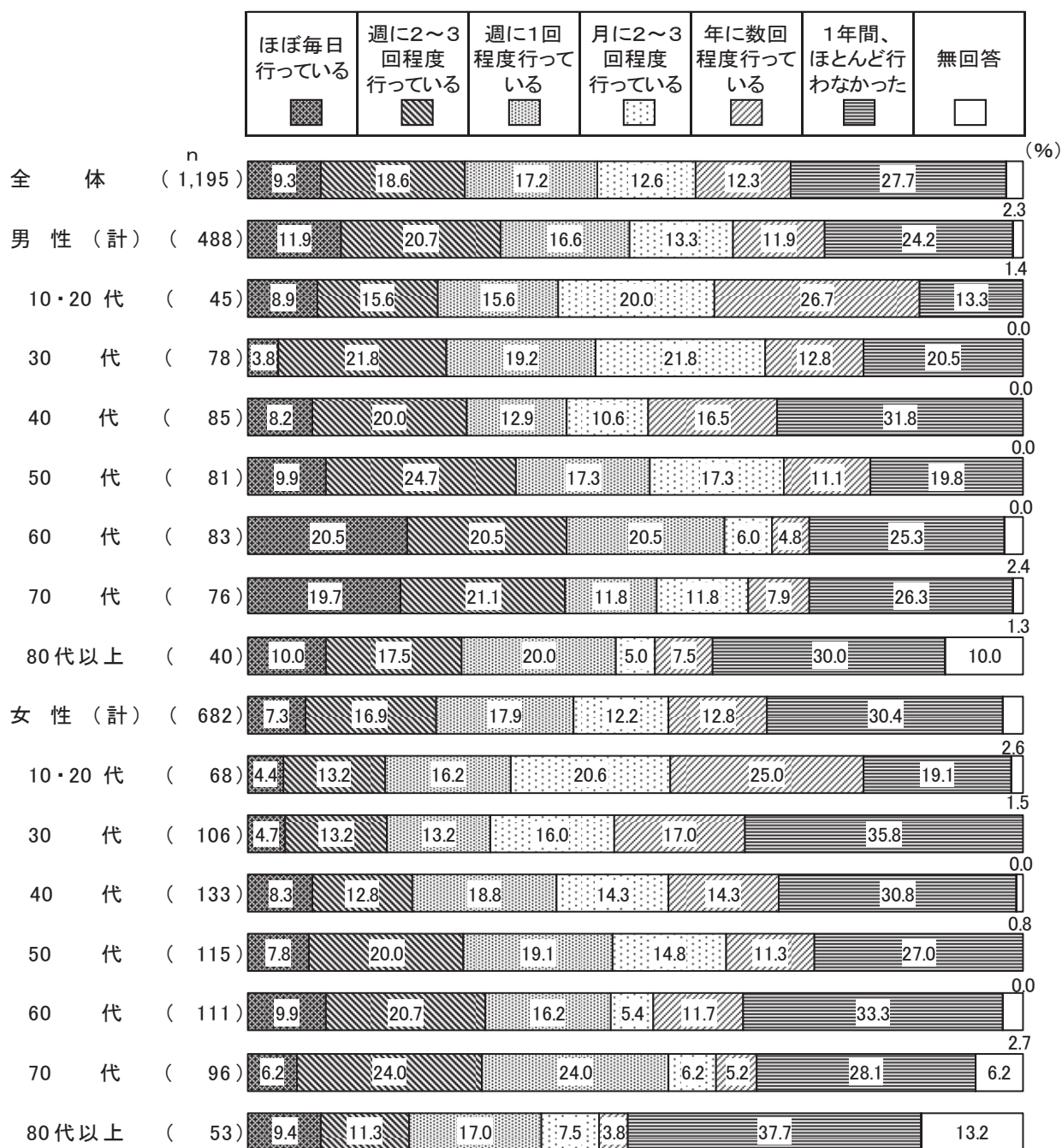




(4) 性・年代別

- ・「ほぼ毎日行っている」は男性（11.9%）が女性（7.3%）を4.6ポイント上回っている。一方、「1年間、ほとんど行わなかった」は女性（30.4%）が男性（24.2%）を6.2ポイント上回っている。
- ・「ほぼ毎日行っている」は男性の60代（20.5%）と70代（19.7%）で高くなっている。
- ・「1年間、ほとんど行わなかった」は男性の40代（31.8%）、女性の30代（35.8%）、60代（33.3%）、80代以上（37.7%）で高くなっている。

図9-1-5 運動やスポーツの実施状況（性・年代別）



## 9-2 現在行っている運動・スポーツ

(問23で、この1年間に1回30分以上の運動やスポーツを「ほぼ毎日行っている」～「年に数回程度行っている」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

問23-1 どんな運動をしていますか。(〇はいくつでも)

- ・「野外活動」が5割を超えて最も高く、次いで「健康体操」が3割を超えている。
- ・「野外活動」は男性が女性を上回り、男性の50代、南部地区で高くなっている。
- ・「健康体操」は女性が男性を上回っている。男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性の80代以上で高くなっている。また、北部地区で高くなっている。

### (1) 全体

- ・「野外活動」が53.3%で最も高く、次いで「健康体操」31.0%、「水泳」12.2%、「屋外球技」10.6%の順となっている。
- ・現在行っている運動・スポーツの推移をみると、前回(平成26年)より「野外活動」が8.9ポイント、「雪と氷のスポーツ」が2.3ポイント、それぞれ減少している。

図9-2-1 現在行っている運動・スポーツ(全体)

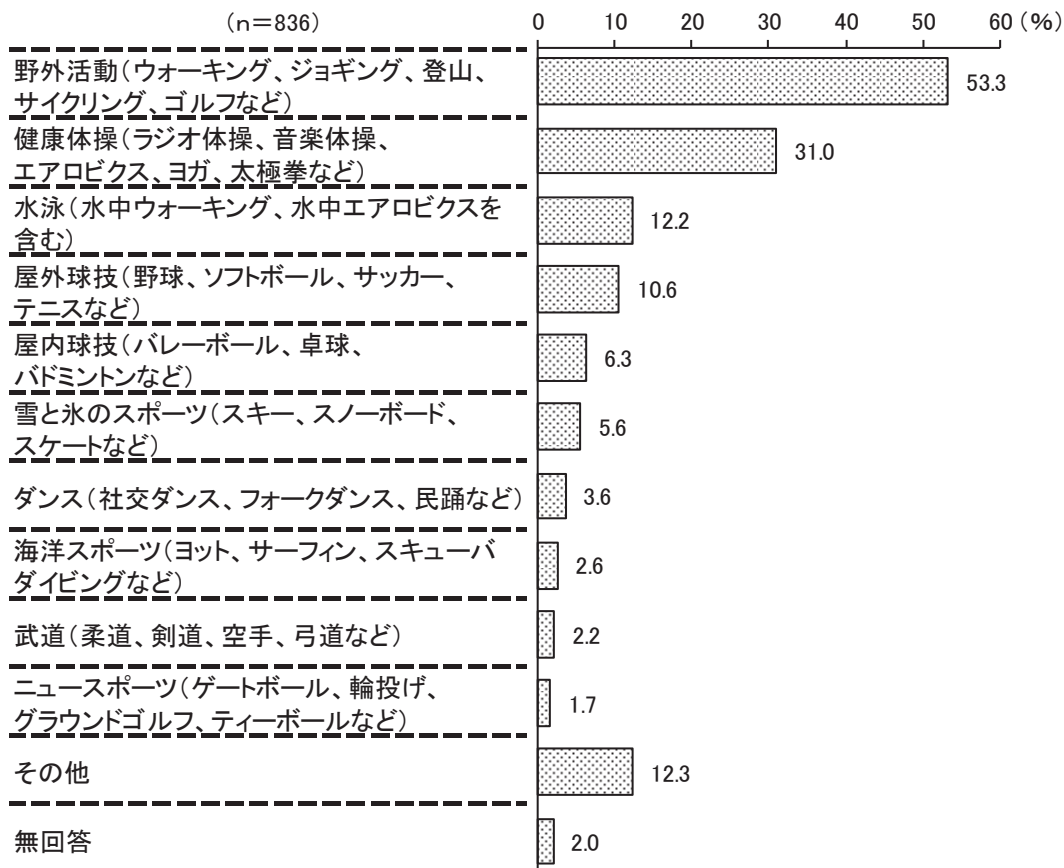
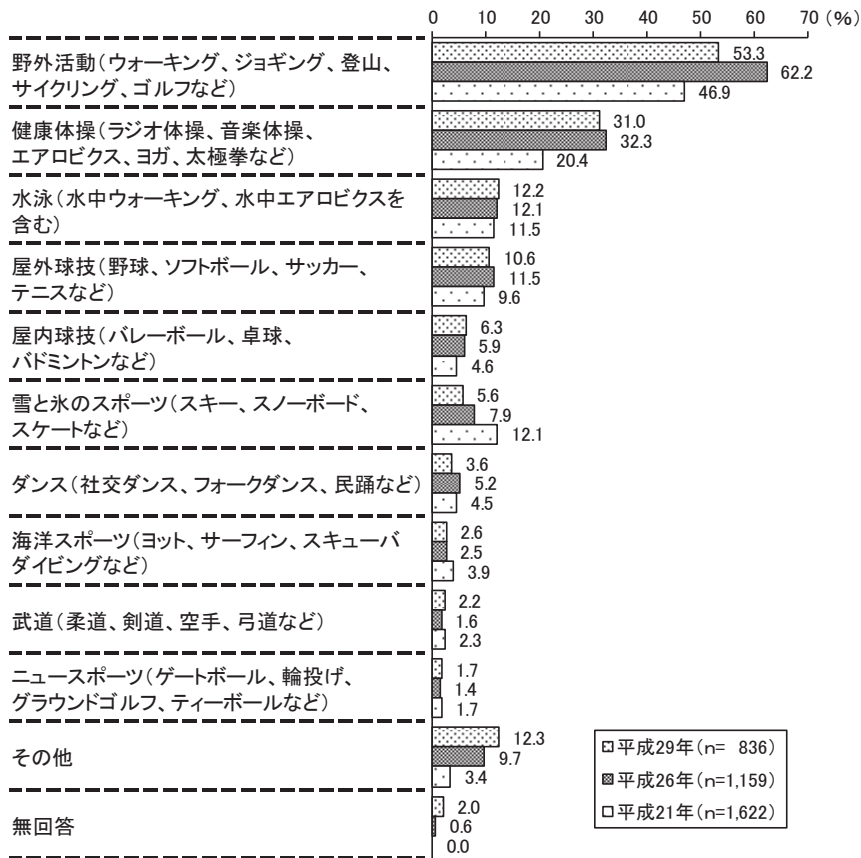


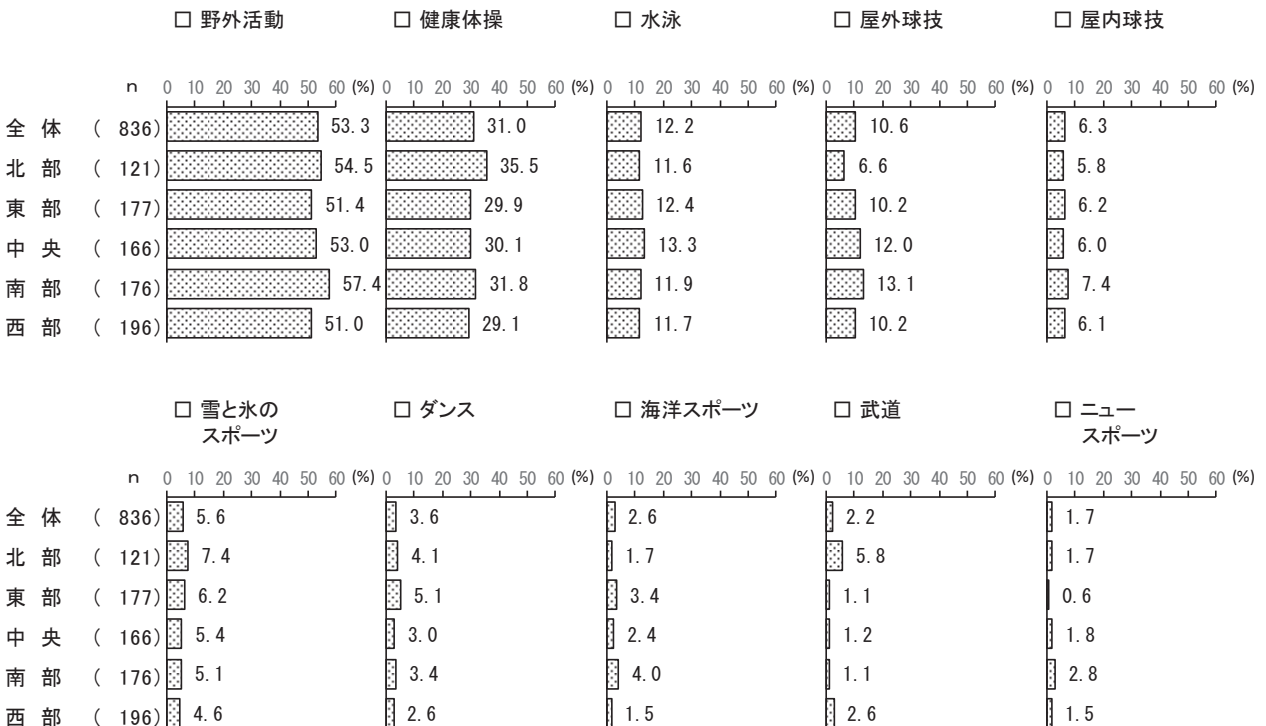
図9-2-2 現在行っている運動・スポーツの推移（全体）



(2) 地区別

- ・「野外活動」は各地区とも50%を超えており、南部地区(57.4%)で最も高くなっている。
- ・「健康体操」は各地区とも30%前後となっており、北部地区(35.5%)で最も高くなっている。

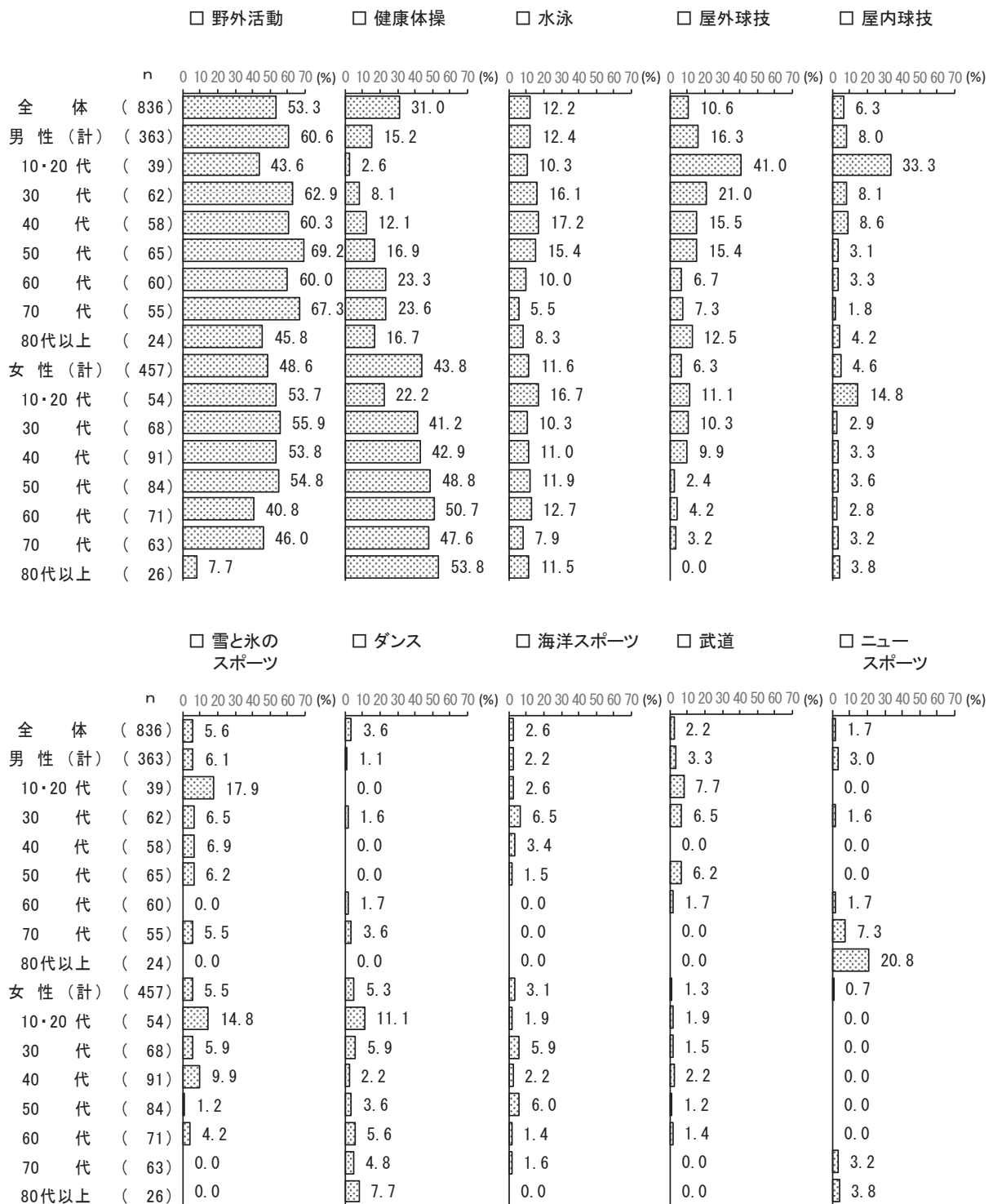
図9-2-3 現在行っている運動・スポーツ【上位10項目】（地区別）



(3) 性・年代別

- ・「野外活動」は男性（60.6%）が女性（48.6%）を 12.0 ポイント上回っており、この傾向は 10・20 代（男性 43.6%、女性 53.7%）を除いた各年代とも同様である。
- ・「健康体操」は女性（43.8%）が男性（15.2%）を 28.6 ポイント上回っており、この傾向はすべての年代とも同様である。また、男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「屋外球技」は男性（16.3%）が女性（6.3%）を 10.0 ポイント上回っている。また、男性の 10・20 代（41.0%）で最も高く、次いで男性の 30 代（21.0%）で高くなっている。

図 9-2-4 現在行っている運動・スポーツ【上位 10 項目】（性・年代別）



### 9-3 今後行いたい運動・スポーツ

問24 あなたは、今後どのような運動やスポーツをしたいですか。（〇は3つまで）

- ・「野外活動」が3割半ばで最も高く、次いで「健康体操」が3割を超え、「水泳」が2割半ば、「屋内球技」と「屋外球技」が1割半ばとなっている。
- ・「野外活動」はすべての年代で男性が女性を上回っており、男性の50代と60代、中央地区で高くなっている。
- ・「健康体操」はすべての年代で女性が男性を上回っており、女性の40代～60代、北部地区で高くなっている。

#### (1) 全体

- ・「野外活動」が34.4%で最も高く、次いで「健康体操」が31.5%、「水泳」が26.7%、「屋内球技」と「屋外球技」が15.2%となっている。
- ・今後行いたい運動・スポーツの推移をみると、前回（平成26年）より「野外活動」が9.6ポイント、「健康体操」が5.4ポイント、それぞれ減少している。

図9-3-1 今後行いたい運動・スポーツ（全体）

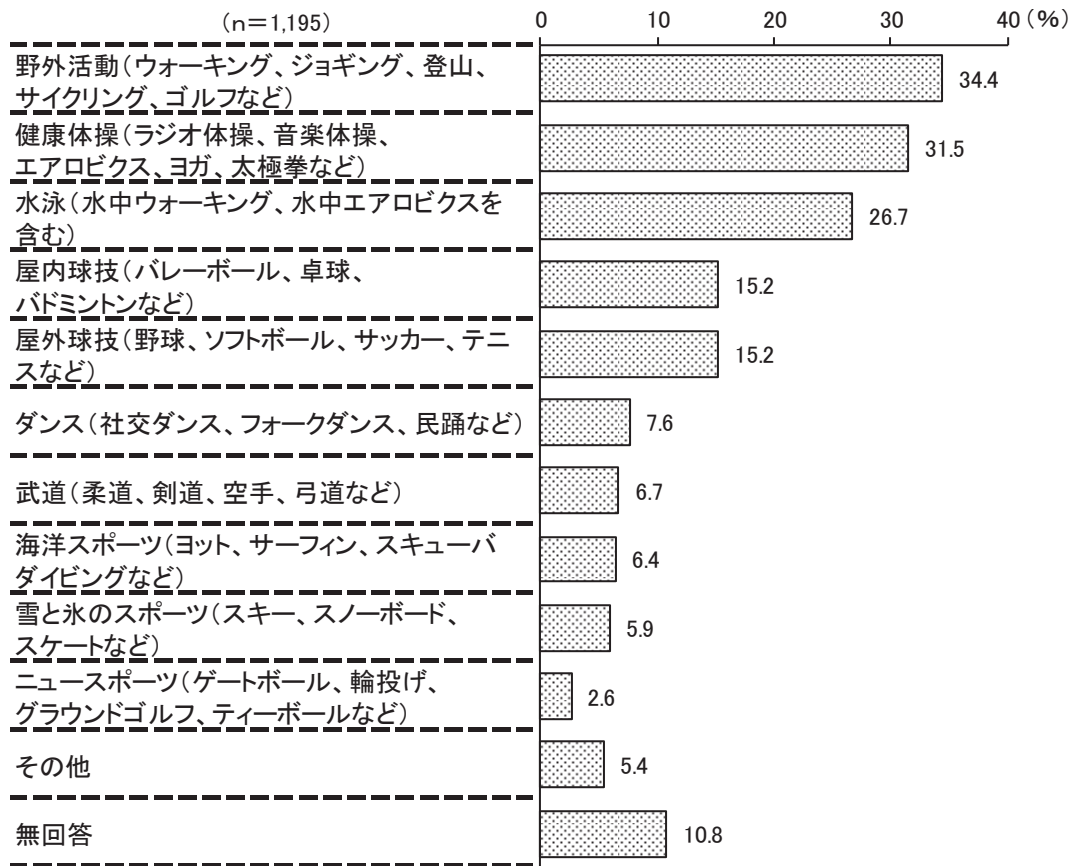
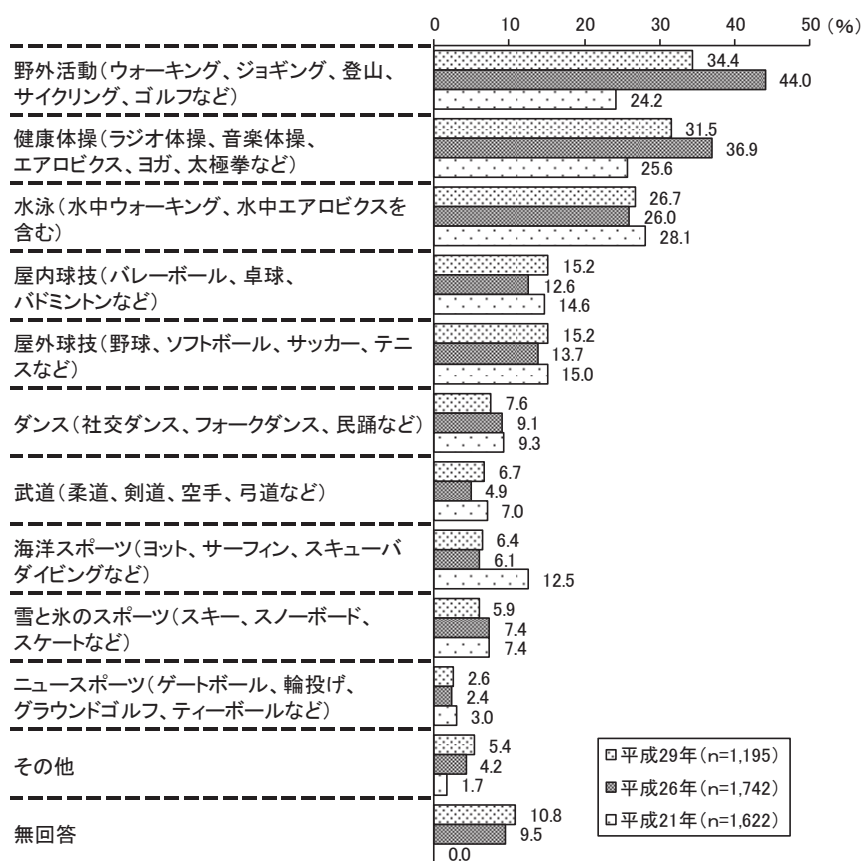


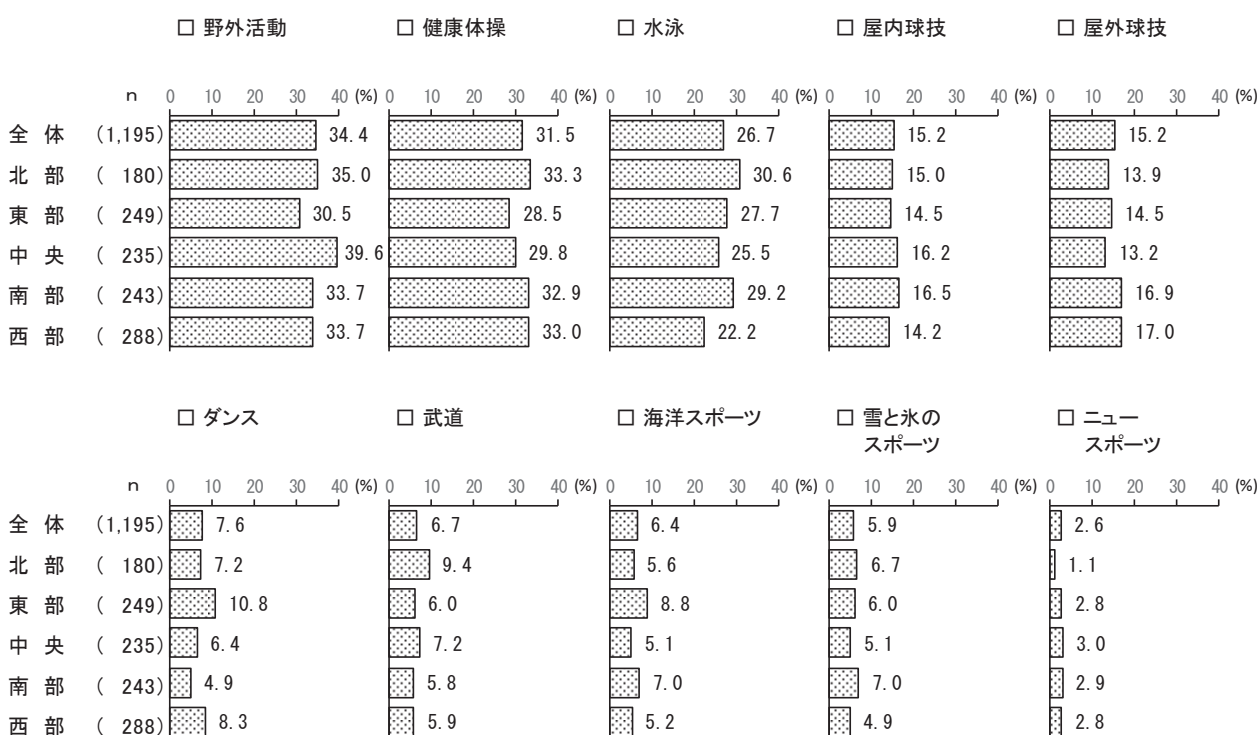
図9-3-2 今後行いたい運動・スポーツの推移（全体）



(2) 地区別

- ・「野外活動」は中央地区（39.6％）で高く、「健康体操」は北部地区（33.3％）で高くなっている。

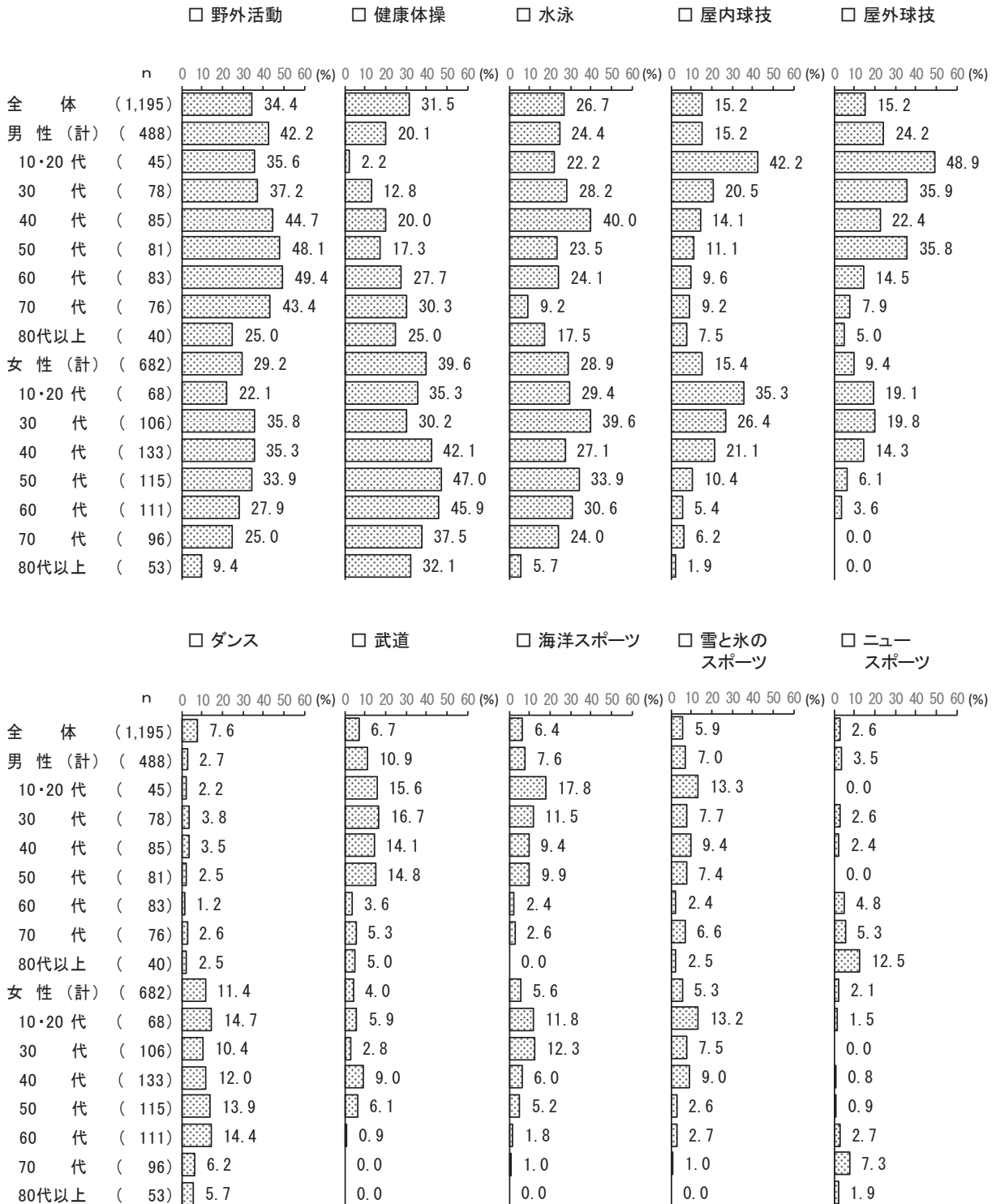
図9-3-3 今後行いたい運動・スポーツ【上位10項目】（地区別）



(3) 性・年代別

- ・「野外活動」は男性(42.2%)が女性(29.2%)を13.0ポイント上回っており、この傾向はすべての年代とも同様である。また、男性の60代(49.4%)で最も高くなっている。
- ・「健康体操」は女性(39.6%)が男性(20.1%)を19.5ポイント上回っており、この傾向はすべての年代とも同様である。10・20代(男性2.2%、女性35.3%)では、その差が33.1ポイントとなっている。

図9-3-4 今後行いたい運動・スポーツ【上位10項目】(性・年代別)



## 9-4 「総合型地域スポーツクラブ スポルテ目黒」の認知度

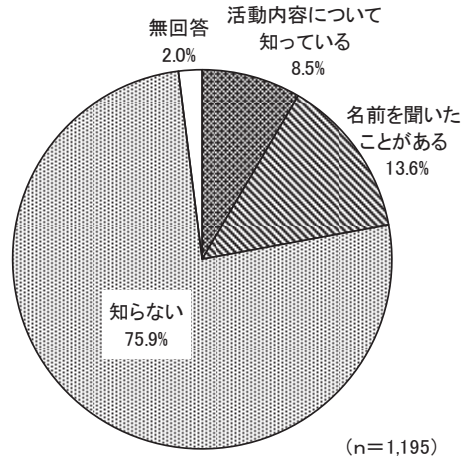
問25 あなたは、目黒区に「総合型地域スポーツクラブ スポルテ目黒」が設立されていることを知っていますか。(〇は1つ)

- ・「活動内容について知っている」と「名前を聞いたことがある」を合わせた『知っている』は2割を超えている。一方、「知らない」は7割半ばとなっている。
- ・『知っている』は女性が男性を上回り、女性の40代と70代で高くなっている。また、中央地区と南部地区で高くなっている。
- ・「知らない」は男性、女性ともに10・20代と30代で高くなっている。また、北部地区と西部地区で高くなっている。

### (1) 全体

- ・「活動内容について知っている」8.5%と「名前を聞いたことがある」13.6%を合わせた『知っている』は22.1%となっている。一方、「知らない」は75.9%となっている。

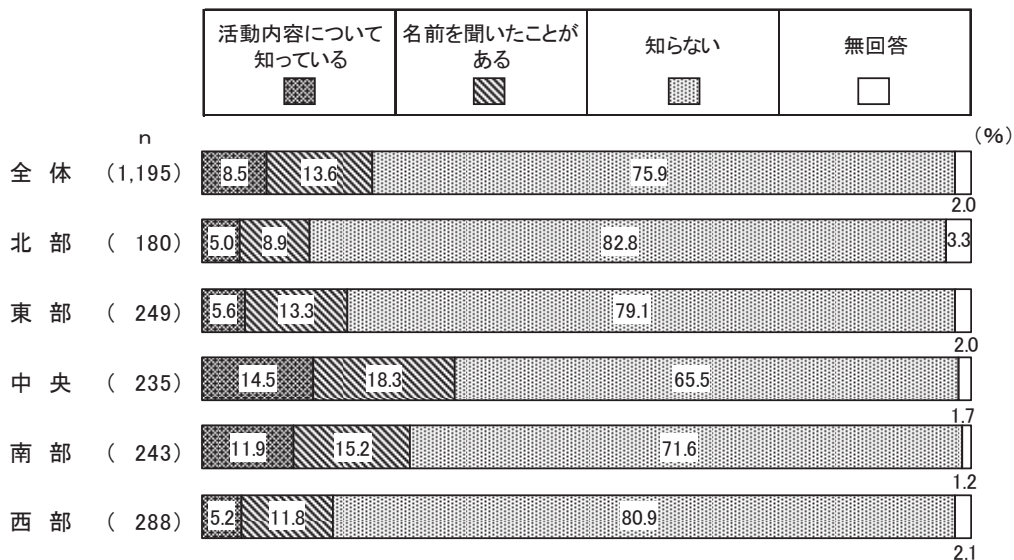
図9-4-1 「総合型地域スポーツクラブ スポルテ目黒」の認知度(全体)



### (2) 地区別

- ・『知っている』は中央地区(32.8%)と南部地区(27.1%)で高くなっている。
- ・「知らない」は北部地区(82.8%)と西部地区(80.9%)で高くなっている。

図9-4-2 「総合型地域スポーツクラブ スポルテ目黒」の認知度(地区別)

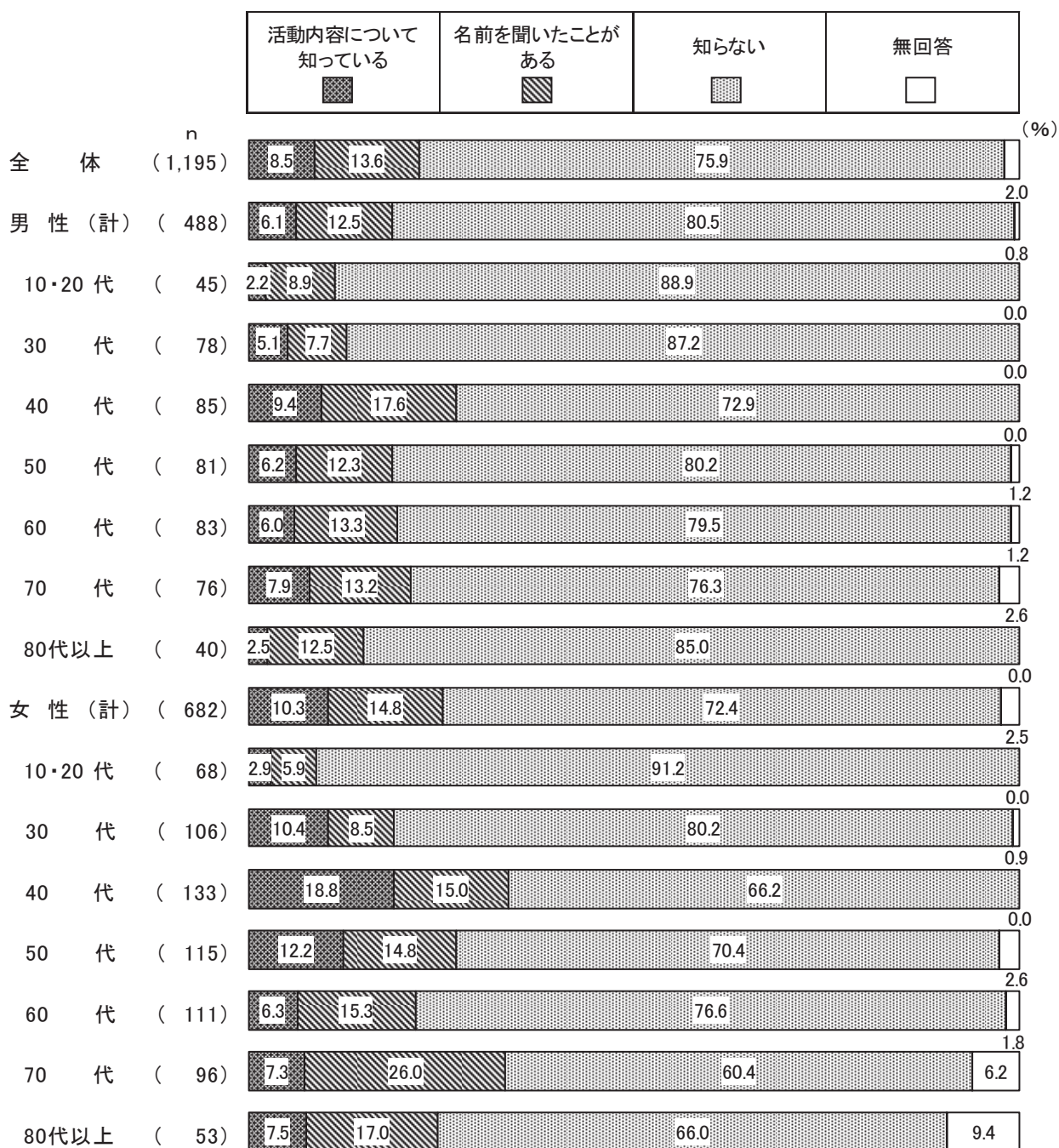




(3) 性・年代別

- ・『知っている』は女性(25.1%)が男性(18.6%)を6.5ポイント上回っており、女性の40代(33.8%)と70代(33.3%)、男性の40代(27.0%)で高くなっている。
- ・「知らない」は男性、女性ともに10・20代(男性88.9%、女性91.2%)と30代(男性87.2%、女性80.2%)、男性の80代以上(85.0%)、50代(80.2%)で高くなっている。

図9-4-3 「総合型地域スポーツクラブ スポルテ目黒」の認知度(性・年代別)



## 9-5 スポーツに関するボランティア活動の参加状況

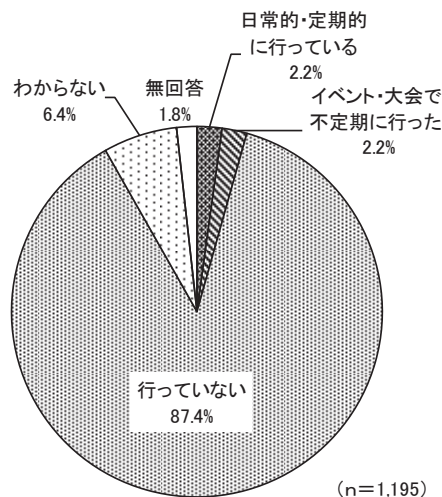
問26 あなたは、この1年間にスポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(○は1つ)

- ・「日常的・定期的に行っている」と「イベント・大会で不定期に行った」を合わせた『行っている』は1割未満となっている。一方、「行っていない」は9割近くとなっている。
- ・『行っている』は男性が女性を上回っており、男性の50代、60代、80代以上で高くなっている。また、西部地区と南部地区、学生、自由業、自営業・事業主で高くなっている。
- ・「行っていない」は男性、女性、すべての年代、地区、職業でおよそ8割～9割を占めている。

### (1) 全体

- ・「日常的・定期的に行っている」2.2%と「イベント・大会で不定期に行った」2.2%を合わせた『行っている』は4.4%となっている。一方、「行っていない」は87.4%となっている。

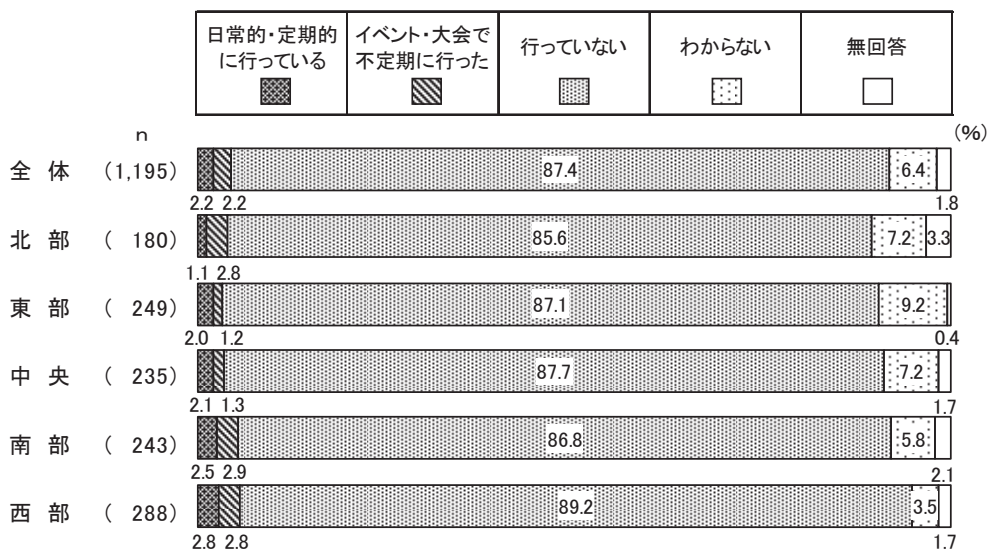
図9-5-1 スポーツに関するボランティア活動の参加状況(全体)



### (2) 地区別

- ・『行っている』は西部地区(5.6%)と南部地区(5.4%)で高くなっている。
- ・「行っていない」は西部地区(89.2%)と中央地区(87.7%)で高くなっている。

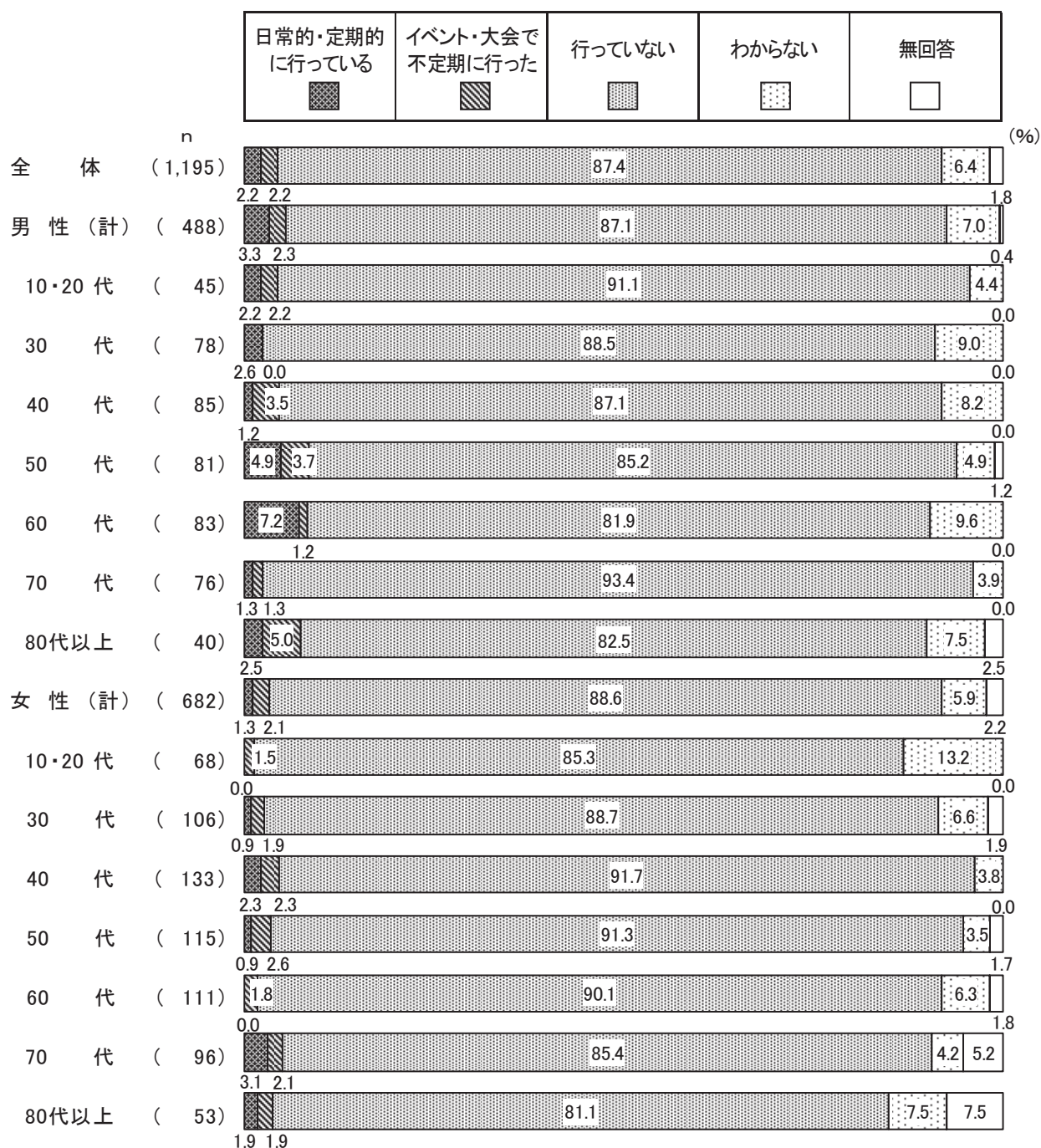
図9-5-2 スポーツに関するボランティア活動の参加状況(地区別)



(3) 性・年代別

・『行っている』は男性(5.6%)が女性(3.4%)を2.2ポイント上回っており、男性の50代(8.6%)、60代(8.4%)、80代以上(7.5%)で高くなっている。

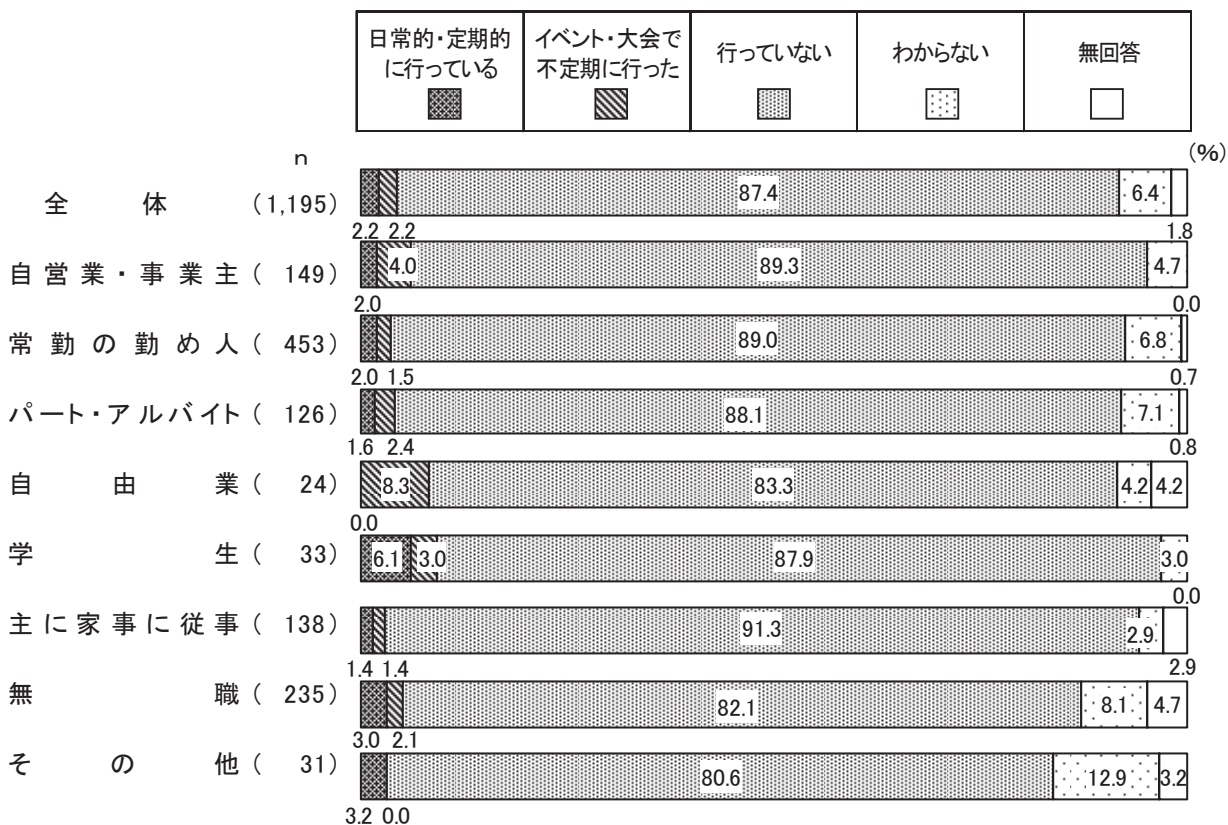
図9-5-3 スポーツに関するボランティア活動の参加状況(性・年代別)



(4) 職業別

- ・『行っている』は学生 (9.1%)、自由業 (8.3%)、自営業・事業主 (6.0%) で高くなっている。
- ・「行っていない」はすべての職業で80%を超えており、主に家事に従事 (91.3%)、自営業・事業主 (89.3%)、常勤の勤め人 (89.0%) で高くなっている。

図9-5-4 スポーツに関するボランティア活動の参加状況 (職業別)



## 9-6 広報紙「めぐろスポーツニュース」の閲覧状況

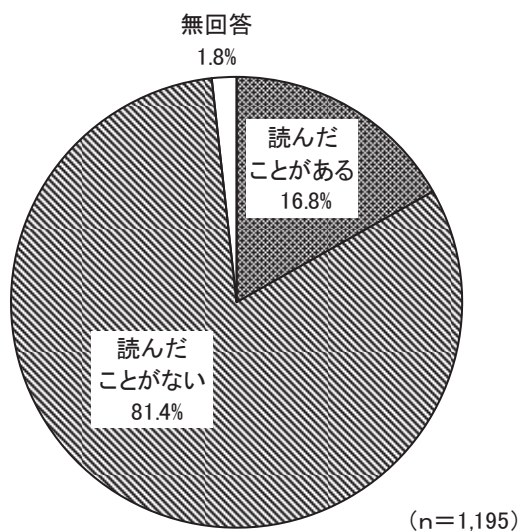
問27 区では、スポーツに関する情報を集約した広報紙「めぐろスポーツニュース」を毎月1回(15日)発行していますが、読んだことがありますか。(○は1つ)

- ・「読んだことがある」は1割半ば、「読んだことがない」は8割を超えている。
- ・「読んだことがある」は、男性では高い年代ほど割合が高くなる傾向があり、80代以上で3割を超えている。女性では60代と70代で高く、2割半ばとなっている。
- ・「読んだことがない」は男性、女性ともに10・20代と30代で高くなっており、女性の10・20代では100%となっている。

### (1) 全体

- ・「読んだことがある」は16.8%、「読んだことがない」は81.4%となっている。

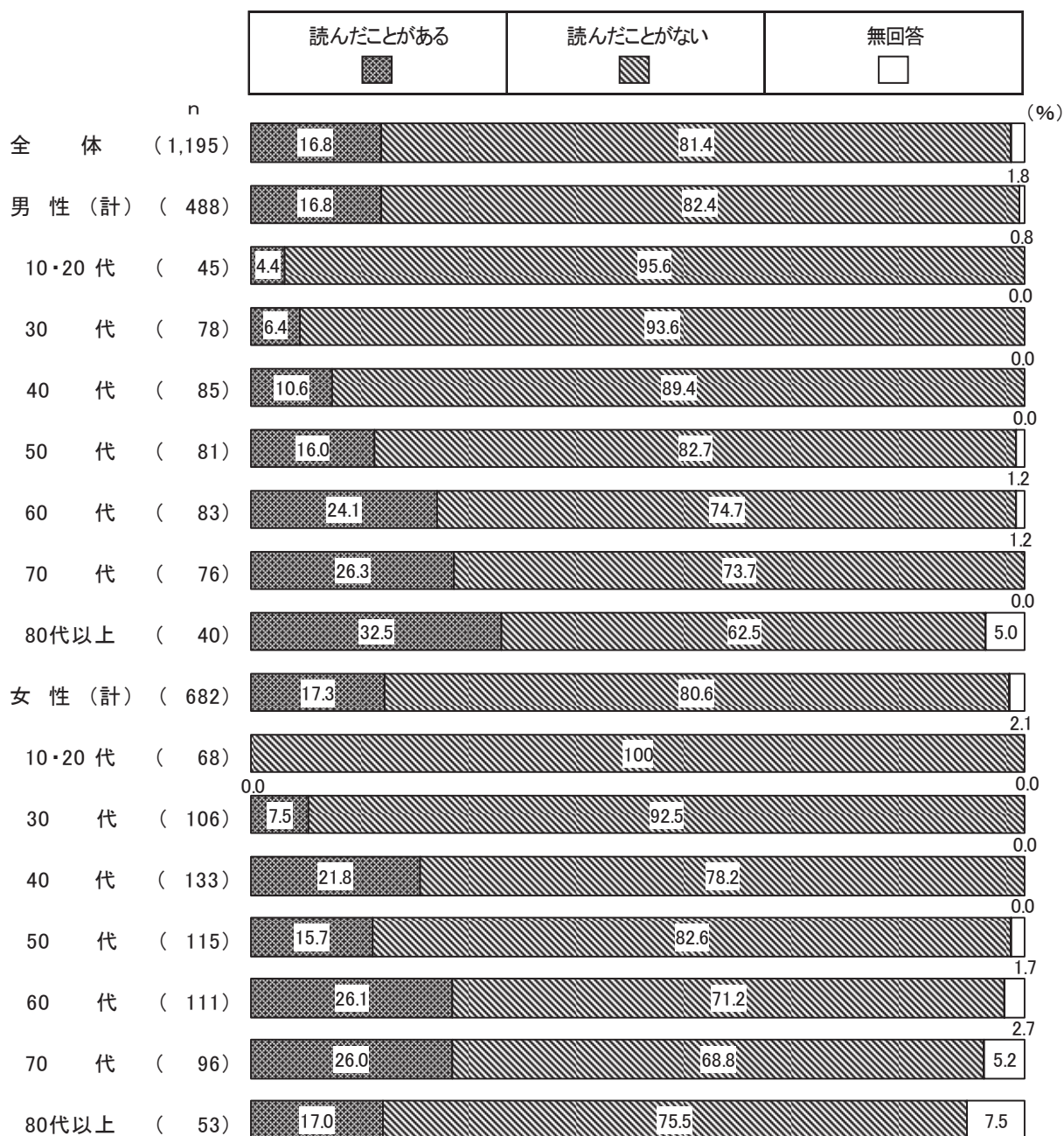
図9-6-1 広報紙「めぐろスポーツニュース」の閲覧状況(全体)



(2) 性・年代別

- ・「読んだことがある」は、男性では高い年代ほど割合が高くなる傾向があり、80代以上（32.5%）で最も高くなっている。女性では60代（26.1%）と70代（26.0%）で高くなっている。
- ・「読んだことがない」は男性、女性ともに10・20代と30代で高くなっており、女性の10・20代では100%となっている。

図9-6-2 広報紙「めぐろスポーツニュース」の閲覧状況（性・年代別）



## 9-7 広報紙「めぐろスポーツニュース」の入手先

(問27で「読んだことがある」と回答した方にお尋ねします。)

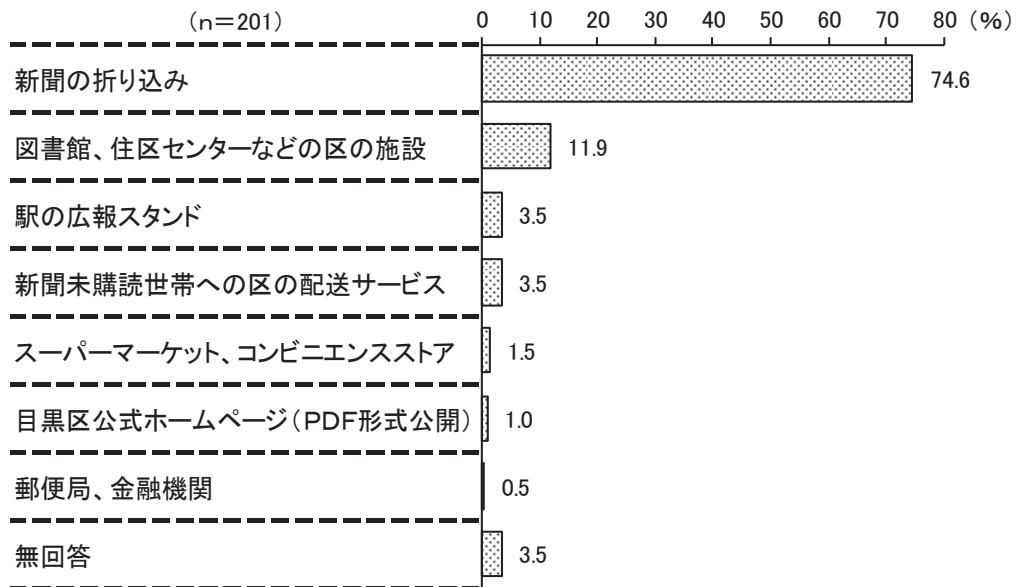
問27-1 「めぐろスポーツニュース」を主にどこで手に入れていますか。(○は1つ)

- ・「新聞の折り込み」が最も高く、7割半ばとなっている。次いで「図書館、住区センターなどの区の施設」が1割を超えている。
- ・「新聞の折り込み」は男性、女性、各年代ともに割合が高くなっている。

### (1) 全体

- ・「新聞の折り込み」が74.6%で最も高く、次いで「図書館、住区センターなどの区の施設」が11.9%となっている。

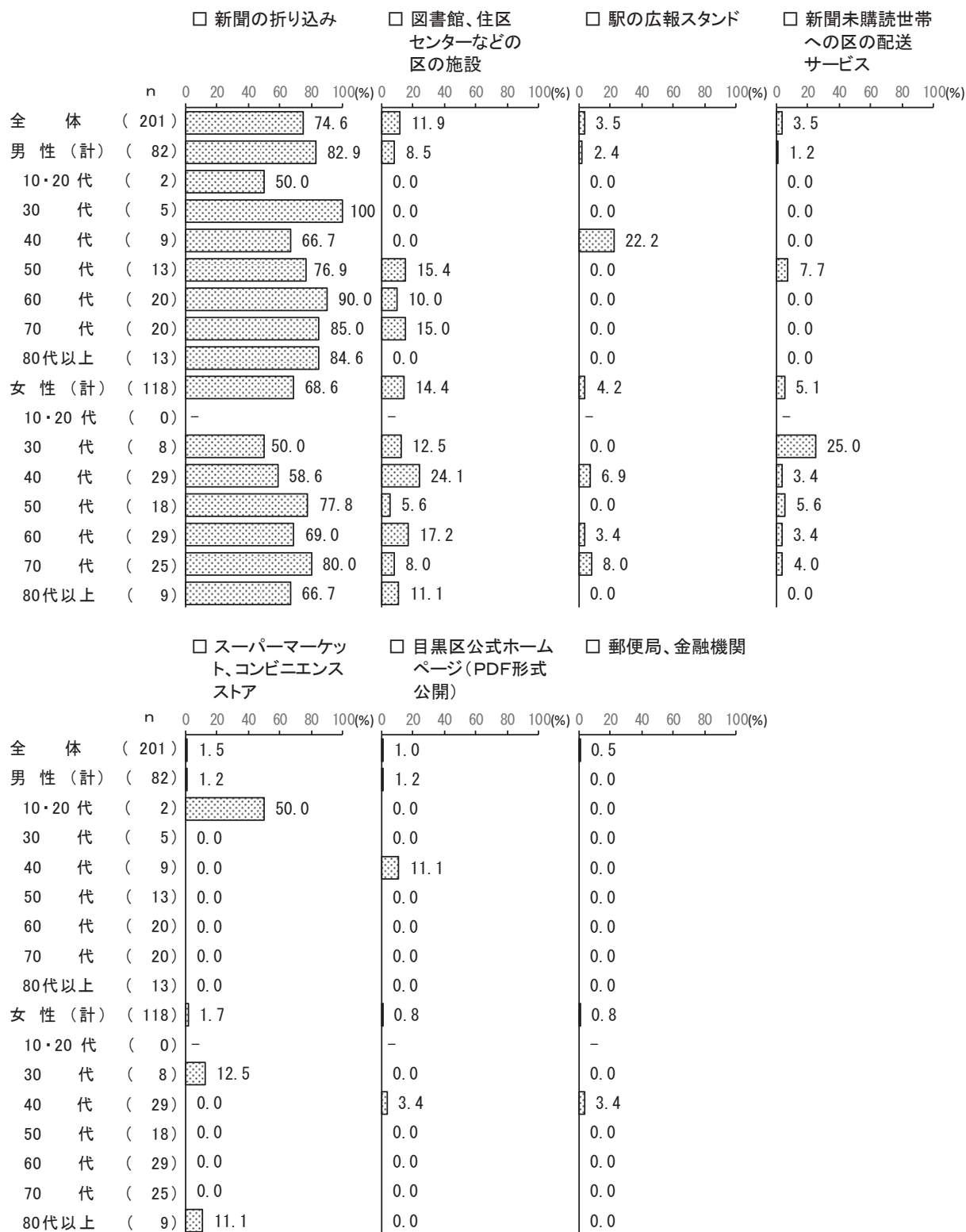
図9-7-1 広報紙「めぐろスポーツニュース」の入手先(全体)



(2) 性・年代別

- ・「新聞の折り込み」は男性、女性、各年代ともに割合が高くなっている。

図9-7-2 広報紙「めぐろスポーツニュース」の入手先（性・年代別）





## 9-8 広報紙「めぐろスポーツニュース」の未読理由

(問27で「読んだことがない」と回答した方にお尋ねします。)

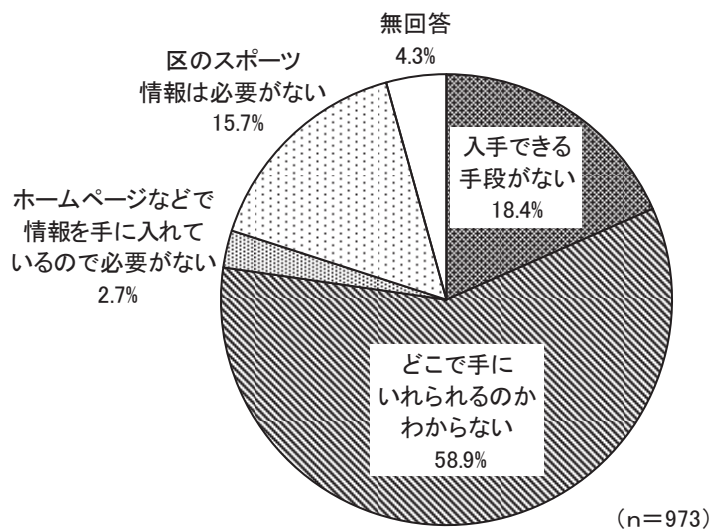
問27-2 「めぐろスポーツニュース」を読んだことがない理由は何ですか。(○は1つ)

- ・「どこで手にいれられるのかわからない」が6割近くで最も高く、次いで「入手できる手段がない」が2割近く、「区のスポーツ情報は必要がない」が1割半ばとなっている。
- ・「どこで手にいれられるのかわからない」は30代～60代で高く、それぞれ6割近くから6割半ばとなっている。
- ・「入手できる手段がない」は10・20代～60代でほぼ2割前後、70代と80代以上で1割を超える程度となっている。
- ・「区のスポーツ情報は必要がない」は10・20代、70代、80代以上で高くなっている。

### (1) 全体

- ・「どこで手にいれられるのかわからない」が58.9%で最も高く、次いで「入手できる手段がない」18.4%、「区のスポーツ情報は必要がない」15.7%の順となっている。

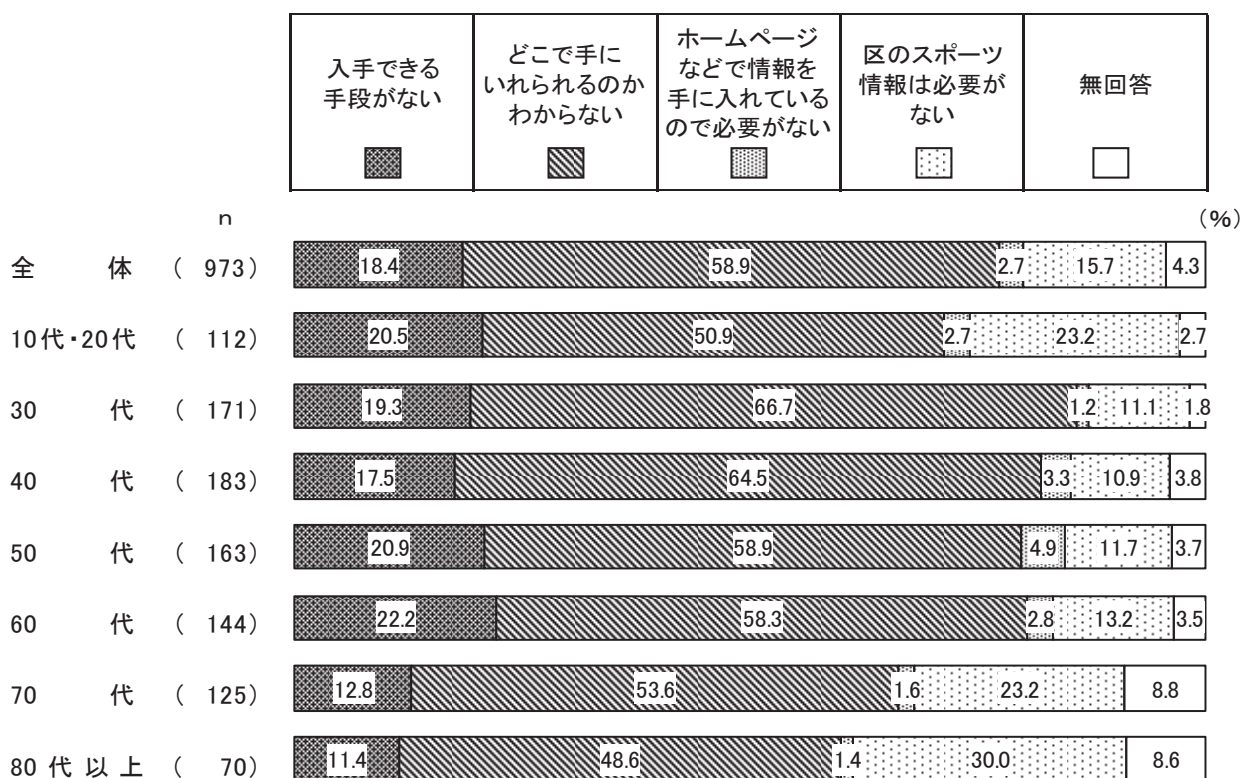
図9-8-1 広報紙「めぐろスポーツニュース」の未読理由(全体)



(2) 年代別

- ・「どこで手にいれられるのかわからない」は30代～60代で高く、それぞれ6割近くから6割半ばとなっている。
- ・「入手できる手段がない」は70代(12.8%)、80代以上(11.4%)以外の年代では、ほぼ2割前後となっている。
- ・「区のスポーツ情報は必要がない」は80代以上(30.0%)、10・20代と70代(ともに23.2%)で高くなっている。

図9-8-2 広報紙「めぐろスポーツニュース」の未読理由(年代別)



## 10. 介護等の状況

介護を必要とする高齢者等が増加する中、介護と育児に同時に直面する世帯（いわゆる「ダブルケア」）や障害のある子と要介護の親の世帯など、様々な課題を抱え、複合的な支援が必要な方が多くみられ、福祉の各分野を超えた包括的な支援が求められています。

### 10-1 65歳以上の高齢者の介護状況

問28 あなたは、65歳以上の高齢者（障害のある65歳以上の方を含む）の介護をしていますか。

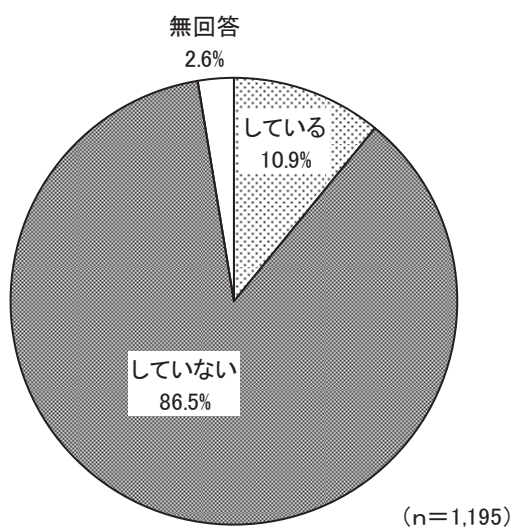
※ここでの「介護」は同じ世帯ではない方の介護を含みます。（〇は1つ）

- ・「している」がほぼ1割、「していない」が8割半ばとなっている。

#### (1) 全体

- ・「している」が10.9%、「していない」が86.5%となっている。

図10-1-1 65歳以上の高齢者の介護状況（全体）



## 10-2 65歳以上の高齢者の介護状況（対象者）

（問28で「介護している」と回答した方にお尋ねします。）

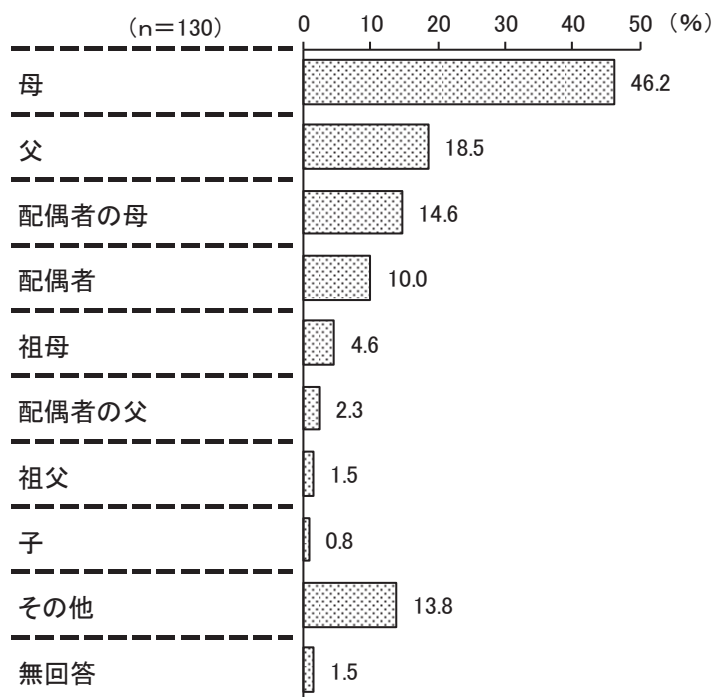
問28-1 あなたから見て、どなたの介護をしていますか。（〇はいくつでも）

- ・「母」が4割半ば、「父」が2割近く、「配偶者の母」が1割半ばとなっている。

### （1）全体

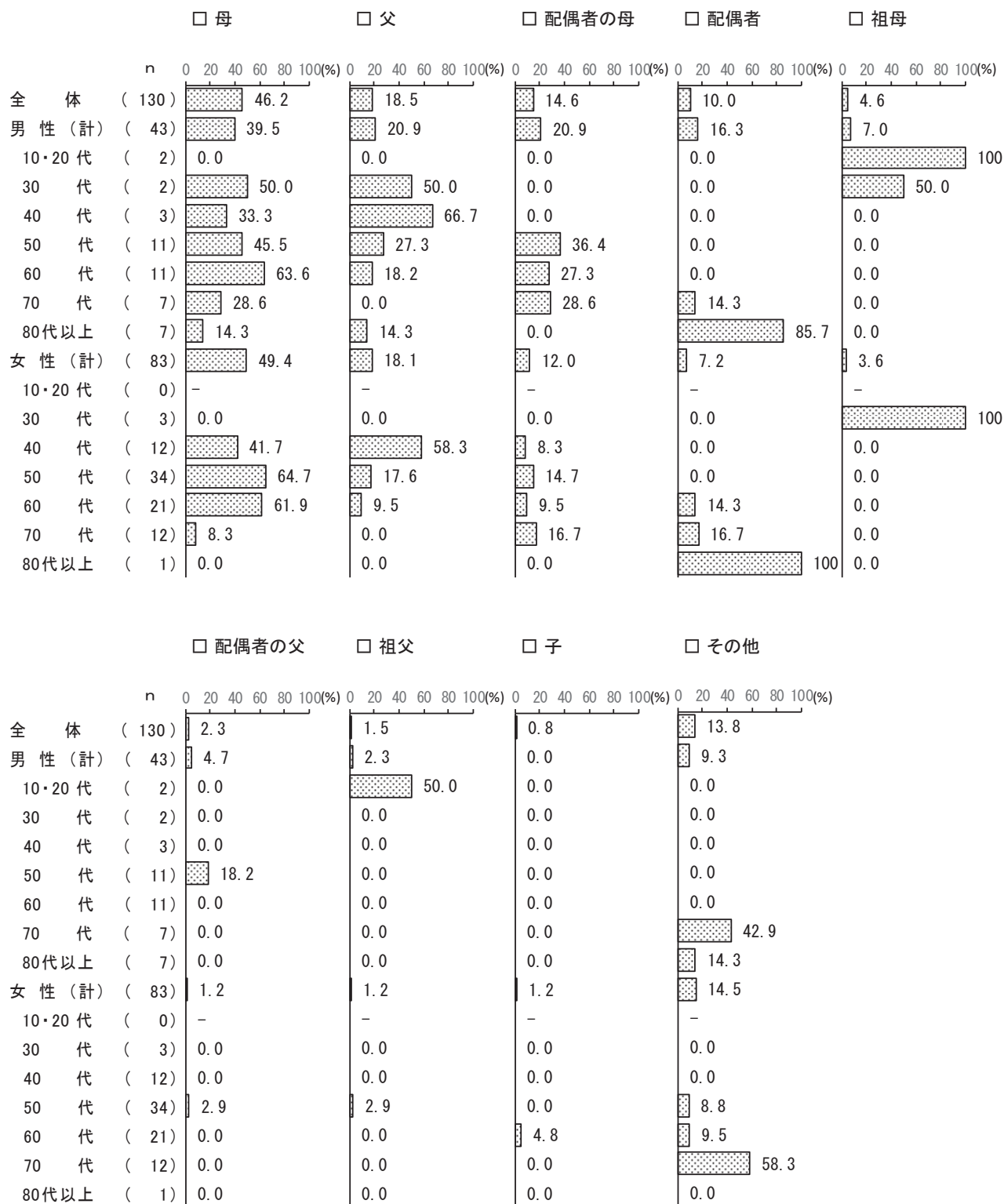
- ・「母」が46.2%、「父」が18.5%、「配偶者の母」が14.6%、「配偶者」が10.0%となっている。

図 10-2-1 65歳以上の高齢者の介護状況（対象者）（全体）



(2) 性・年代別

図 10-2-2 65 歳以上の高齢者の介護状況（対象者）（性・年代別）

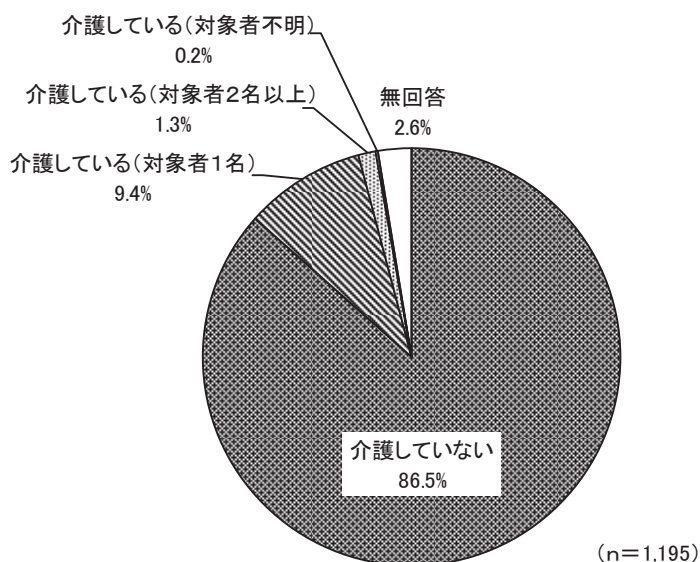


(3) 対象者人数

※「介護している」と回答した方について、対象者選択の件数により「対象者1名」、「対象者2名以上」、「対象者不明」に分類した。

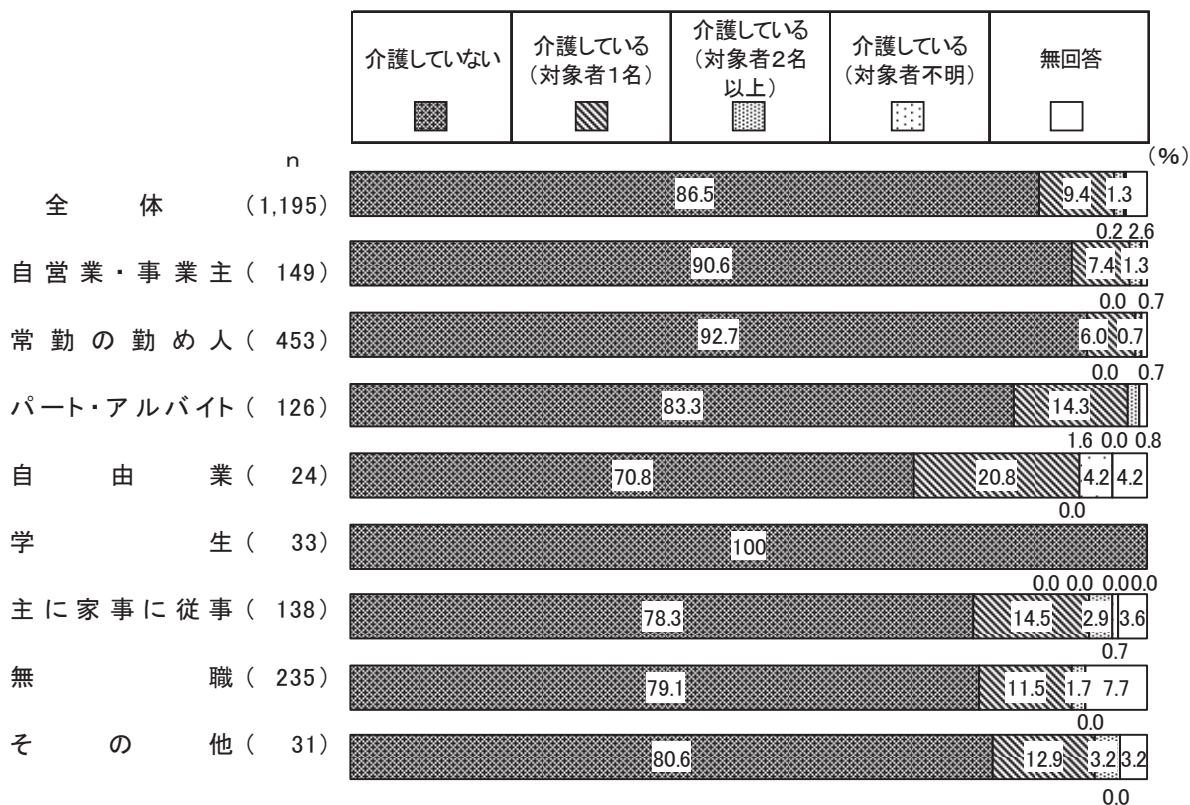
- ・「対象者1名」が9.4%、「対象者2名以上」が1.3%となっている。

図 10-2-3 65 歳以上の高齢者の介護状況（対象者人数）



(4) 対象者人数（職業別）

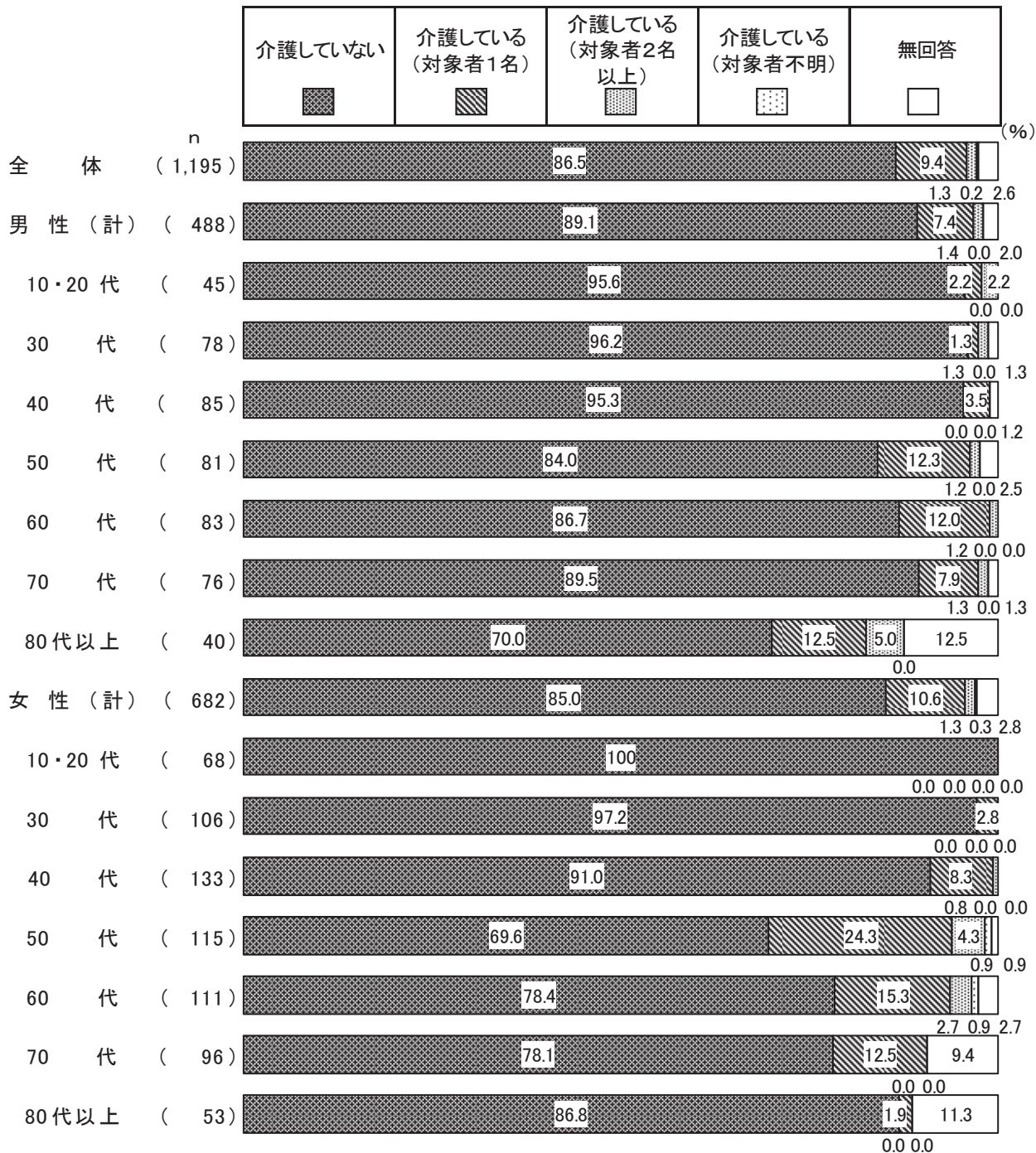
図 10-2-4 65 歳以上の高齢者の介護状況（対象者人数）（職業別）



(5) 対象者人数 (性・年代別)

- ・「対象者1名」、「対象者2名以上」、「対象者不明」をあわせた『介護している』は男性が8.8%、女性が12.2%となっている。
- ・男性、女性ともに50代以上の年代で『介護している』の割合が高い傾向にある。

図 10-2-5 65 歳以上の高齢者の介護状況 (対象者人数) (性・年代別)



### 10-3 障害のある方の介護状況

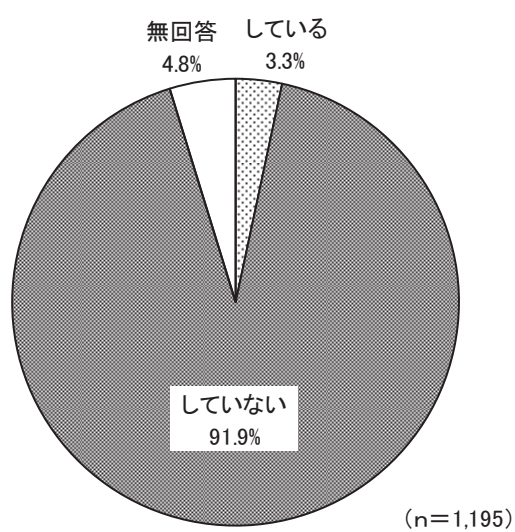
問29 あなたは、障害のある方（65歳以上の方及び小学生以下のお子さんを除く）の介護をしていますか。※ここでの「介護」は同じ世帯ではない方の介護を含みます。（○は1つ）

- ・「している」が1割未満、「していない」が9割を超えている。

#### (1) 全体

- ・「している」が3.3%、「していない」が91.9%となっている。

図 10-3-1 障害のある方の介護状況（全体）





#### 10-4 障害のある方の介護状況（対象者）

（問29で「介護している」と回答した方にお尋ねします。）

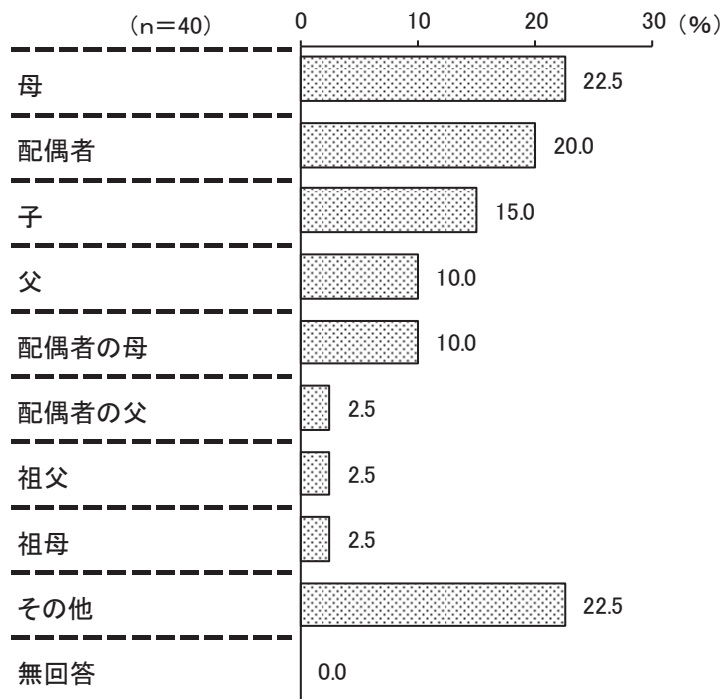
問29-1 あなたから見て、どなたの介護をしていますか。（〇はいくつでも）

- ・「母」が2割を超えており、「配偶者」が2割、「子」が1割半ば、「父」と「配偶者の母」が1割となっている。

##### （1）全体

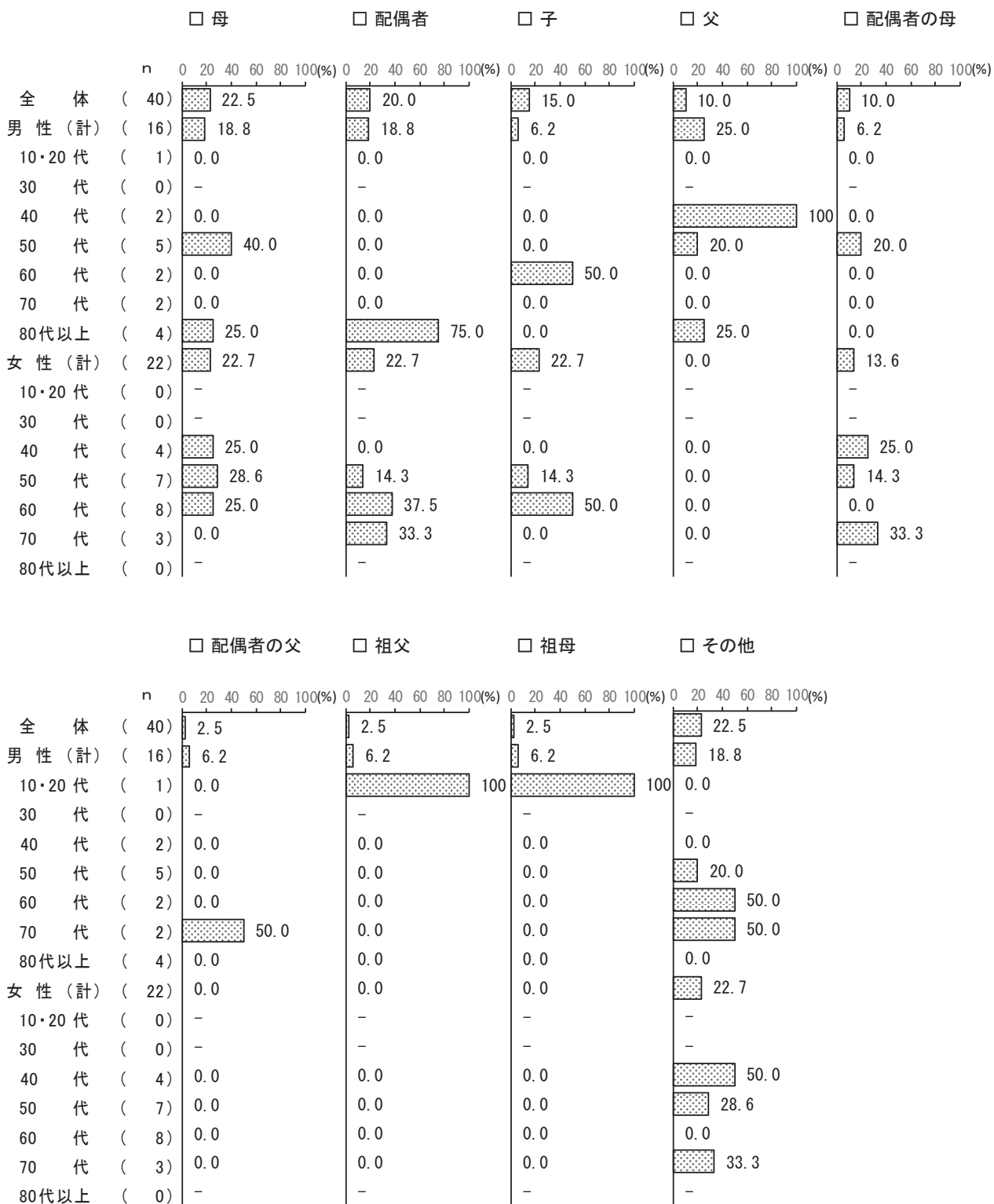
- ・「母」が22.5%、「配偶者」が20.0%、「子」が15.0%、「父」と「配偶者の母」がともに10.0%となっている。

図 10-4-1 障害のある方の介護状況（対象者）（全体）



(2) 性・年代別

図 10-4-2 障害のある方の介護状況（対象者）（性・年代別）

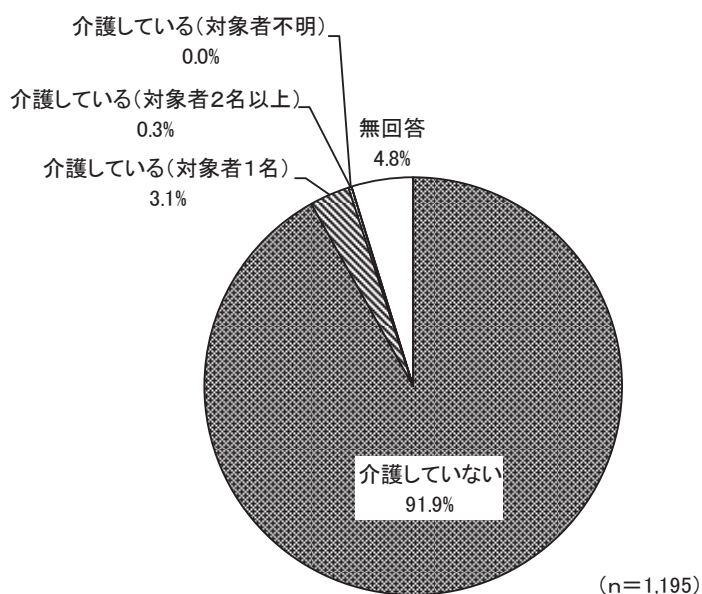


(3) 対象者人数

※「介護している」と回答した方について、対象者選択の件数により「対象者1名」、「対象者2名以上」、「対象者不明」に分類した。

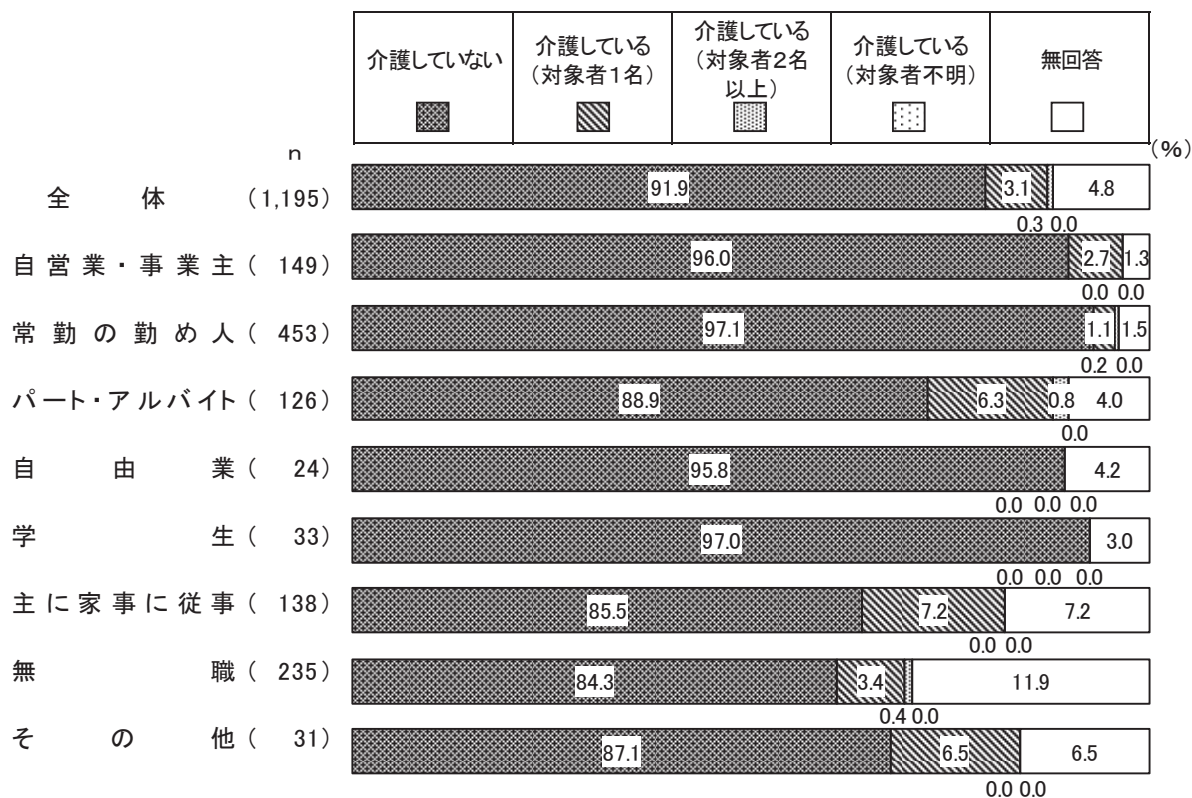
- ・「対象者1名」が3.1%、「対象者2名以上」が0.3%となっている。

図 10-4-3 障害のある方の介護状況（対象者人数）



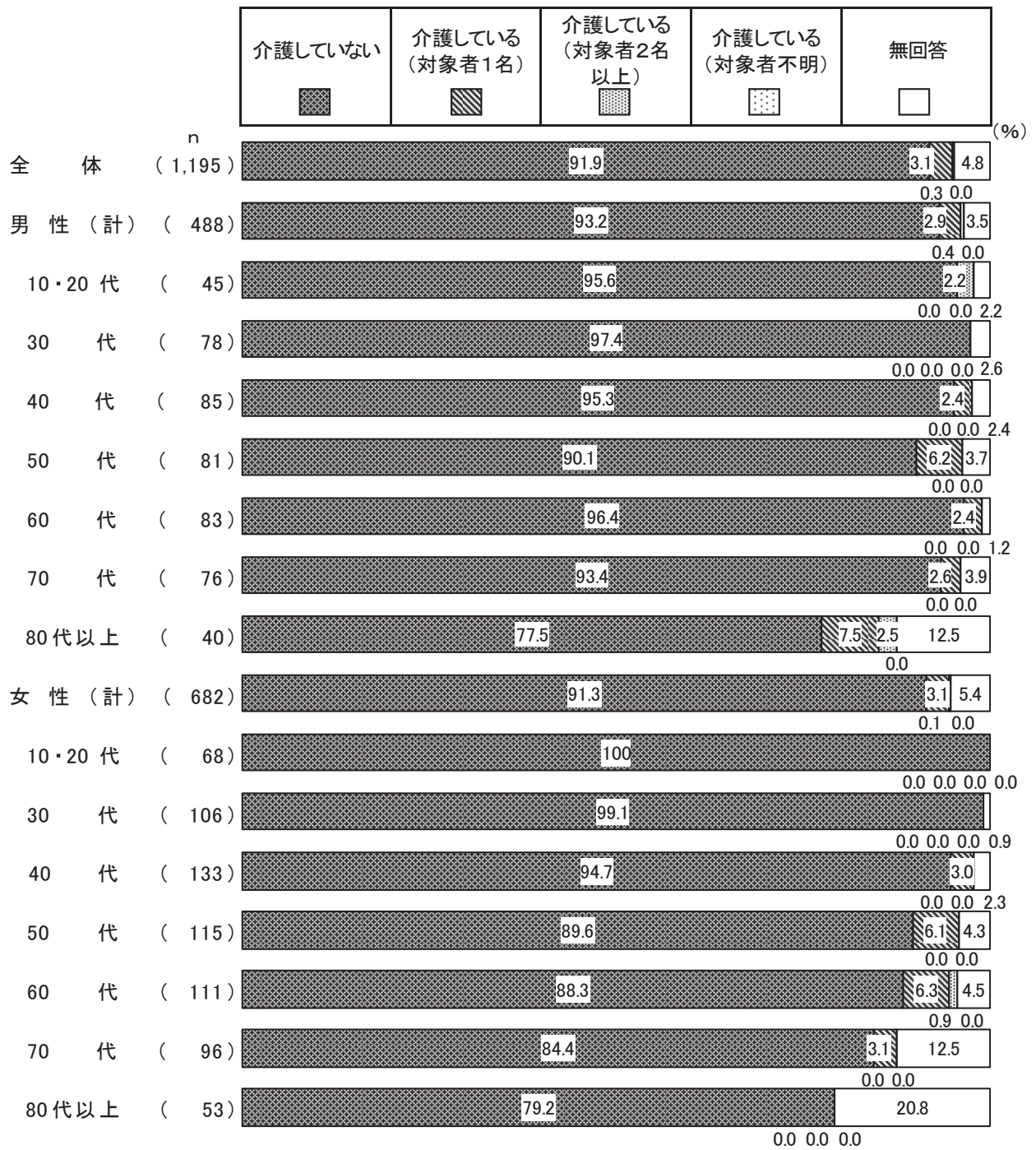
(4) 対象者人数（職業別）

図 10-4-4 障害のある方の介護状況（対象者人数）（職業別）



(5) 対象者人数 (性・年代別)

図 10-4-5 障害のある方の介護状況 (対象者人数) (性・年代別)



## 10-5 小学生以下のお子さんの育児状況

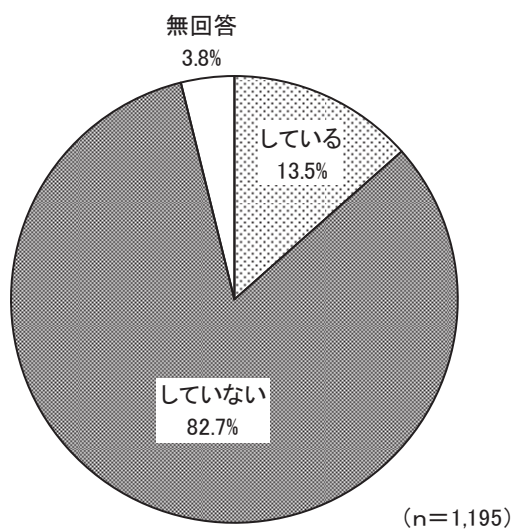
問30 あなたは、小学生以下のお子さんの育児をしていますか。(○は1つ)

- ・「している」が1割半ば、「していない」が8割を超えている。

### (1) 全体

- ・「している」が13.5%、「していない」が82.7%となっている。

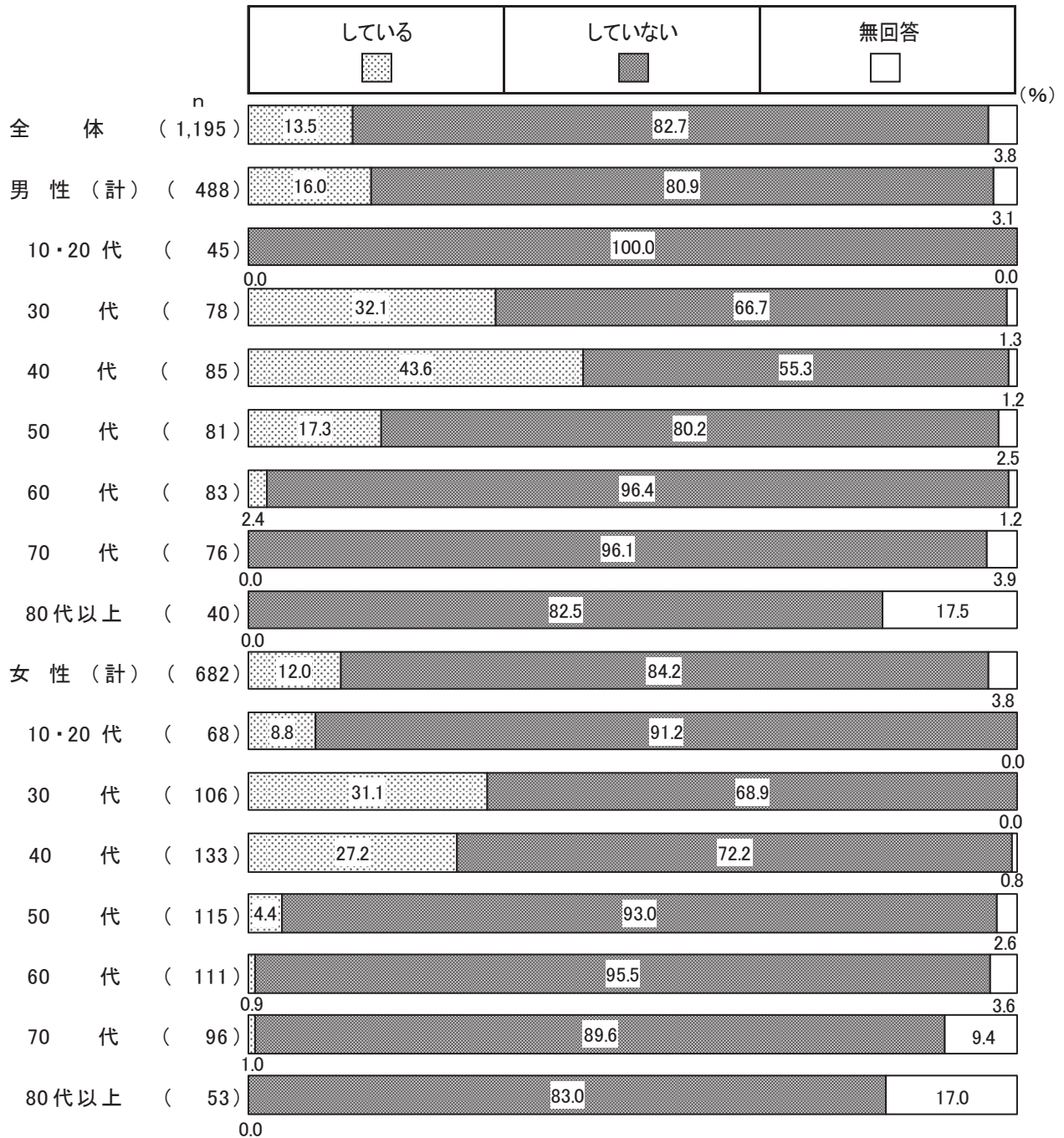
図10-5-1 小学生以下のお子さんの育児状況(全体)



(2) 性・年代別

- ・「している」は男性の40代(43.6%)、女性の30代(31.1%)で最も高くなっている。

図10-5-2 小学生以下のお子さんの育児状況(性・年代別)



## 10-6 小学生以下のお子さんの育児状況（対象者）

（問30で「育児している」と回答した方にお尋ねします。）

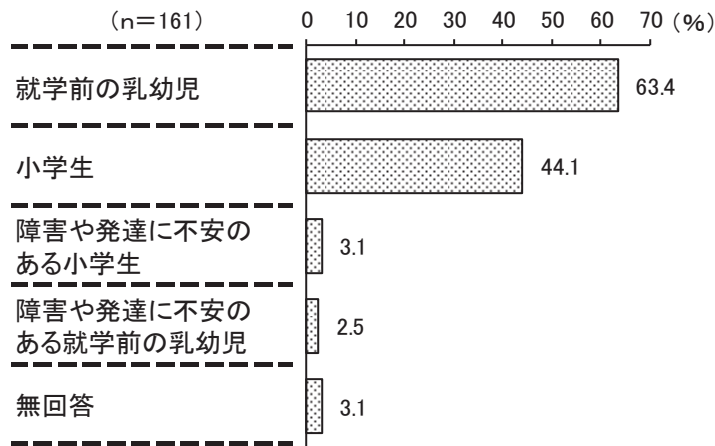
問30-1 あなたは、どなたの育児をしていますか。（〇はいくつでも）

- ・「就学前の乳幼児」が6割半ば、「小学生」が4割半ば、「障害や発達に不安のある小学生」、「障害や発達に不安のある就学前の乳幼児」がともに1割未満となっている。

### （1）全体

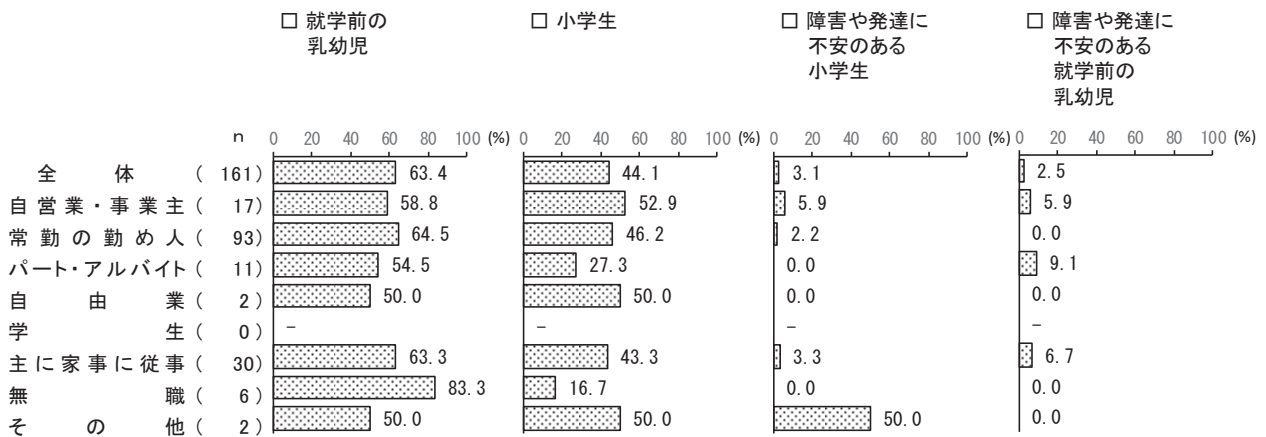
- ・「就学前の乳幼児」が63.4%、「小学生」が44.1%、「障害や発達に不安のある小学生」が3.1%、「障害や発達に不安のある就学前の乳幼児」が2.5%となっている。

図 10-6-1 小学生以下のお子さんの育児状況（対象者）（全体）



### （2）職業別

図 10-6-2 小学生以下のお子さんの育児状況（対象者）（職業別）



## 10-7 複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況

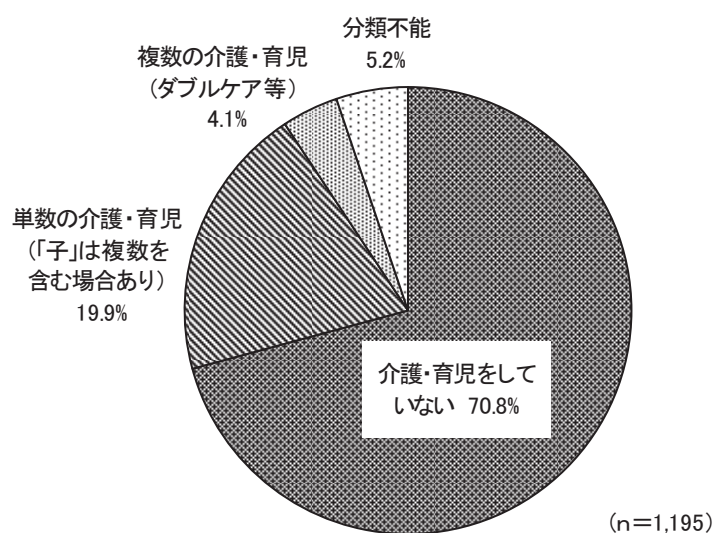
※ 問28と問28-1、問29と問29-1、問30と問30-1の対象者選択すべてにおいて、対象者選択を集約化して「介護・育児をしていない」、「単数の介護・育児（「子」は複数を含む場合あり）」、「複数の介護・育児（ダブルケア等）」、「分類不能」の4パターンに分類した。

- ・「単数の介護・育児（「子」は複数を含む場合あり）」が2割、「複数の介護・育児（ダブルケア等）」が1割未満となっている。一方、「介護・育児をしていない」はほぼ7割となっている。
- ・「単数の介護・育児（「子」は複数を含む場合あり）」は男性の40代、女性の30代で最も高くなっている。

### (1) 全体

- ・「介護・育児をしていない」が70.8%、「単数の介護・育児（「子」は複数を含む場合あり）」が19.9%、「複数の介護・育児（ダブルケア等）」が4.1%となっている。

図10-7-1 複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況（全体）

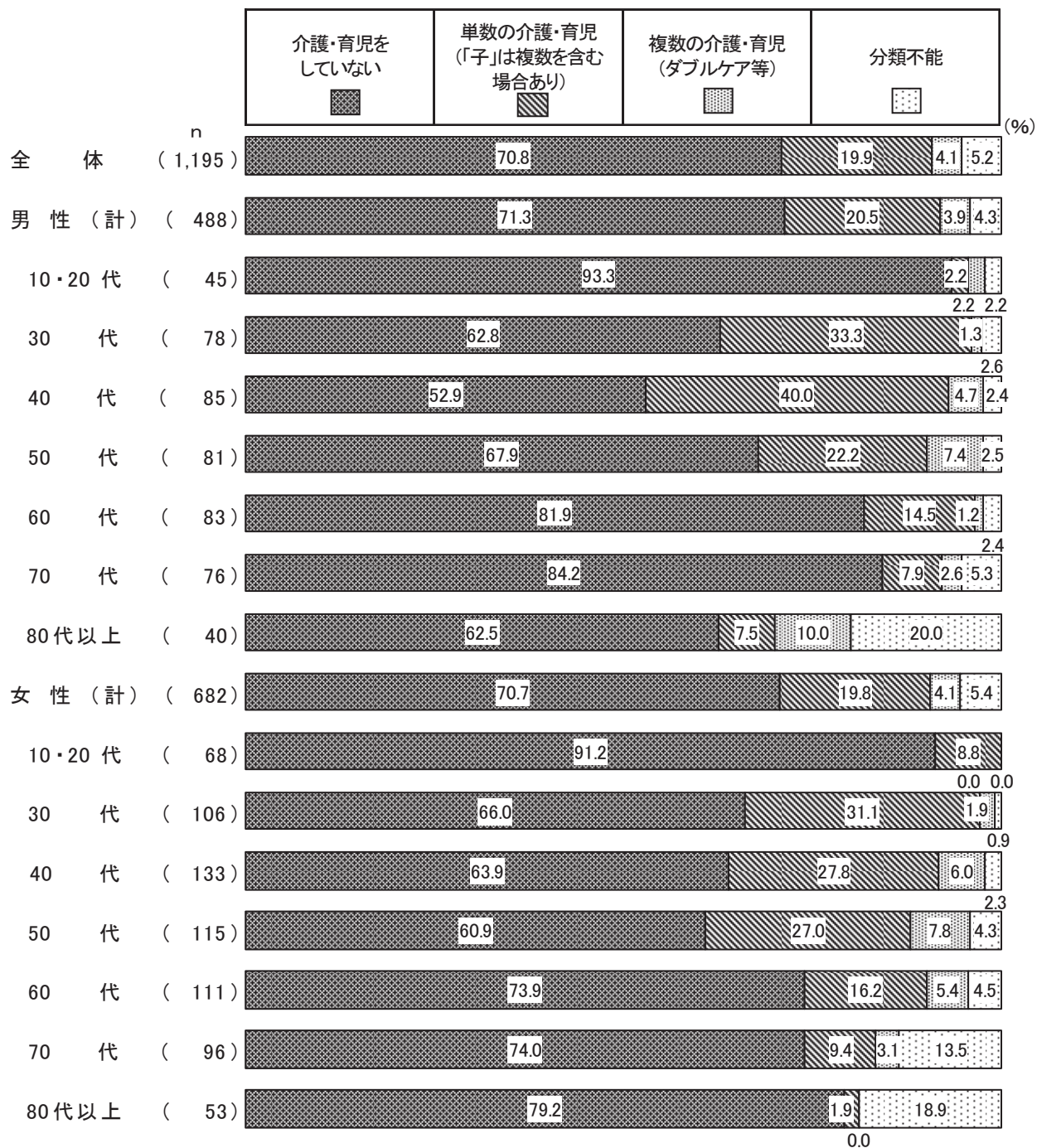




(2) 性・年代別

- ・「単数の介護・育児（「子」は複数を含む場合あり）」は男性の40代（40.0%）、女性の30代（31.1%）で最も高くなっている。
- ・「複数の介護・育児（ダブルケア等）」は男性の80代以上（10.0%）と50代（7.4%）、女性の50代（7.8%）と40代（6.0%）で高くなっている。

図10-7-2 複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況（性・年代別）



## 10-8 介護や育児をする上で、不安なこと、困っていること

問 31 あなたが、介護や育児をする上で、不安なこと、困っていることは何ですか。または、あなたが今後、介護や育児をすることになった場合、どのようなことが心配ですか。

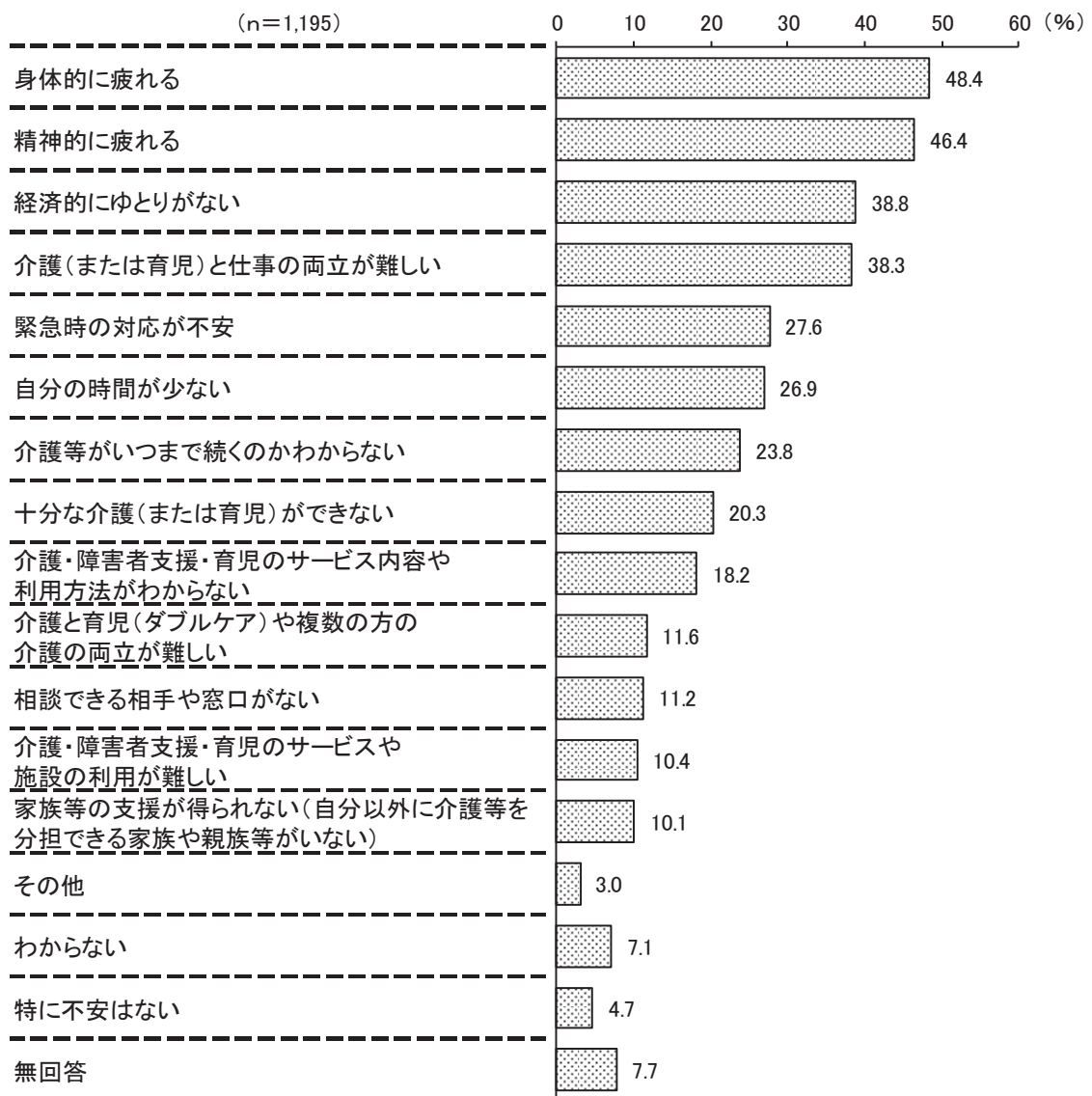
(〇はいくつでも)

- ・「身体的に疲れる」が5割近く、「精神的に疲れる」が4割半ば、「経済的にゆとりがない」と「介護（または育児）と仕事の両立が難しい」がともに4割近く、「緊急時の対応が不安」が3割近くとなっている。

### (1) 全体

- ・「身体的に疲れる」が48.4%、「精神的に疲れる」が46.4%、「経済的にゆとりがない」が38.8%、「介護（または育児）と仕事の両立が難しい」が38.3%、「緊急時の対応が不安」が27.6%となっている。

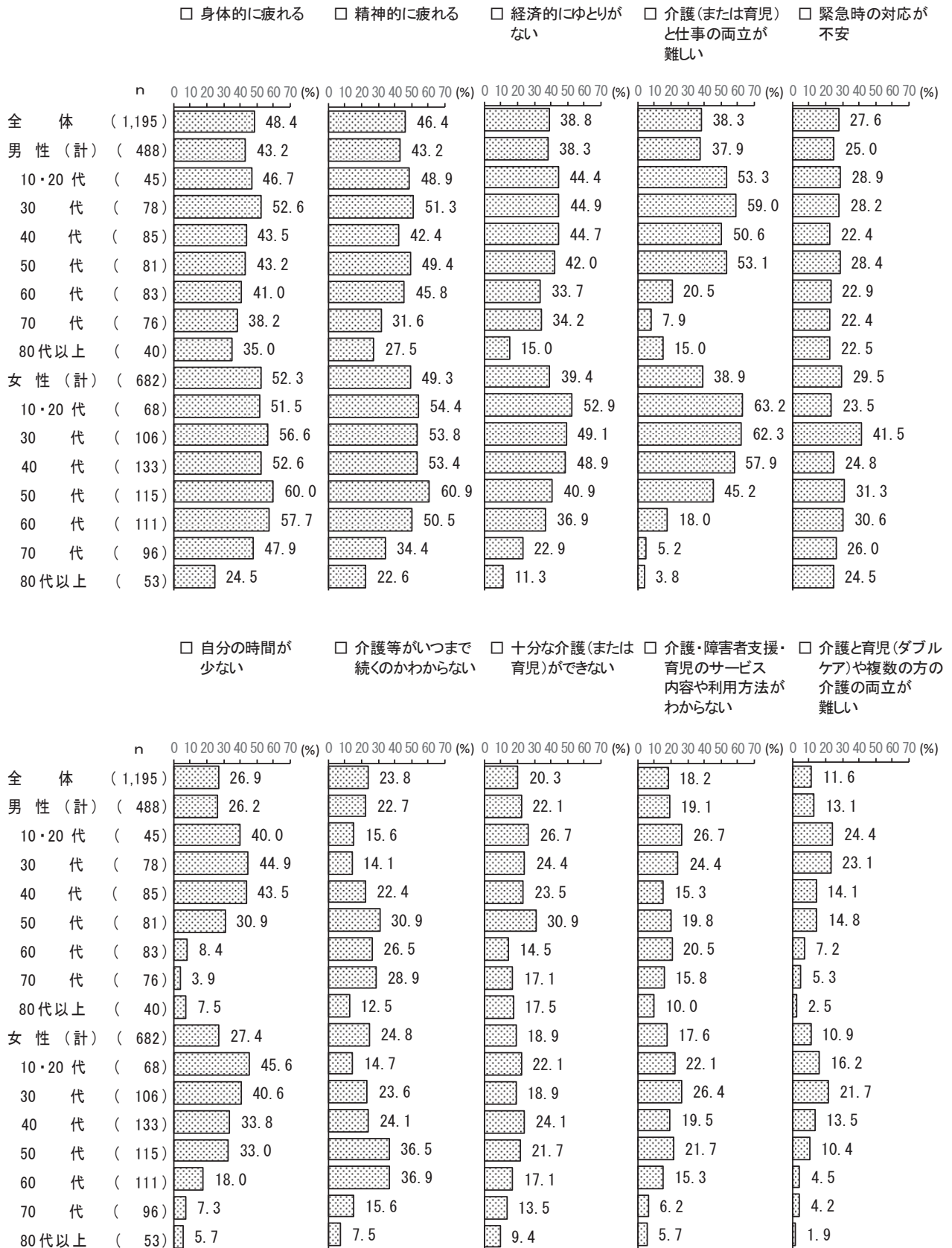
図 10-8-1 介護や育児をする上で、不安なこと、困っていること（全体）



(2) 性・年代別

・「身体的に疲れる」、「精神的に疲れる」は、いずれも女性の50代で最も高くなっている。

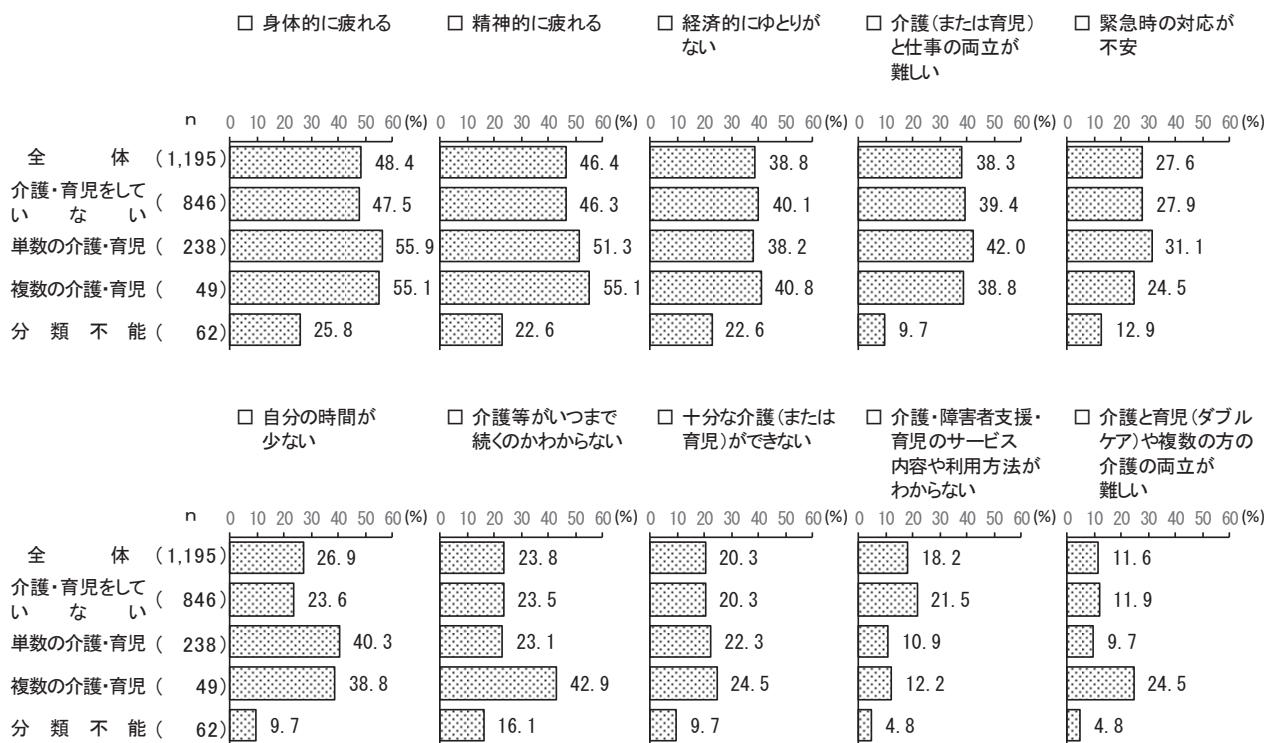
図 10-8-2 介護や育児をする上で、不安なこと、困っていること【上位 10 項目】（性・年代別）



(3) 複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況別

- ・「介護等がいつまで続くのかわからない」は複数の介護・育児をしている人（42.9%）で高くなっている。
- ・「介護と育児（ダブルケア）や複数の介護の両立が難しい」は複数の介護・育児をしている人（24.5%）で高くなっている。

図 10-8-3 介護や育児をする上で、不安なこと、困っていること【上位 10 項目】  
（複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況別）



## 10-9 安心して介護や育児をするために必要な支援

問 32 あなたは、安心して介護や育児をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。

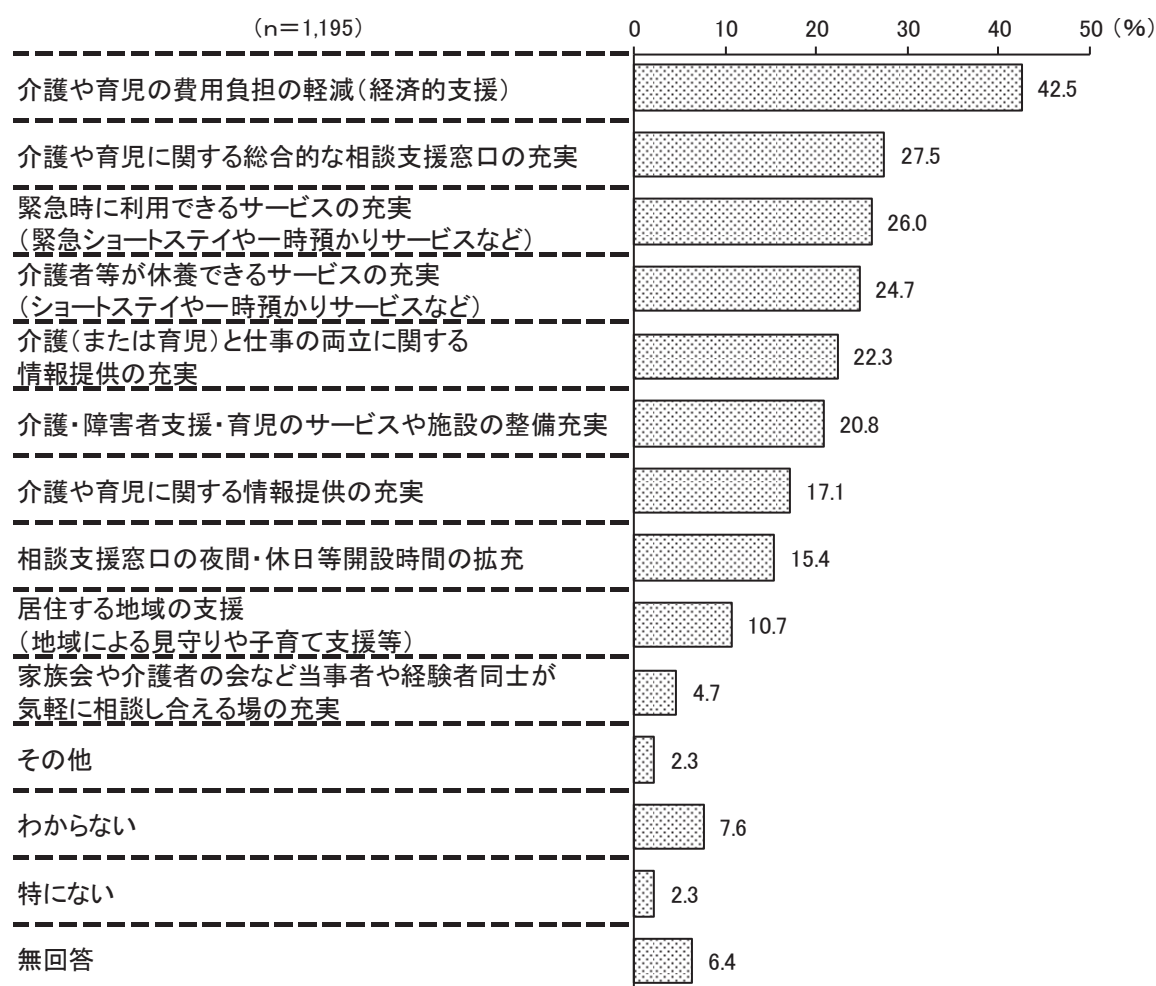
(○は3つまで)

- ・「介護や育児の費用負担の軽減（経済的支援）」が4割を超えており、「介護や育児に関する総合的な相談支援窓口の充実」が3割近く、「緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）」が2割半ばとなっている。

### (1) 全体

- ・「介護や育児の費用負担の軽減（経済的支援）」が42.5%、「介護や育児に関する総合的な相談支援窓口の充実」が27.5%、「緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）」が26.0%となっている。

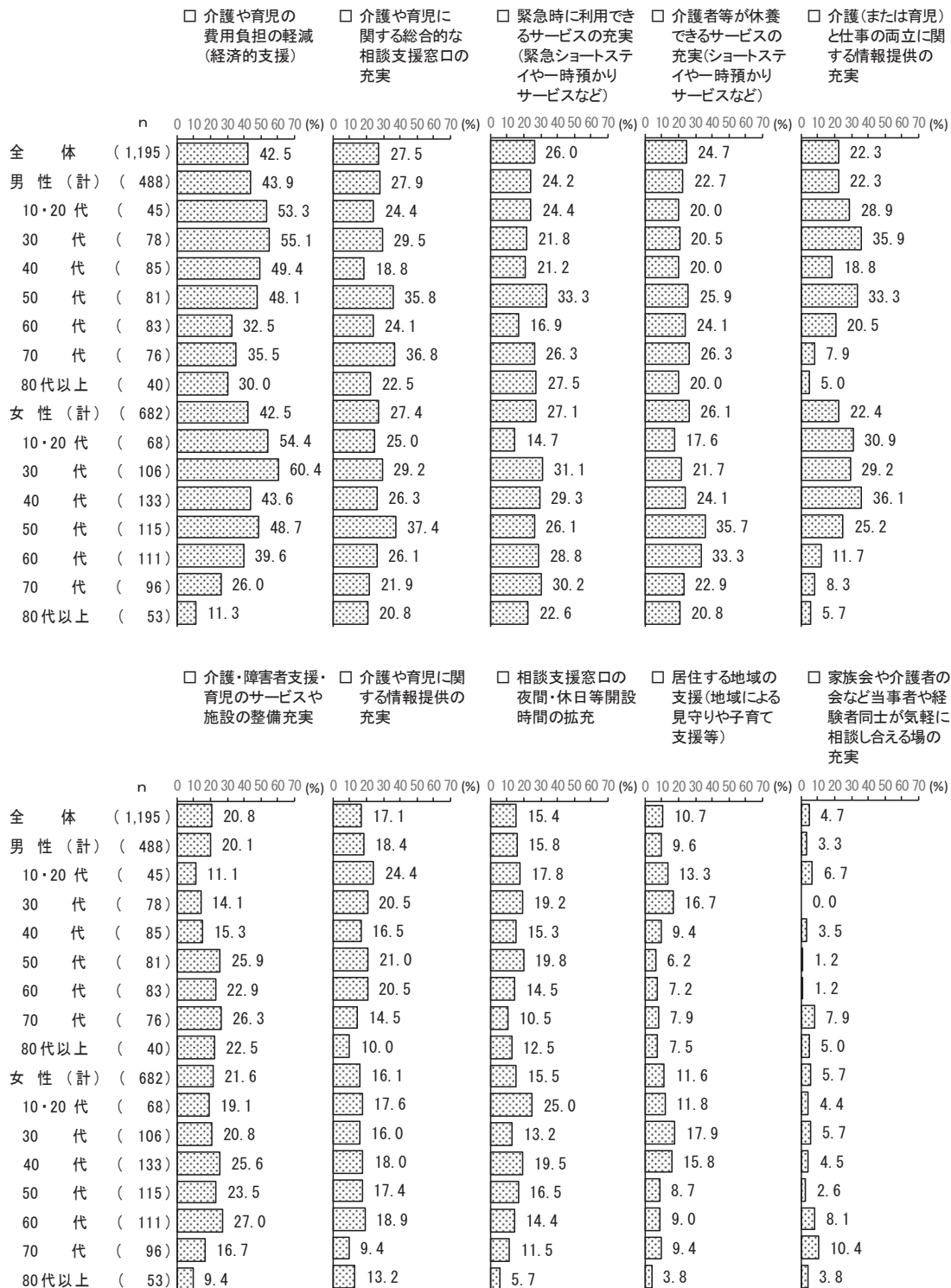
図 10-9-1 安心して介護や育児をするために必要な支援（全体）



(2) 性・年代別

- ・「介護や育児の費用負担の軽減（経済的支援）」は女性の 30 代（60.4%）で高く、「介護や育児に関する総合的な相談支援窓口の充実」は男性の 70 代（36.8%）と 50 代（35.8%）、女性の 50 代（37.4%）で高くなっている。
- ・「緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）」は男性の 50 代（33.3%）で高く、「介護者等が休養できるサービスの充実（ショートステイや一時預かりサービスなど）」は女性の 50 代（35.7%）と 60 代（33.3%）で高くなっている。

図 10-9-2 安心して介護や育児をするために必要な支援【上位 10 項目】（性・年代別）



(3) 複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況別

- ・「緊急時に利用できるサービスの充実（緊急ショートステイや一時預かりサービスなど）」は単数の介護・育児をしている人（34.0%）で高くなっている。
- ・「介護者等が休養できるサービスの充実（ショートステイや一時預かりサービスなど）」は複数の介護・育児をしている人（36.7%）で高くなっている。
- ・「家族会や介護者の会など当事者や経験者同士が気軽に相談し合える場の充実」は複数の介護・育児をしている人（12.2%）で高くなっている。

図 10-9-3 安心して介護や育児をするために必要な支援【上位 10 項目】  
（複数の方の介護、介護と育児（ダブルケア）の状況別）

